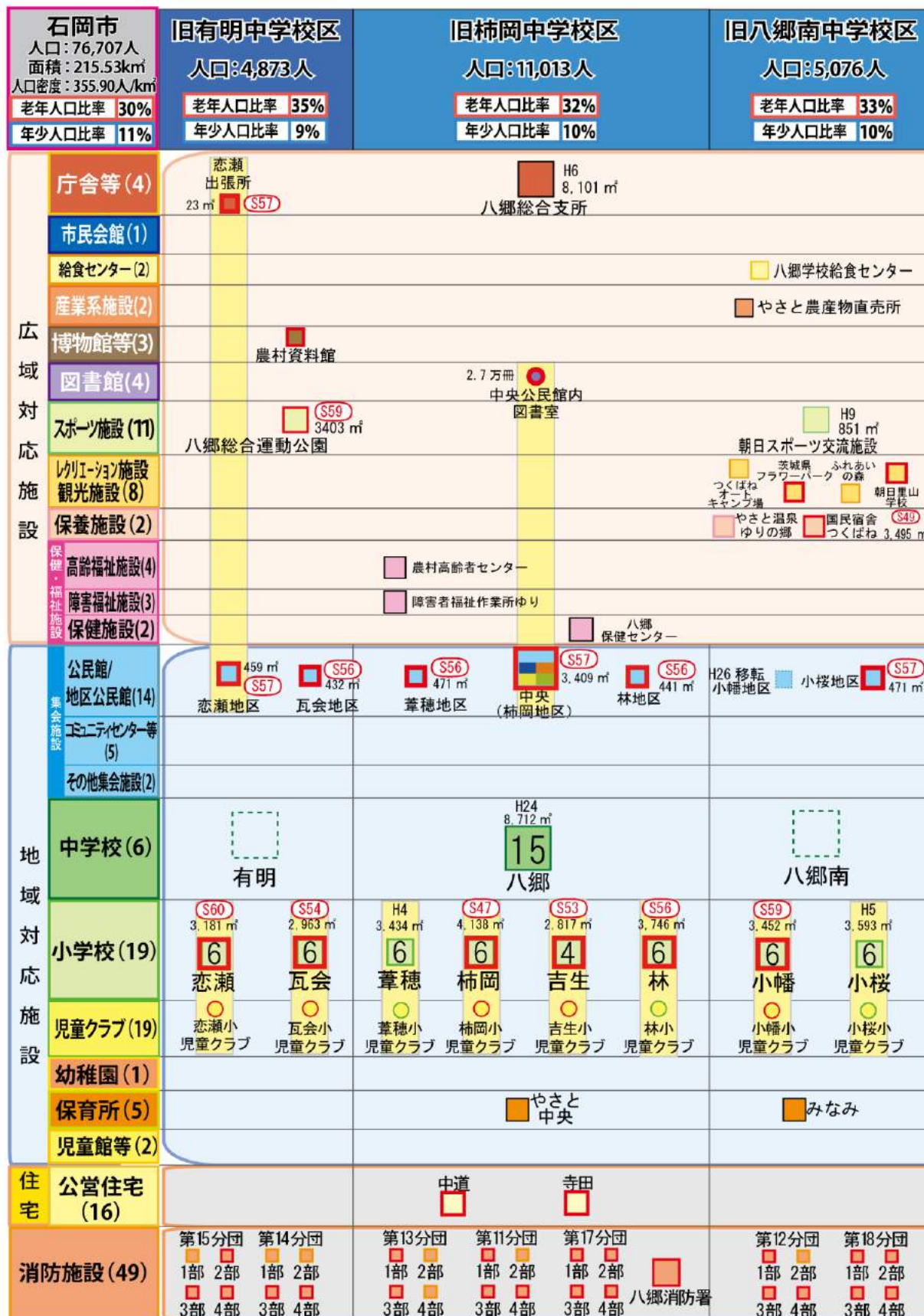


第3章 用途別の現状と課題

第3章 用途別の現状と課題

1. 公共施設の配置状況

石岡市実態マップ



※学校の学級数(特別支援学級含まず)は平成27年5月1日時点



赤枠は 築30年 以上経過 (Red border indicates buildings constructed 30 years or more ago)

15 (Number of school levels, e.g., 15 levels)

S59 (Building year)

建築年度 (Building year)

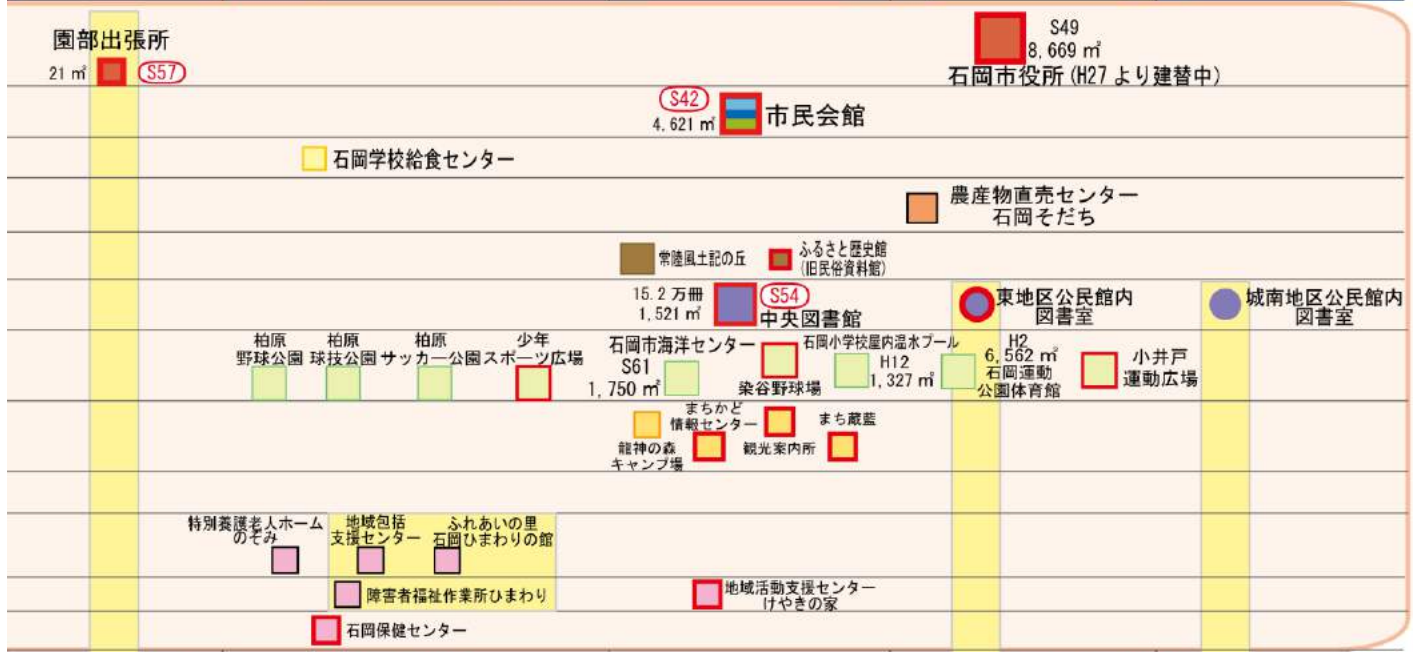
ホール 和室 (Hall, Japanese-style room)

音楽室・スタジオ等 (Music room, studio, etc.)

会議室 調理室等 (Meeting room, kitchen, etc.)

工芸室等 (Craft room, etc.)

園部中学校区	府中中学校区	国府中学校区	石岡中学校区	城南中学校区
人口:6,381人	人口:16,667人	人口:7,954人	人口:18,258人	人口:6,485人
老年人口比率 26%	老年人口比率 29%	老年人口比率 36%	老年人口比率 24%	老年人口比率 35%
年少人口比率 12%	年少人口比率 12%	年少人口比率 9%	年少人口比率 13%	年少人口比率 9%



園部地区	府中地区	国府地区	東地区	城南地区
S57 478 m ²	S54 1,214 m ²	S61 1,465 m ²	S57 1,236 m ² S52 66 m ² 中央	S61 1,491 m ² H4 165 m ² 高浜分館
園部地区	鹿の子コミュニティセンター 杉並コミュニティセンター		南台コミュニティセンター	三村地区ふれあいセンター 関川地区ふれあいセンター
	勤労青少年ホーム S55 1,528 m ²		S62 708 m ² 旭台会館	
6 H3 5,616 m ² 園部	15 S55 8,520 m ² 府中	6 S58 7,125 m ² 国府	16 S53 7,888 m ² 石岡	6 S36 5,180 m ² 城南
S55 3,780 m ² 8 園部小 園部児童クラブ	S51 2,982 m ² 6 東成井小 東成井児童クラブ	S52 5,349 m ² 12 杉並小 杉並児童クラブ	H25 2,651 m ² 5 北小 北児童クラブ	S42 6,059 m ² 14 府中小 府中児童クラブ
	S42 6,980 m ² 12 石岡小 石岡児童クラブ		H22 7,691 m ² 17 東小 東児童クラブ	S50 5,084 m ² 15 南小 南児童クラブ
			S53 3,809 m ² 6 高浜小 高浜児童クラブ	S40 3,814 m ² 6 三村小 三村児童クラブ
			S59 2,847 m ² 4 関川小 関川児童クラブ	
園部	児童館	第1	東 児童センター	
正上内台 水久保 園分台 池の台住戸 池の台	茶屋場 大砂南 北の谷	古城	大作台 新池台 小川道 自由ヶ丘 自由ヶ丘第2	
第16分団 1部 2部 3部 4部	山崎出張所 消防団山崎倉庫	第1分団 第3分団 第5分団	消防本部・石岡消防署 7分団	第8分団 第10分団 愛郷橋出張所 第9分団

2. 評価の考え方と基準について

◆ 2軸評価について

<考え方>

今後の施設の適正化や再配置を検討するにあたっては、まず、現状の施設の市民ニーズを把握することが重要であり、また、人口減少に伴う税収の減少等により、施設運営費にかけられる費用もますます厳しくなることが予測されるため、市民ニーズに応じた効率的な運営ができていくかについて、コストパフォーマンスの視点から評価を行います。

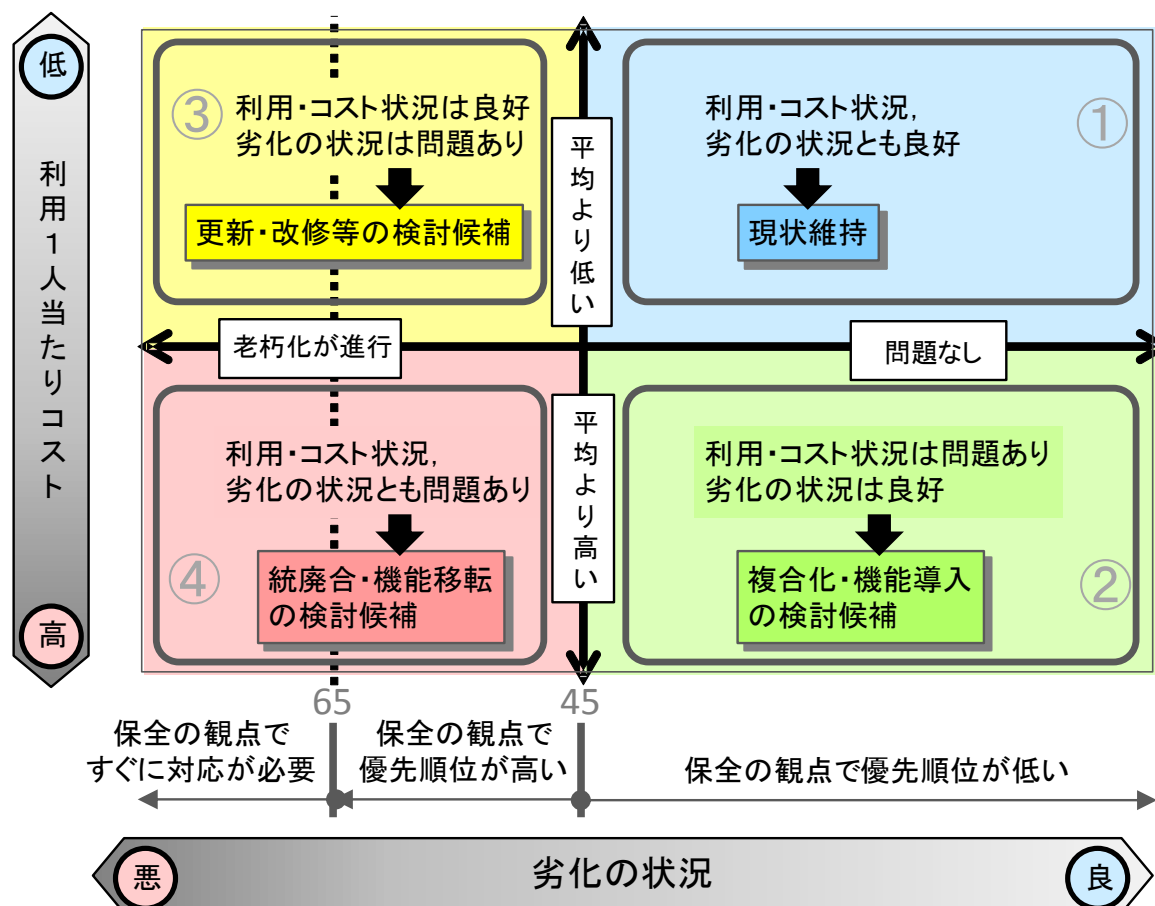
そこで、用途ごとに、ニーズ（利用者）とコスト（市の負担額＝ネットコスト）から、利用者1人当たりコストを基本的な1軸として設定します。

用途によっては、小・中学校のようにコストパフォーマンスによる評価がなじまない施設もあります。その場合の評価軸としては、「稼働率」、「入園率」、「学級数」等を設定します。

もう1軸は、劣化問診票及び現地調査結果による総合劣化度を基に、保全の観点から、早急に対処が必要な施設群と、保全の観点で優先順位が低い施設群を分類します。

<総合劣化度の算出>

劣化問診票及び現地調査による評価結果を基に、部位別に劣化状況評価点を算出し、それに築年数を加算した値を「総合劣化度」として、劣化状況を総合的に表す指標とします。45未満の施設は保全の観点で優先順位の低い施設、45以上65未満の施設は保全の観点で優先順位の高い施設、65以上の施設は、特に躯体に悪影響を及ぼす屋上・外壁・外部開口部に劣化が多く見られ、保全の観点ではすぐに対処が必要な施設として分類しています。



◆建物劣化状況の評価について

劣化状況調査の結果を劣化状況の評価と築年数から「総合劣化度」を算出し、定量化しておくことで、今後の改善検討における保全優先度の一つとして活用します。

以下に算出手順を示します。

(1) 劣化状況の評価

建築物の各部の劣化状況は、現地における目視調査を主体とし、下表のとおり、4段階での評価基準とそれぞれの評価点を定めます。

劣化状況の評価基準		評価点
A評価	概ね良好	10点
B評価	局所、部分的に劣化が見られるが、安全上、機能上、問題なし	40点
C評価	随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる	70点
D評価	随所、広範囲に著しい劣化が見られ、安全上、機能上、問題があり、早急に対応する必要がある	100点

(2) 部位の重要度

部位により建築物の安全性や機能性に及ぼす影響が異なることから、下記のとおり部位の重要度係数として4段階を定めます。この重要度係数は、財団法人建築保全センター発行の「ライフサイクルコストデータベース (H17版)」の分類を参考にしています。

部位の重要度の判断基準		重要度係数
大	特に安全性に関わる部位 (例: 屋上, 外壁)	1.00
中	計画保全にすべき部位 (例: 空調設備, 昇降機)	0.75
小	計画保全が望ましい部位 (例: 外部開口部, 給水設備)	0.50
軽微	事後保全でよい部位 (例: 室内の仕上, 衛生器具)	0.25

(3) 現況劣化度

評価する部位ごとに、上記(1)で求める評価点に(2)で求める重要度係数を掛け合わせ、合計した後、評価の対象部位数で割った値を現況劣化度と定めます。

(4) 総合劣化度

一般に、建築物は経年により劣化が進行し、修繕では元の性能水準まで回復させることができません。古い建築物は問題が潜在しており、常に改修等を優先的に検討する必要があることから、築後年数(建築年からの経過年数)を1年1ポイントとして(3)で定めた現況劣化度に足し合わせた値を総合劣化度と定め、建築物としての劣化状況を総合的に表す指標値とします。

第3章 用途別の現状と課題

また、総合劣化度は保全優先順位の指標の一つとして、課題を明らかにする目的で使用するものです。

$$\text{総合劣化度} = \frac{\text{(各部の劣化状況評価点} \times \text{部位の重要度係数)の総和}}{\text{評価の対象部位数}} + \text{築後年数}$$

3. 用途別の現状と課題及び改善の方向性

<公共施設>

(1) 市民会館（白書：P. 29～41）

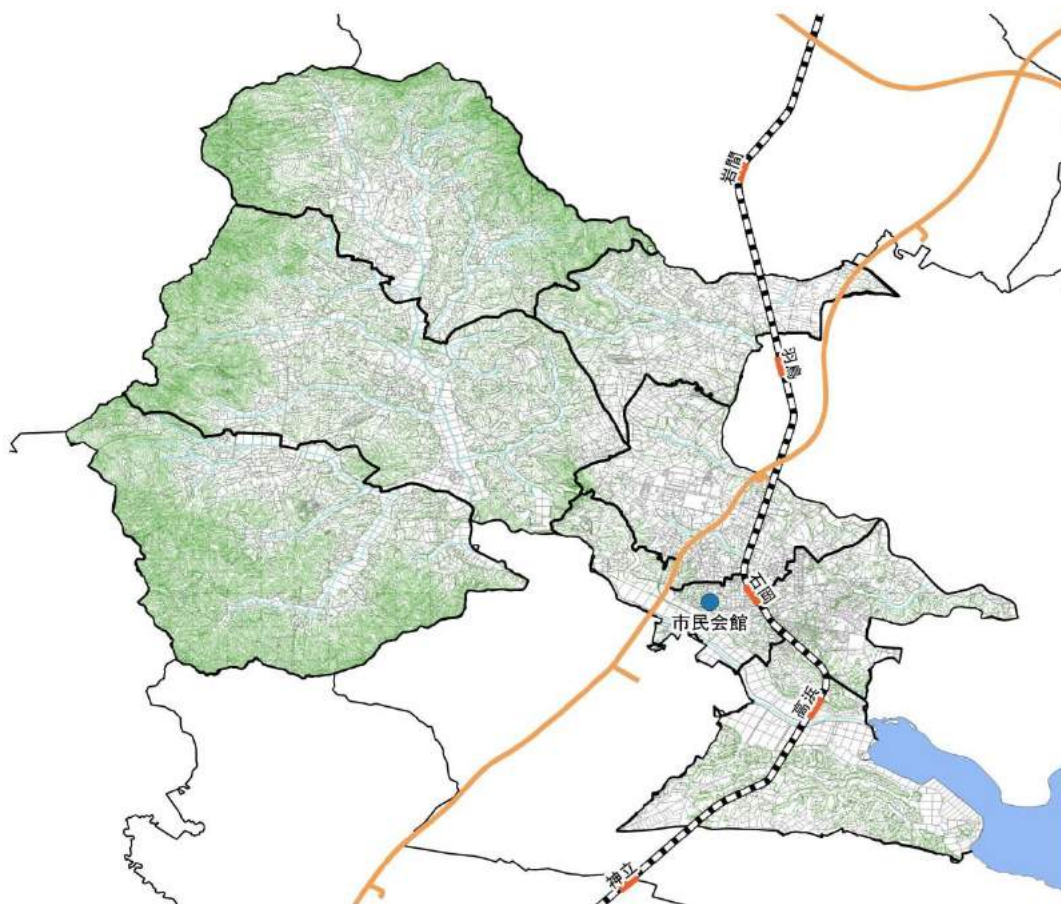
本市では、市民の文化教養及び福祉を増進する目的をもって、市民会館を設置しています。運営方式は市直営となっています。

■ 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
1 市民会館	総社一丁目2番5号	4,621.30	昭和42	RC造	

■ 配置状況

図 市民会館位置図



■ 現状と課題

<施設状況>

- 耐震対策がまだ済んでいないため、早急な対応が必要です。
- 築 48 年と、老朽化の進行が懸念されます。劣化問診票調査でも重要部位の劣化報告があり、老朽化対策が求められます。

<利用状況>

- 稼働率は 30%に満たず、十分に利用されているとは言えない状況です。
- 規模が大きい分利用者も多く、大きなホールの利用が中心のため、1 件当たりの利用者数や週末利用が多くなっています。しかし平日の利用状況などからも、その規模の割に利用が多いとは言えない状況になっていると考えられます。
- 利用状況の年度推移では、ここ 3 年は減少傾向にあり、ニーズとの適合性の検証が求められるものと考えられます。

<運営・コスト状況>

- 施設にかかるコストと減価償却相当額を加えると、トータルコストの 70%を超えており、老朽化対策と合せて建物を今後どのようにしていくかの検討が必要です。

■ 改善の方向性

- 利活用の促進や相互利用・サービスについての広域連携、改修・建替え等の施設更新を推進します。

(2) 公民館／地区公民館（白書：P. 42～59）

本市では、芸術文化の振興や生涯学習の拠点として、公民館／地区公民館を14施設設置しています。

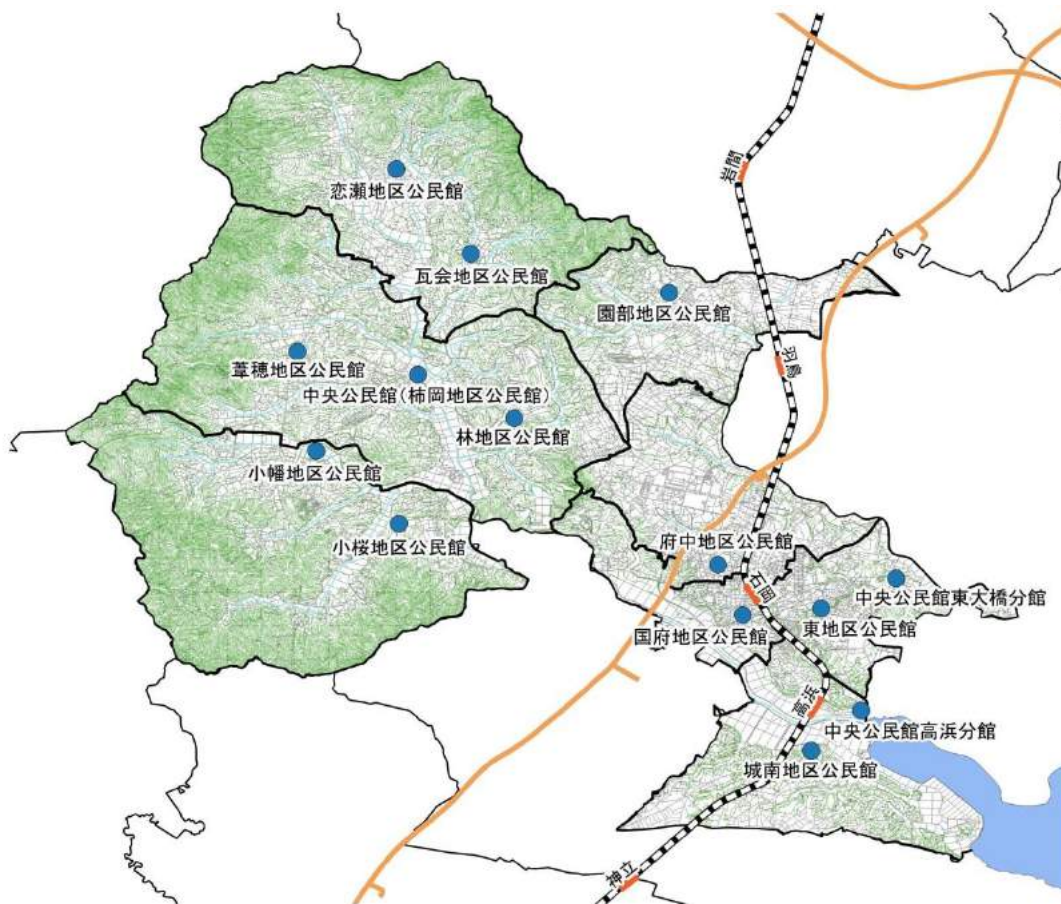
中央公民館、東地区及び城南地区公民館は図書室を併設しており、恋瀬地区及び園部地区公民館は出張所を併設しています。なお現在、柿岡地区公民館は中央公民館内で運営しています。

■ 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	複合・併設施設		備考
					図書室	出張所	
1 中央公民館(柿岡地区公民館)	柿岡5680番地1	3,409.33	昭和57	RC造	●		陶芸室・倉庫 別棟含む
2 府中地区公民館	府中五丁目5番17号	1,214.00	昭和54	RC造			
3 東地区公民館	東石岡四丁目6番24号	1,236.47	昭和57	RC造	●		
4 城南地区公民館	三村7109番地	1,490.67	昭和61	RC造	●		
5 国府地区公民館	国府五丁目7番1号	1,465.00	昭和61	RC造			
6 中央公民館東大橋分館	東大橋1623番地2	66.00	昭和52	W造			
7 中央公民館高浜分館	高浜794番地1	165.00	平成4	S造			
8 恋瀬地区公民館	小見827番地1	459.32	昭和57	S造		●	
9 林地区公民館	下林862番地1	440.82	昭和56	S造			
10 小桜地区公民館	川又746番地	471.46	昭和57	S造			
11 小幡地区公民館	須釜1300番地1	1,000.00	昭和47	S造			H27.4八郷南中学校 内にて小幡地区公 民館供用開始
12 葦穂地区公民館	上曾1195番地1	470.52	昭和56	S造			
13 瓦会地区公民館	瓦谷430番地1	432.40	昭和56	S造			
14 園部地区公民館	真家1921番地	477.63	昭和57	S造		●	
合計		12,798.62					

■ 配置状況

図 公民館／地区公民館位置図



■ 現状と課題

<施設状況>

- 全14施設中、築30年超が12施設、うち築40年超が1施設と老朽化した施設が多く、老朽化の進行による劣化等が懸念されます。実際に主要部位に対策の必要な劣化も見受けられます。
- 一時にすべての対策を行うのは困難と思われていますが、最低限の安全対策は必要です。今後の各施設の利用計画も含め、優先順位を設定し、実行可能な老朽化対策の計画策定等が必要です。
- 小幡地区公民館は、旧八郷南中学校を暫定的に使用しています。旧八郷南中学校跡地は県特別支援学校開校のための工事開始(平成29年10月)に伴い使用できなくなることから、公民館のあり方を踏まえ、早急に代替施設が必要です。
- 八郷地区の公民館は、旧町村単位(8地区)にあり、地域との関わりも密接で地域コミュニティの中心となっています。

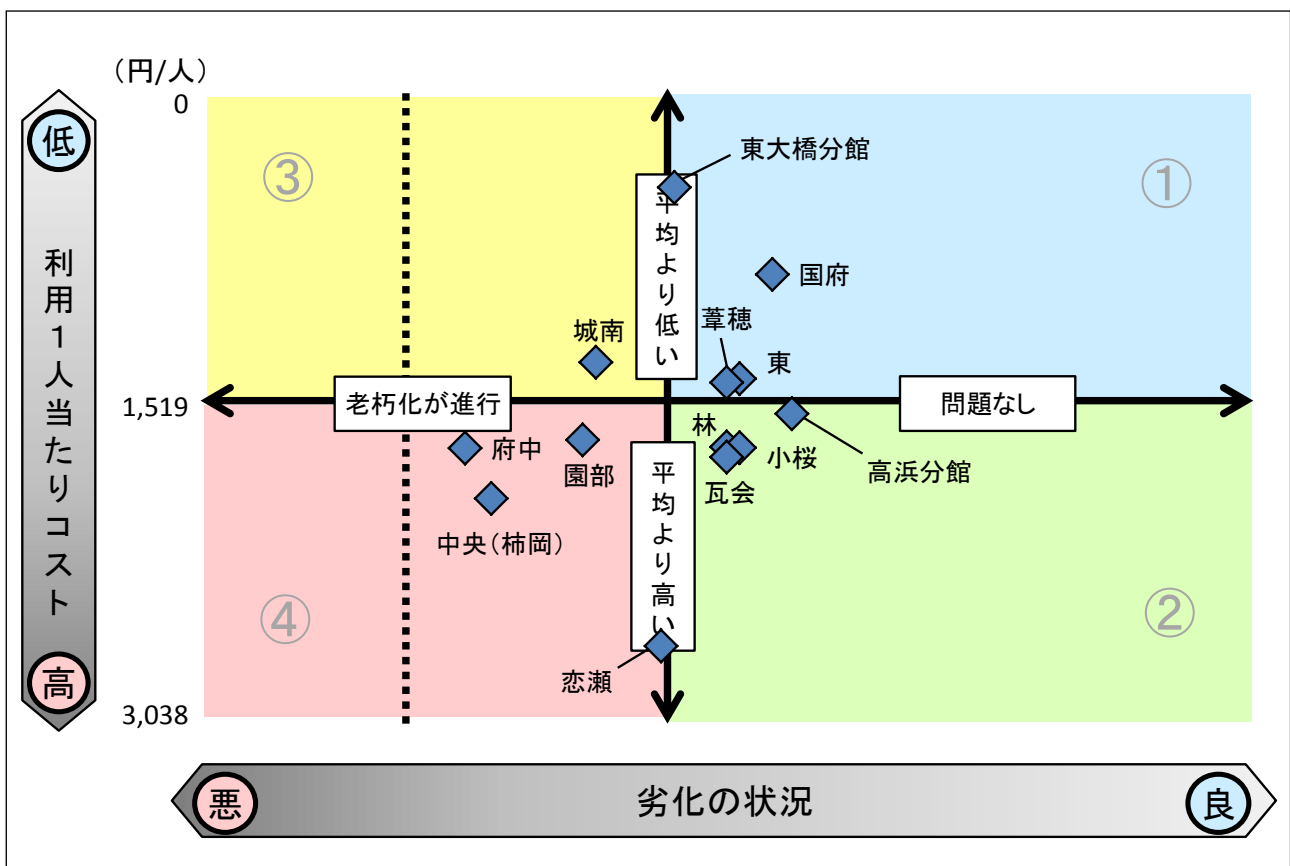
<利用状況>

- 稼働率の面では 15%~35%と、全体的に低くなっており、どこに問題があるのか、利用ニーズも含めた検証が必要です。
- 部屋別に稼働率をみると、20%前後の低い稼働率であり、保有機能とニーズのミスマッチあるいは、施設配置上の問題等が考えられます。機能転換も含め、必要機能の検証と再配置の検討が必要と考えられます。
- 図書室を併設する施設が 3 施設あるため、図書室としての機能評価も合わせた検討が必要です。
- 規模の大きな施設と小さな施設の役割分担と配置について、それぞれの地域での適合性を踏まえた検討が必要です。

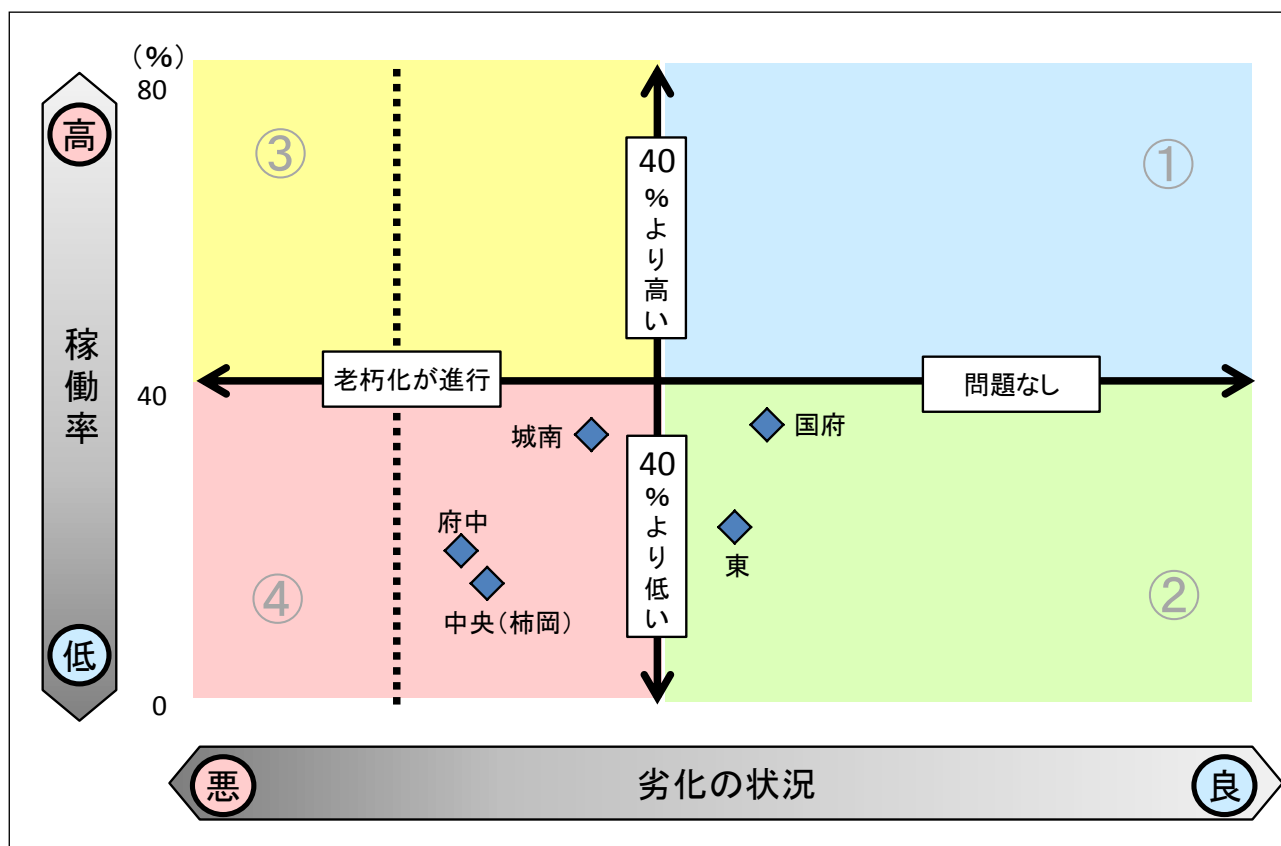
<運営・コスト状況>

- 中央公民館の役割とコスト負担の適合性を明確にすることで、適正なコスト配分のあり方の検討が望まれます。
- 全て直営施設ですので、人件費の占める費用も大きくなっており、民間活用の可能性も含め、運営の効率化へ向けた検討が必要です。

■ 2軸評価 (劣化の状況と利用者1人当たりのコスト)



■ 2軸評価（劣化の状況と稼働率(※)）



※ 稼働率：一般的に民間の貸会議室等の使用料設定の目安にされている稼働率が50%であることから、40%を一つの目安とした。

■ 改善の方向性

- 教育・文化，地域福祉・健康づくり，生活・環境づくりとしての活動拠点として，機能転換も含め，必要機能の検証を行い，再配置を推進します。
- 規模の大きな施設と小さな施設の役割分担と配置だけでなく，コミュニティセンター等類似機能をもつ施設もあわせて，機能の見直し等を図ります。
- 民間活用の可能性も含め，運営方式の見直しについて検討します。
- 地区公民館は，地域コミュニティの拠点として教育・文化や地域福祉等の機能を加えた多機能型としての充実を図ります。

(3) コミュニティセンター等 (白書 : P. 60~72)

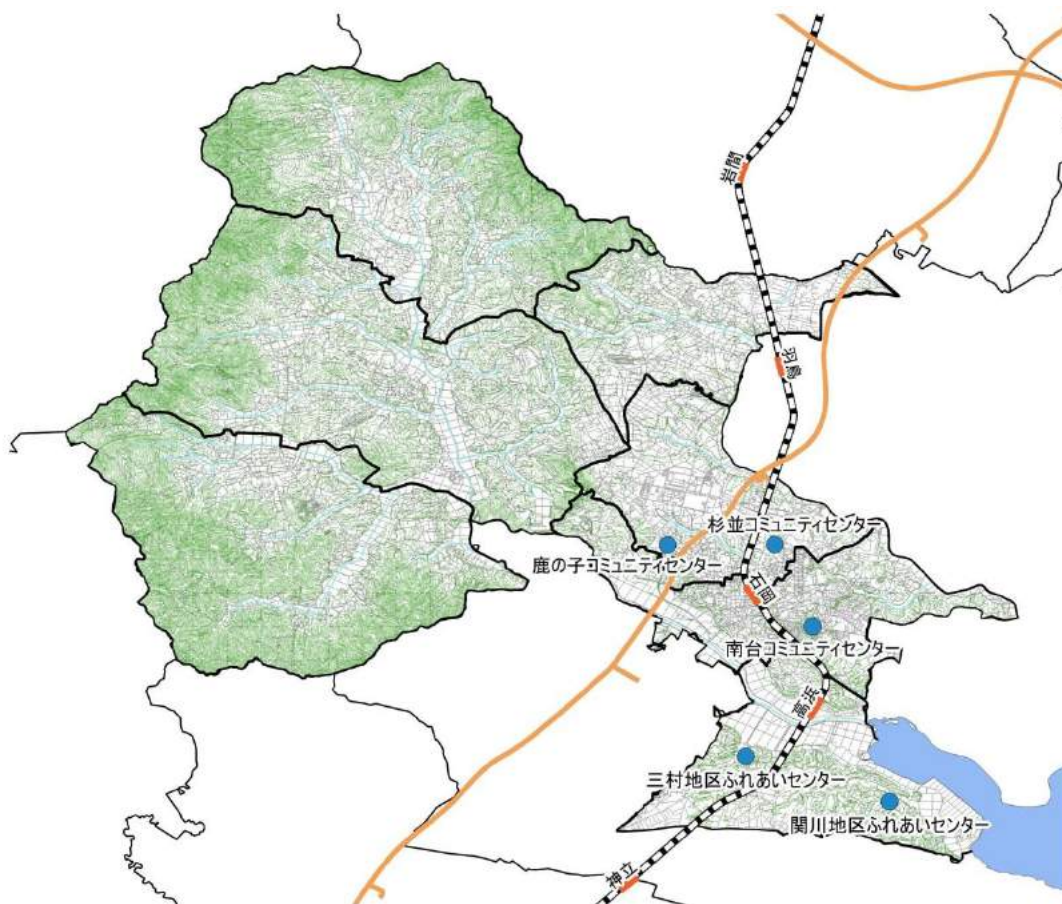
本市では、地域住民の相互交流及び教養文化の向上を図り、住みよいまちづくりを推進するための拠点施設等として、コミュニティセンターを3施設、地域住民の創意と工夫を活かせる交流の場を整備し、地域の活性化を図るため、地区ふれあいセンターを2施設設置しています。

■ 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	複合・併設施設	備考
					保健センター	
1 南台コミュニティセンター	南台二丁目23番1号	270.78	平成9	W造		
2 杉並コミュニティセンター	杉並二丁目1番2号	471.95	昭和54	RC造	●	
3 鹿の子コミュニティセンター	鹿の子二丁目1番23号	110.26	平成14	RC造		借上げ(県)
4 関川地区ふれあいセンター	井関37番地1	285.80	平成4	W造		
5 三村地区ふれあいセンター	三村1772番地	298.22	平成5	W造		
合計		1,437.01				

■ 配置状況

図 コミュニティセンター等 位置図



■ 現状と課題

<施設状況>

- 全施設耐震安全性の問題はありませんが、杉並コミュニティセンターは、築30年を超えており、老朽化の進行が懸念されます。
- いっそうのバリアフリー化とともに、維持管理経費の把握による効率性の検証が必要です。

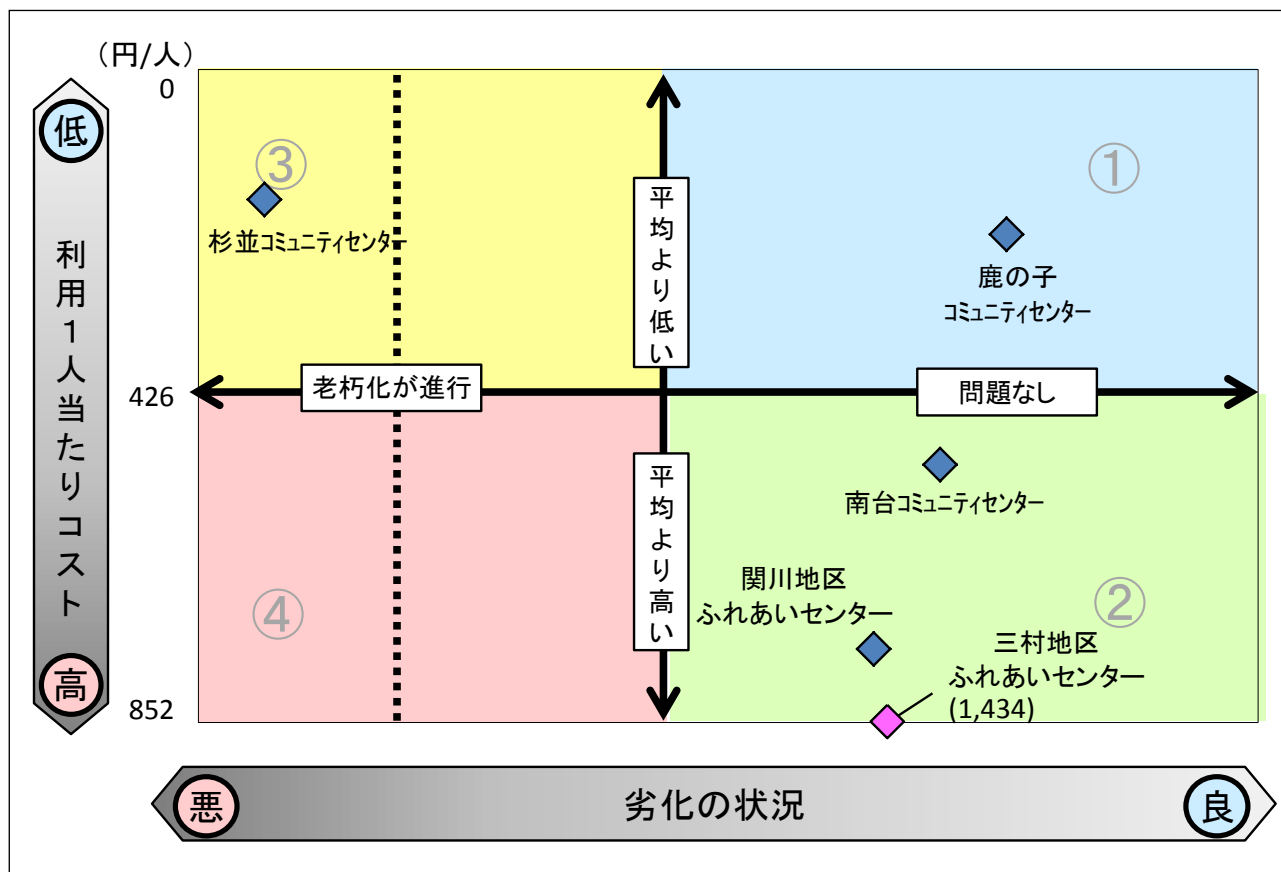
<利用状況>

- コミュニティセンターは集会・会議室の利用が中心ですが、稼働率は20%に満たず、低くとどまっています。
- 利用状況の推移は、全体としては減少傾向にあり、特に南台コミュニティセンターの減少が目立ちます。

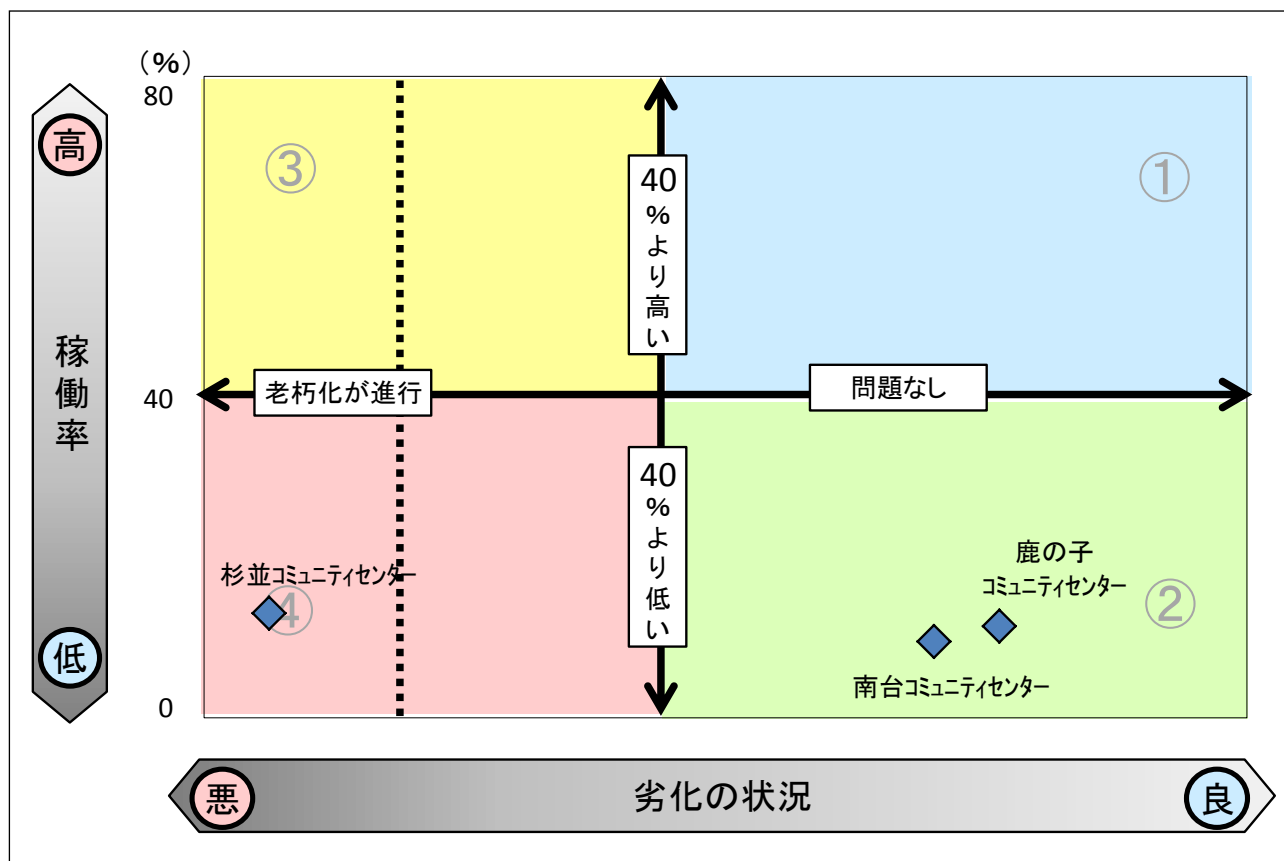
<運営・コスト状況>

- 地域性により利用形態は異なりますが、地区ふれあいセンターは、コミュニティセンターと比較して利用者や利用件数当たりのコストが割高になっており、効率性や運営方法の見直しが必要です。

■ 2軸評価（劣化の状況と利用者1人当たりのコスト）



■ 2軸評価（劣化の状況と稼働率）



■ 改善の方向性

- 公民館/地区公民館等類似機能をもつ施設もあわせて、機能の見直しと適正な配置を図ります。
- コストの割高な施設については、効率性や運営方法の見直しを図ります。

(4) その他集会施設 (白書 : P. 73~85)

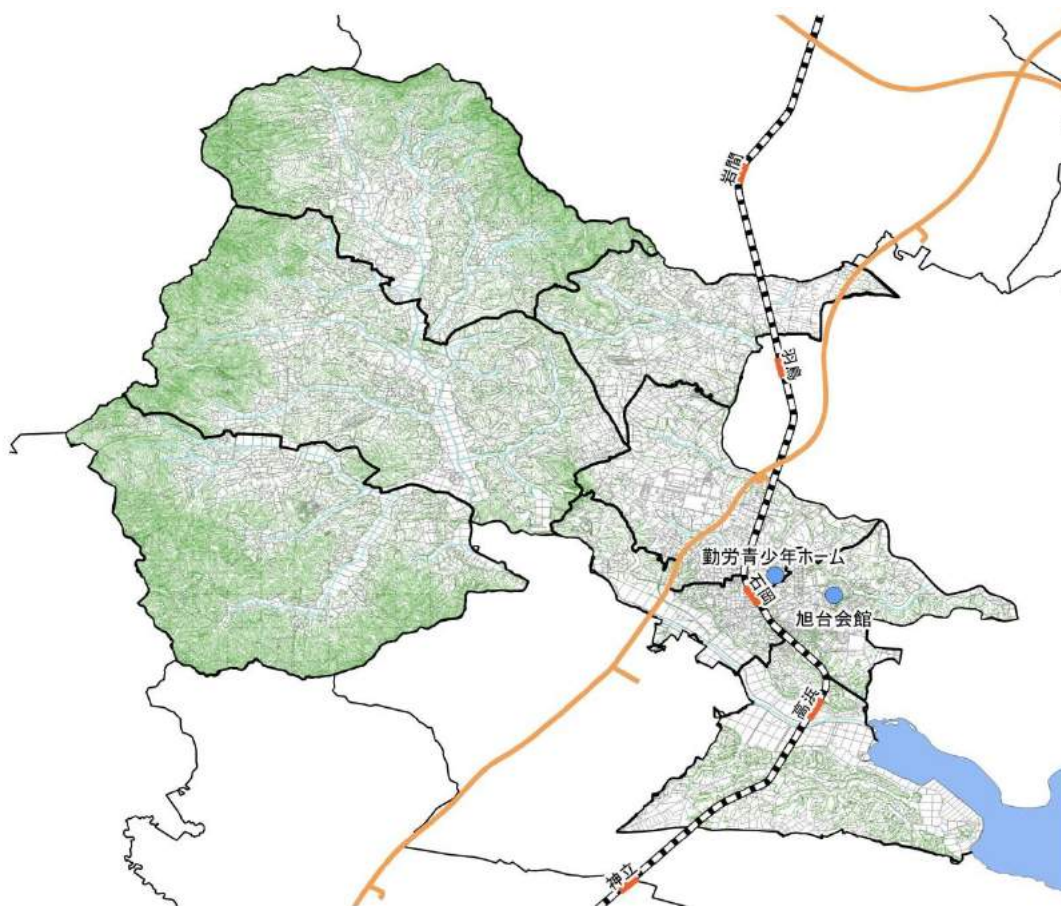
本市ではその他の集会施設として、市民の交流及び各種団体の集いの場として旭台会館を、勤労青少年の福祉の増進と健全な育成を図るため勤労青少年ホームを設置しています。

■ 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
1 旭台会館	旭台二丁目18番3号	708.09	昭和62	RC造	
2 勤労青少年ホーム	石岡2149番地3	1,528.00	昭和55	RC造	
合計		2,236.09			

■ 配置状況

図 その他集会施設 位置図



■ 現状と課題

<施設状況>

- 構造部材の耐震対策は対応済みですが、今後は非構造部材の耐震化が必要です。
- 勤労青少年ホームは、施設の老朽化に伴う改修工事の実施について検討を行う必要があります。
- 環境対応やいっそうのバリアフリー化とともに、維持管理経費の把握による健全性や効率性の検証も必要です。

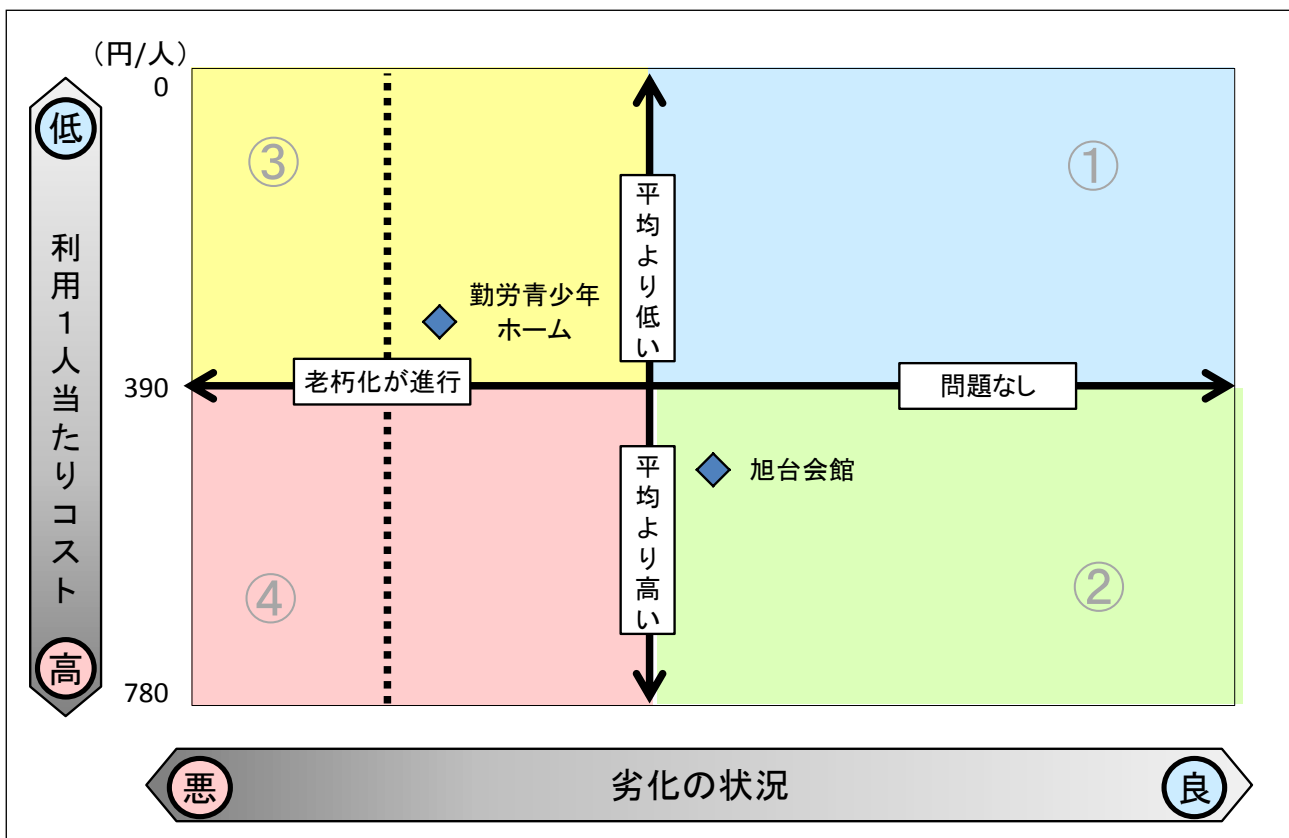
<利用状況>

- 旭台会館の多目的ホールは 80%弱、勤労青少年ホームの軽運動室・体育館は 65%と高い稼働率となっており、調理室や図書室の稼働率は低くとどまっています。稼働率が低い原因の特定や、ニーズに応じた機能配置の見直しなどが必要です。
- 勤労青少年ホームに関しては、設置当時からの社会状況等の変化に伴い、抜本的な運営方針の変更が必要と考えられます。利用実態に応じた機能配置や用途の見直しも含めた検討が必要です。

<運営・コスト状況>

- 旭台会館は勤労青少年ホームと比べると、修繕費の分だけ施設にかかるコストが高くなっており、他は概ね同等です。修繕内容も含めた建物の健全性の検証が必要と思われます。

■ 2軸評価（劣化の状況と利用者1人当たりのコスト）



第3章 用途別の現状と課題

■ 改善の方向性

- 施設の中で稼働率が低い機能については、原因の特定等により、見直しを図ります。
- 勤労青少年ホームは、設置当時とは社会情勢が異なったため、抜本的な運営方針の変更を図ります。
- 旭台会館は、市民会館等の類似施設を含めて、そのあり方を見直します。

(5) 図書館（白書：P.86～97）

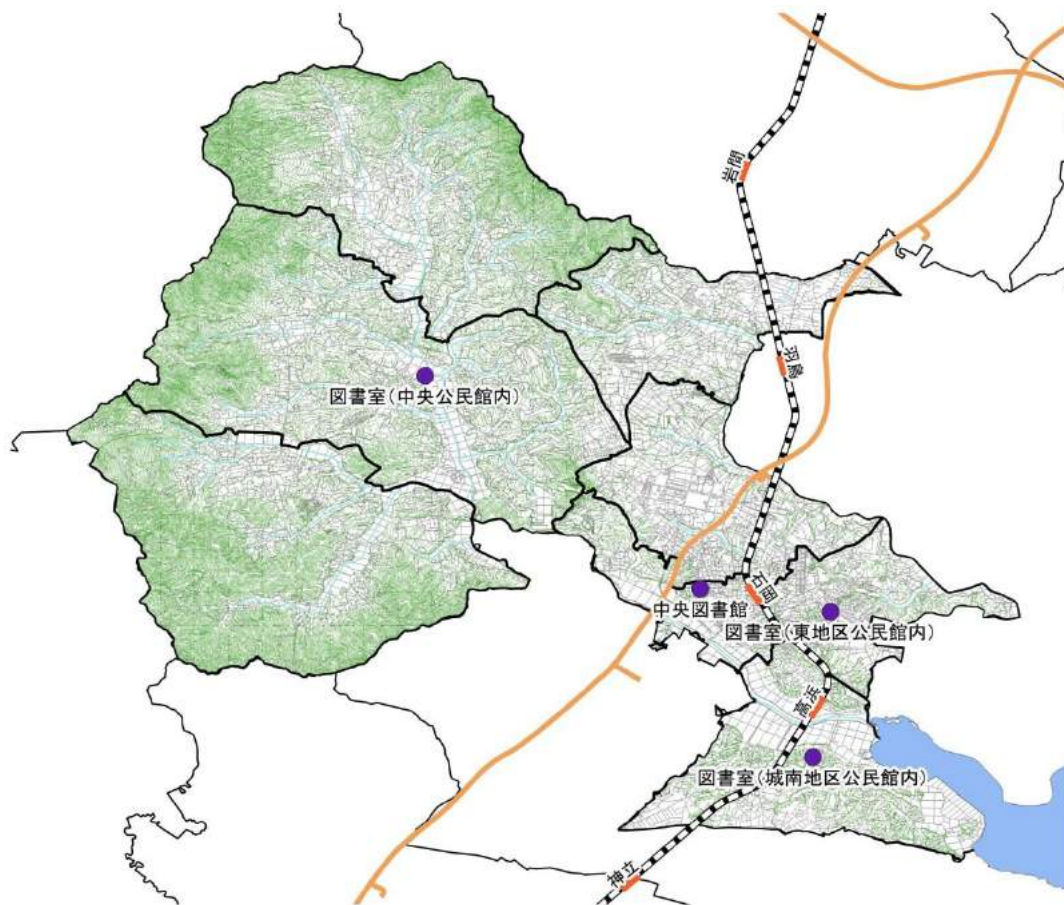
本市では、図書館を1施設（中央図書館）、公民館内に図書室を3施設設置しています。図書館は単独施設となっています。

■ 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	複合・併設施設	備考
					公民館	
1 中央図書館	若宮一丁目6番31号	1,521.00	昭和54	RC造		
2 図書室(中央公民館内)	柿岡5680番地1	158.18	昭和57	RC造	●	
3 図書室(東地区公民館内)	東石岡四丁目6番24号	51.84	昭和57	RC造	●	
4 図書室(城南地区公民館内)	三村7109番地	94.33	昭和61	RC造	●	
合計		1,825.35				

■ 配置状況

図 図書館・図書室位置図



■ 現状と課題

＜施設状況＞

- 図書室3施設は、全て公民館と複合化しています。
- 耐震安全性は確保されていますが、老朽化が進行していると考えられるため、早急な対応が必要です。但し現在のところ、中央図書館以外では目立った劣化は認められていません。
- バリアフリー化は進んでいますので、今後は環境配慮への対応が望まれます。

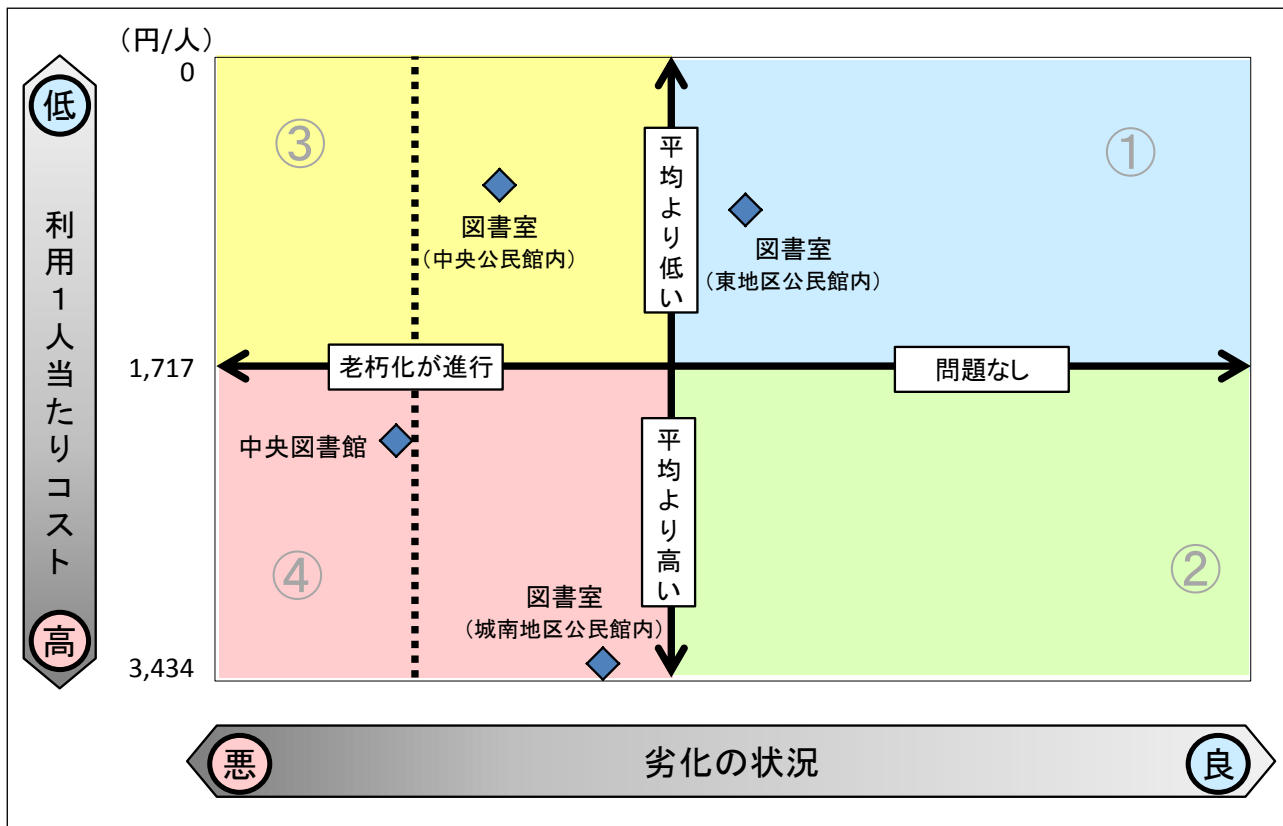
＜利用状況＞

- 中央図書館に利用は集中していますが、中央公民館内図書室も中央図書館に次ぐ利用があります。
- ほぼ横ばいで利用が推移していましたが、平成27年7月から社会福祉協議会主催の子ども読書応援事業が始まったことにより、利用が増加しています。
- 中央図書館の市外利用の割合は、約6%です。

＜運営・コスト状況＞

- 中央図書館に利用や施設・人件費とも集中しています。コストの大半は人件費と図書の購入費ですが、中央図書館では施設にかかるコストと減価償却相当額の合計が、中央図書館全体の30%強を占めています。
- 城南地区公民館内図書室は利用が少ないため、利用当たりのコストが割高となっています。
- 単独施設で規模の大きい中央図書館は、床面積当たりのコストも高くなっています。
- 図書室の利用状況から、各地域にあった役割と適正な配置等の検討が必要と思われます。

■ 2軸評価（劣化の状況と利用者1人当たりのコスト）



■ 改善の方向性

- 現在直営の運営方式を、指定者管理者制度等の導入を含めて検討し、運営の効率化を図ります。
- 施設の更新にあたっては、広域連携について検討し、相互利用やサービスの連携、役割分担等により効率化を図ります。

(6) 博物館等 (白書 : P. 98~107)

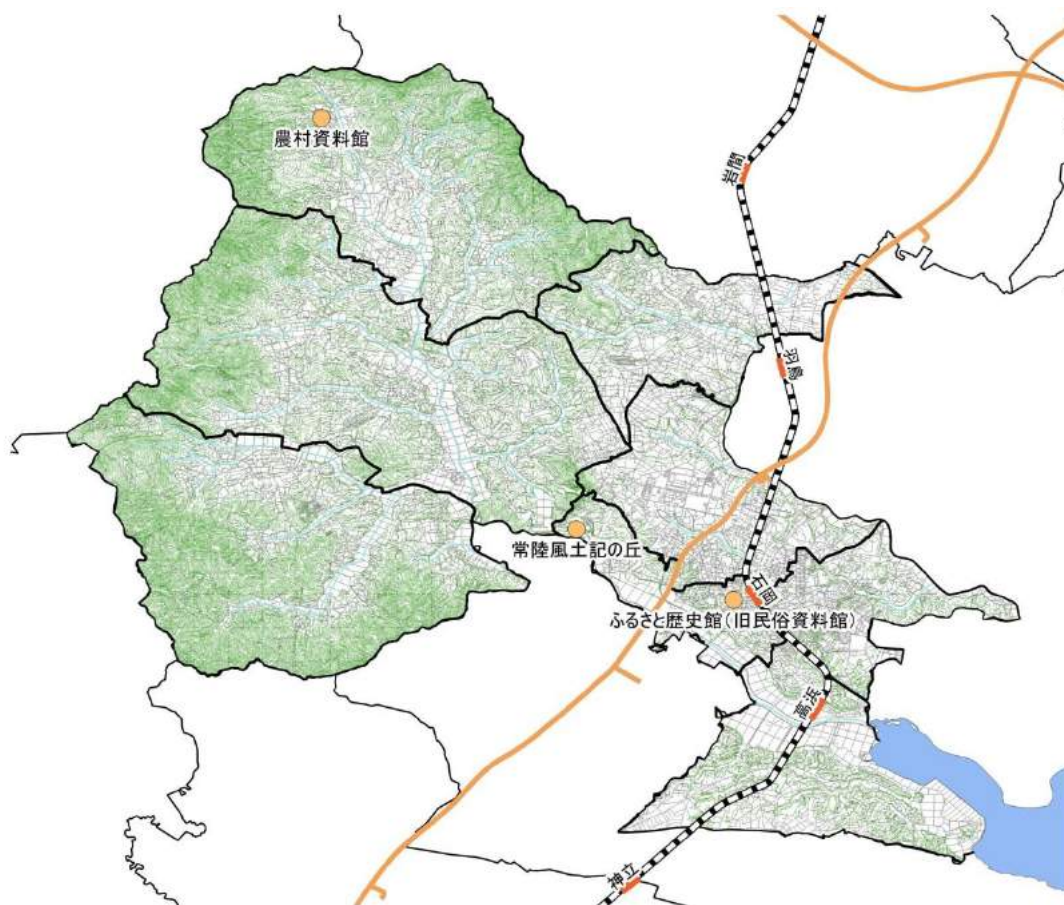
本市では、歴史・民俗資料の収集・整理・展示を目的として、常陸風土記の丘、ふるさと歴史館、農村資料館を設置しています。

■ 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
1 常陸風土記の丘	染谷1646番地	2,457.98	平成2	W造	古代家屋・鹿の子史跡公園古代家屋含む
2 ふるさと歴史館 (旧民俗資料館)	総社一丁目2番10号	211.00	昭和48	S造	
3 農村資料館	大増1519番地	92.74	平成6	W造	
合計		2,761.72			

■ 配置状況

図 博物館等位置図



■ 現状と課題

<施設状況>

- ふるさと歴史館は築40年を超えており、大規模改修等の早期の老朽化対策を検討する必要があります。
- 農村資料館は築20年を超えていることから、計画的な修繕が必要です。
- 保有施設には歴史的建造物も含まれるため、所蔵資料等とともに、適切な保存・管理が必要です。

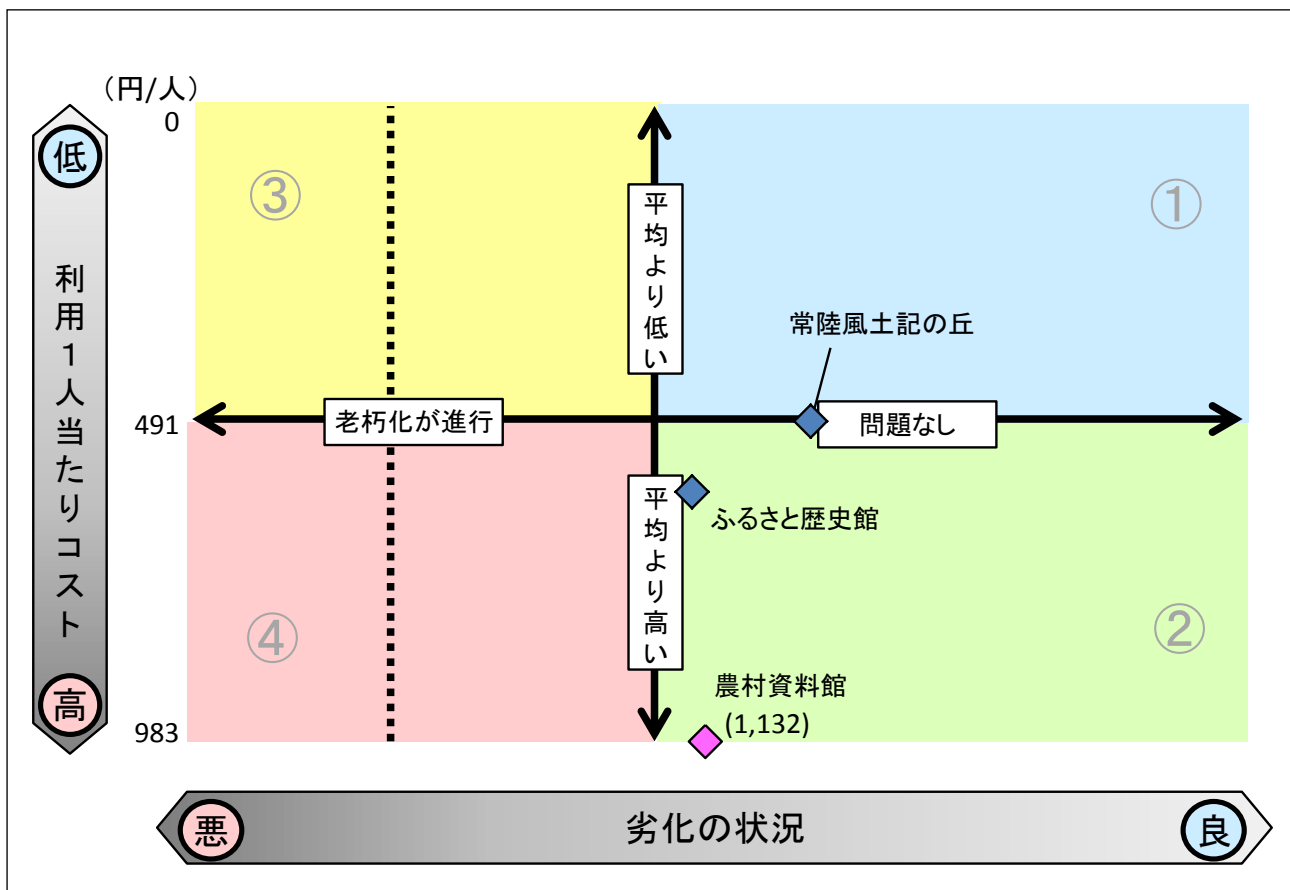
<利用状況>

- 常陸風土記の丘以外は、あまり利用が多いとは言えない状況ですが、施設の特性に応じた利用を図りながら利用方針を定める必要があるものと考えます。

<運営・コスト状況>

- 常陸風土記の丘では、指定管理料がトータルコストの約89%を占めています。また、利用者1人当たりのコストは割高になっており、このような利用状況におけるコストパフォーマンスが課題と考えられます。

■ 2軸評価（劣化の状況と利用者1人当たりのコスト）



■ 改善の方向性

- 保有施設には歴史的建造物も含まれるため、所蔵資料等とともに、適切な保存・管理を行います。
- ふるさと歴史館の来館者は、年々、増加していることから、今後も市の歴史や文化を公開する中核施設として運営をします。しかし、同施設は築 40 年以上が経過しており老朽化が進んでいることから、市の文化財保護行政や施設が果たす役割を考慮しながら、施設のあり方について検討します。
- 農村資料館については来館者数が多いとは言えない状況ですが、地域の民俗資料を中心に展示を行っており、学校教育における体験学習の場として貴重な施設となっています。今後、施設の利用方針を定めつつ、施設のあり方を検討します。
- コストが割高な施設は、運営の効率化を図ります。

(7) スポーツ施設 (白書 : P. 108~124)

本市では、スポーツを通じて健康と健全な心身の発展を図り、明るく豊かな生活に寄与するためスポーツ施設を11施設設置しています。

保有機能は、体育館、トレーニング室、武道館、弓道場、会議室、プール、野球場、ソフトボール場等、様々な機能を保有しています。

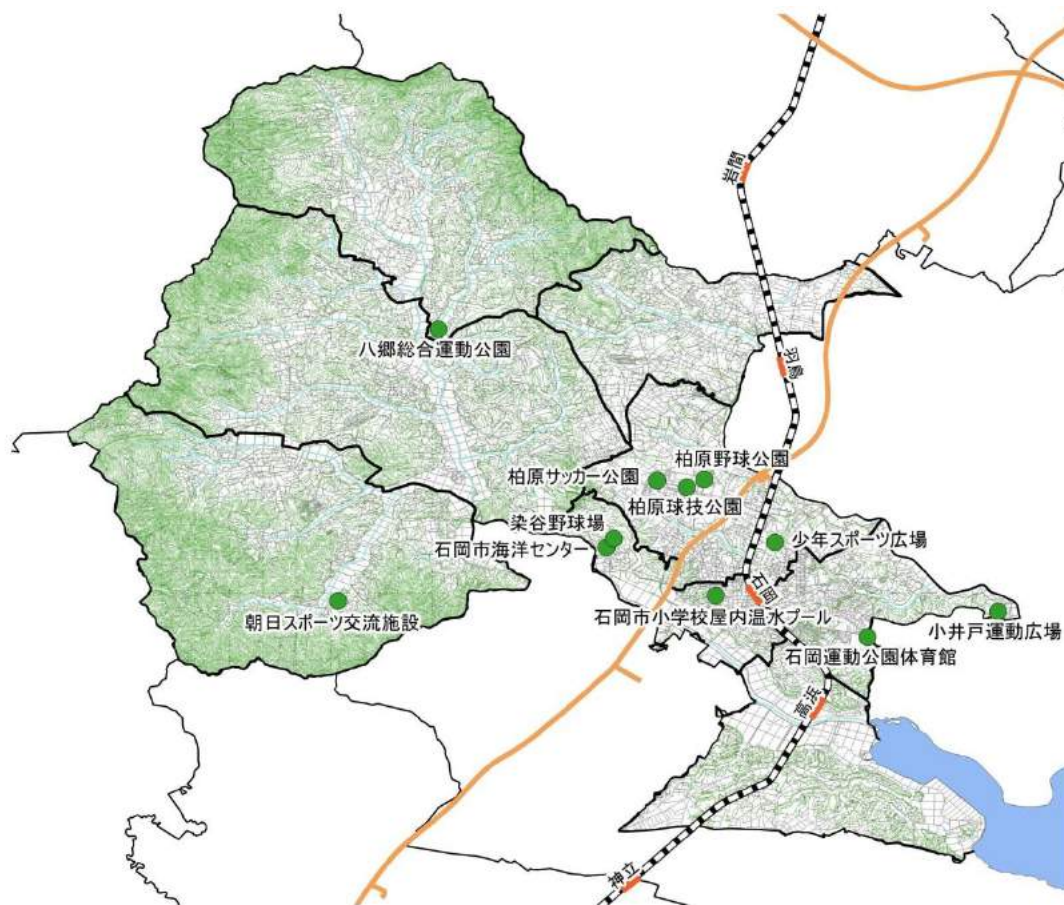
■ 施設一覧

名称	所在地	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	屋内施設					屋外施設							
						体育館	トレーニング室	武道館	弓道場	会議室	プール	野球場	ソフトボール場	サッカー場	陸上競技場	多目的広場	ターゲットボードゴルフ場	芝生広場
1 染谷野球場	染谷1628番地	29,854.0		昭和58	その他						●							
2 柏原野球公園	柏原11番地	17,691.0	761.00	平成8	RC造						●							●
3 柏原球技公園	柏原5番地	10,005.0	27.00	平成9	その他						●							
4 柏原サッカー公園	柏原3番地	16,563.0	54.00	平成7	RC造							●						
5 少年スポーツ広場	杉並二丁目12924番地	9,057.0		昭和56	その他									●				
6 小井戸運動広場	小井戸609番地	36,376.0		昭和56	その他						●	●						
7 石岡運動公園体育館	南台三丁目34番1号	112,856.0	6,562.00	平成2	RC造	●				●			●	●				
8 八郷総合運動公園	野田600番地	90,672.0	3,403.00	昭和59	RC造	●	●	●	●	●				●	●	●	●	●
9 石岡市海洋センター	染谷1415番地	14,649.0	1,750.00	昭和61	RC造	●	●				●							
10 石岡小学校屋内温水プール	総社一丁目3番17号	3,187.8	1,327.00	平成12	RC造						●							
11 朝日スポーツ交流施設	柴内630番地	2,879.8	851.00	平成9	RC造	●												

第3章 用途別の現状と課題

■ 配置状況

図 スポーツ施設位置図



■ 現状と課題

<施設状況>

- 概ね築 20～30 年前後の施設が多いため、劣化状態が深刻でないものであっても、今後の改修計画も含めた施設の維持管理に関する方針に沿って、計画的な対策を進めていくことが重要です。

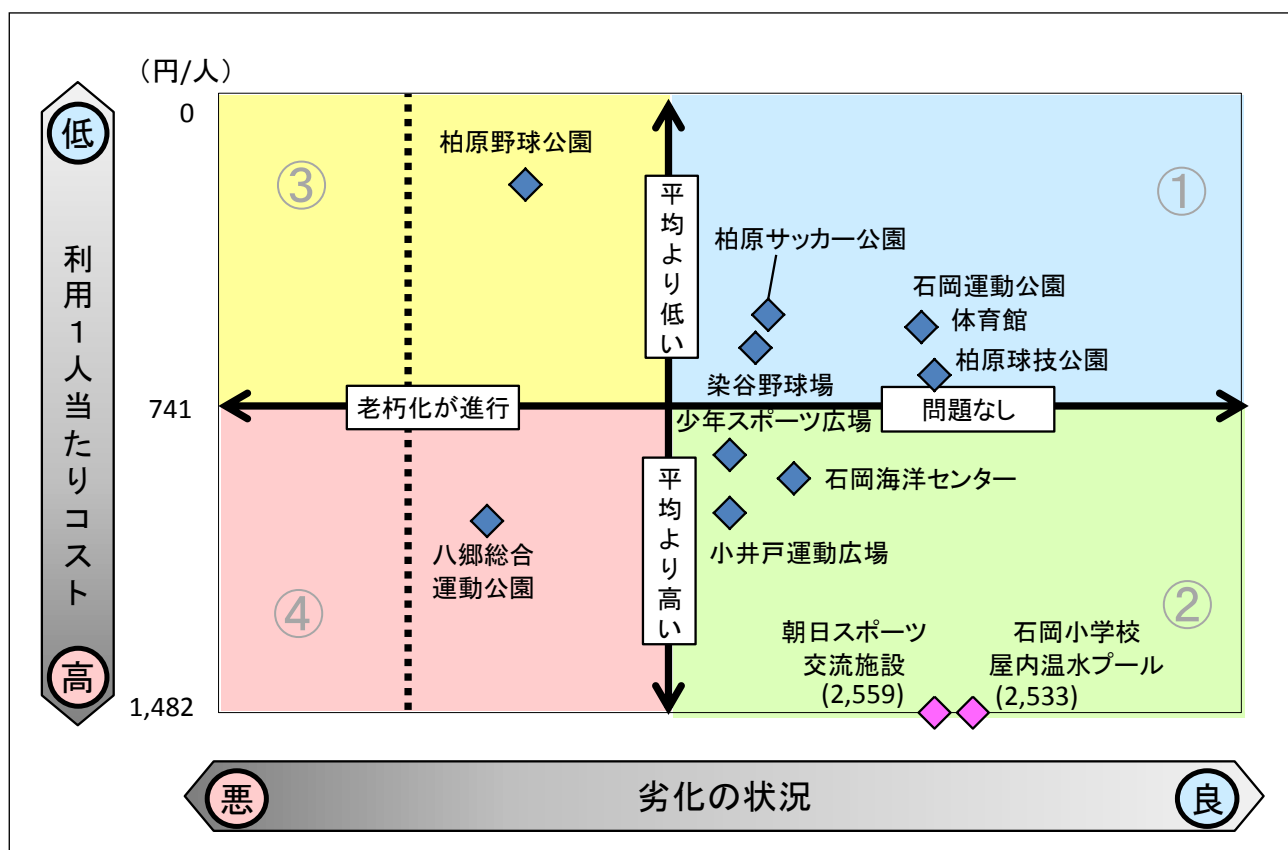
<利用状況>

- 石岡運動公園が最も多く、15万9,529人でスポーツ施設全体の約42%を占めています。
- スポーツ施設は、その利用用途が多様で、なかなか一律に利用状況进行评估するのは難しいですが、一つの視点として利用者数当たりのコストが高い施設の高額になる原因の検証等が必要と思われます。
- 石岡小学校屋内温水プールは、平成23年度の1万1,579人から平成27年度は1万7,654人へと増加しています。

<運営・コスト状況>

- 石岡運動公園体育館や八郷総合運動公園体育館等の大規模な総合体育館において、特に減価償却相当額が大きな割合を占めています。
- 指定管理者制度等の運営方式が半数程度の施設で導入されていますが、直営施設での導入の可能性も含めた検討が望まれます。また、指定管理料の内訳や人員についての分析ができると、より効率的、効果的な運営方式の検討が可能になると思われます。

■ 2軸評価 (劣化の状況と利用者1人当たりのコスト)



■ 改善の方向性

- 指定管理者制度等の運営方式が半数程度の施設で導入されていますが、直営施設での新たな導入の可能性も含めた検討をします。
- 利用の少ない施設については、同機能の施設の配置のあり方を見直します。
- 周辺自治体との更なる広域連携の可能性について、利用実態を見据え推進します。

(8) レクリエーション施設・観光施設（白書：P.125～136）

本市では、レクリエーション施設・観光施設として、キャンプ場2施設、フラワーパーク、遊戯施設を備えたふれあいの森、体験型観光施設の朝日里山学校、観光案内および会議・展示スペースの貸出を行うまちかど情報センター、観光案内や地元特産品等の展示・販売を行う観光案内所、国の有形文化財を活用して観光案内・休息・雑貨販売・藍染め体験等を行うまち蔵藍を設置しています。

■ 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造(主たる建物)	備考
1 龍神の森キャンプ場	染谷1617番地4ほか	247.00	平成17	W造	
2 つくばねオートキャンプ場	小幡2132番地11	676.98	平成10	W造	
3 茨城県フラワーパーク	下青柳200番地	1,152.06	昭和59	RC造	一部借上
4 ふれあいの森	下青柳282番地1	328.00	平成4	S造	フラワーパークに併設
5 朝日里山学校	柴内630番地	1,044.00	昭和30	W造	
6 まちかど情報センター	国府三丁目1番16号	161.09	平成6	RC造	借上
7 観光案内所	国府一丁目1番17号	44.28	平成28	S造	
8 まち蔵藍	国府三丁目5番6号	196.67	明治7以前	W造	借上
合計		3,850.08			

■ 配置状況

図 レクリエーション施設・観光施設位置図



■ 現状と課題

<施設状況>

- 茨城県フラワーパーク及び廃校を有効活用した朝日里山学校は、築30年を超えており、早期の老朽化対策が必要です。
- ふれあいの森は築20年を超えており、今後老朽化について計画的な対策が必要です。
- バリアフリー対応は、茨城県フラワーパークを除いて、あまり進んでいません。そのため、更新のタイミングに合わせての対応が必要です。

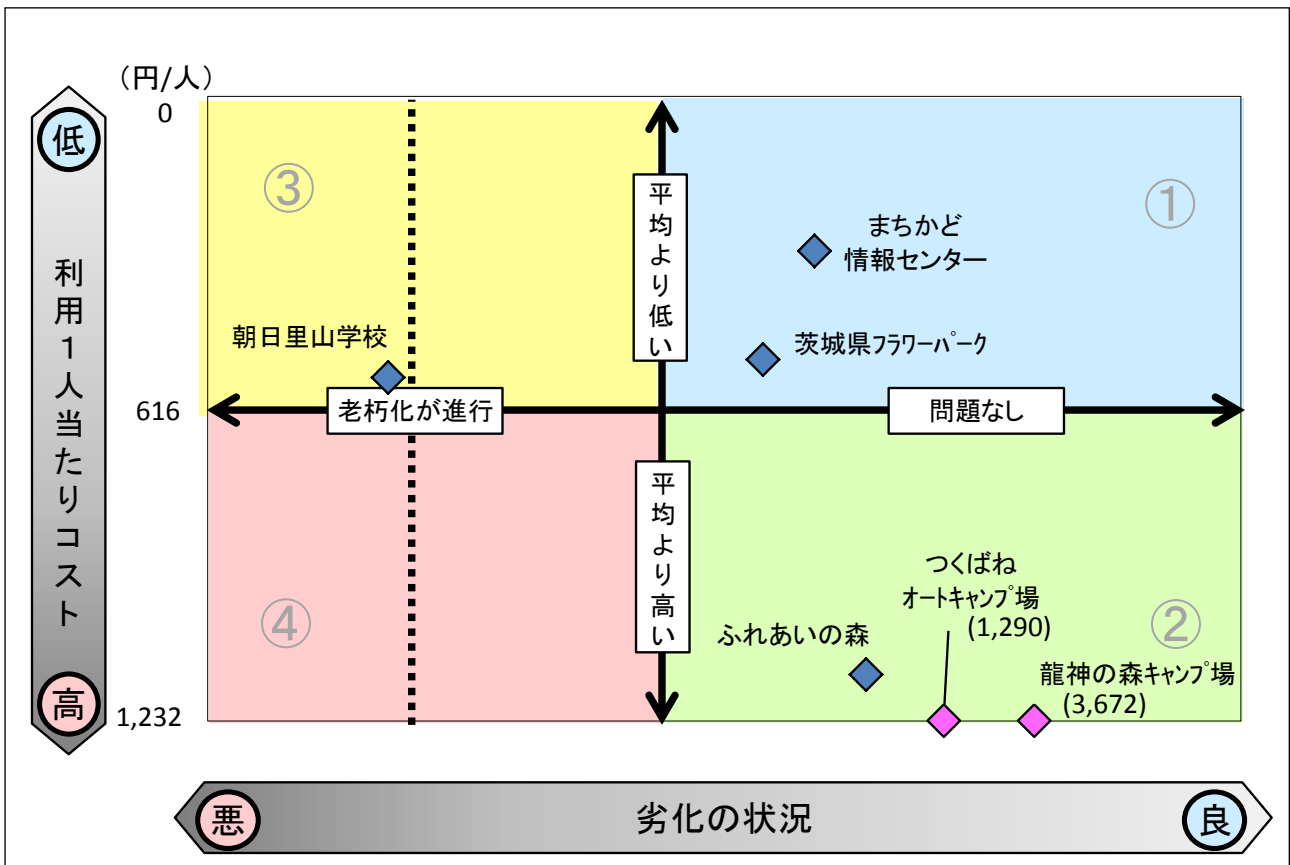
<利用状況>

- 茨城県フラワーパーク以外は、あまり利用が多いとはいえない状況と考えられますので、今後これらの利用状況をどう考えていくのか、方針を定める必要があります。

<運営・コスト状況>

- 茨城県フラワーパークでは、指定管理料がトータルコストの46%を占めています。一方で利用者1人当たりのコストは利用者が多いため、平均より低くなっています。逆に龍神の森キャンプ場は利用者が少ない分、利用者1人当たりのコストは割高になっており、このような利用状況におけるコストパフォーマンスが課題と考えられます。

■ 2軸評価（劣化の状況と利用者1人当たりのコスト）



第3章 用途別の現状と課題

■ 改善の方向性

- 龍神の森キャンプ場は外部への業務委託等を検討し、管理費の見直しを行い、より効率的な管理運営を目指します。

(9) 保養施設（白書：P.137～144）

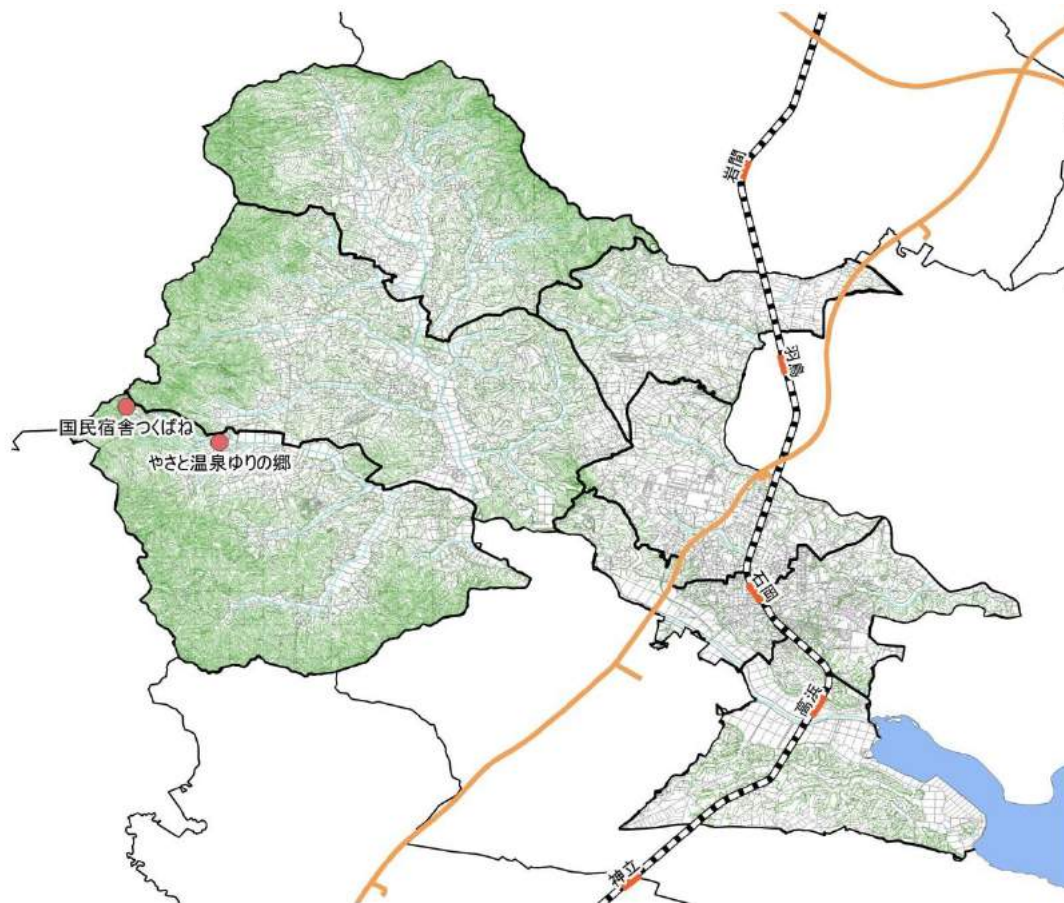
本市では保養施設として、温浴施設の「やさと温泉ゆりの郷」、宿泊施設の「国民宿舎つくばね」の2施設を設置しています。

■ 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
1 やさと温泉ゆりの郷	小幡1416番地	1,783.99	平成12	RC造	
2 国民宿舎つくばね	小幡2132番地50	3,495.00	昭和49	RC造	
合計		5,278.99			

■ 配置状況

図 保養施設位置図



■ 現状と課題

<施設状況>

- 国民宿舎つくばねは耐震対策が未実施ですので、早急な対策が必要です。

第3章 用途別の現状と課題

- やさと温泉ゆりの郷は比較的新しい施設ですが、国民宿舎つくばねとともにバリアフリー対応が必要です。

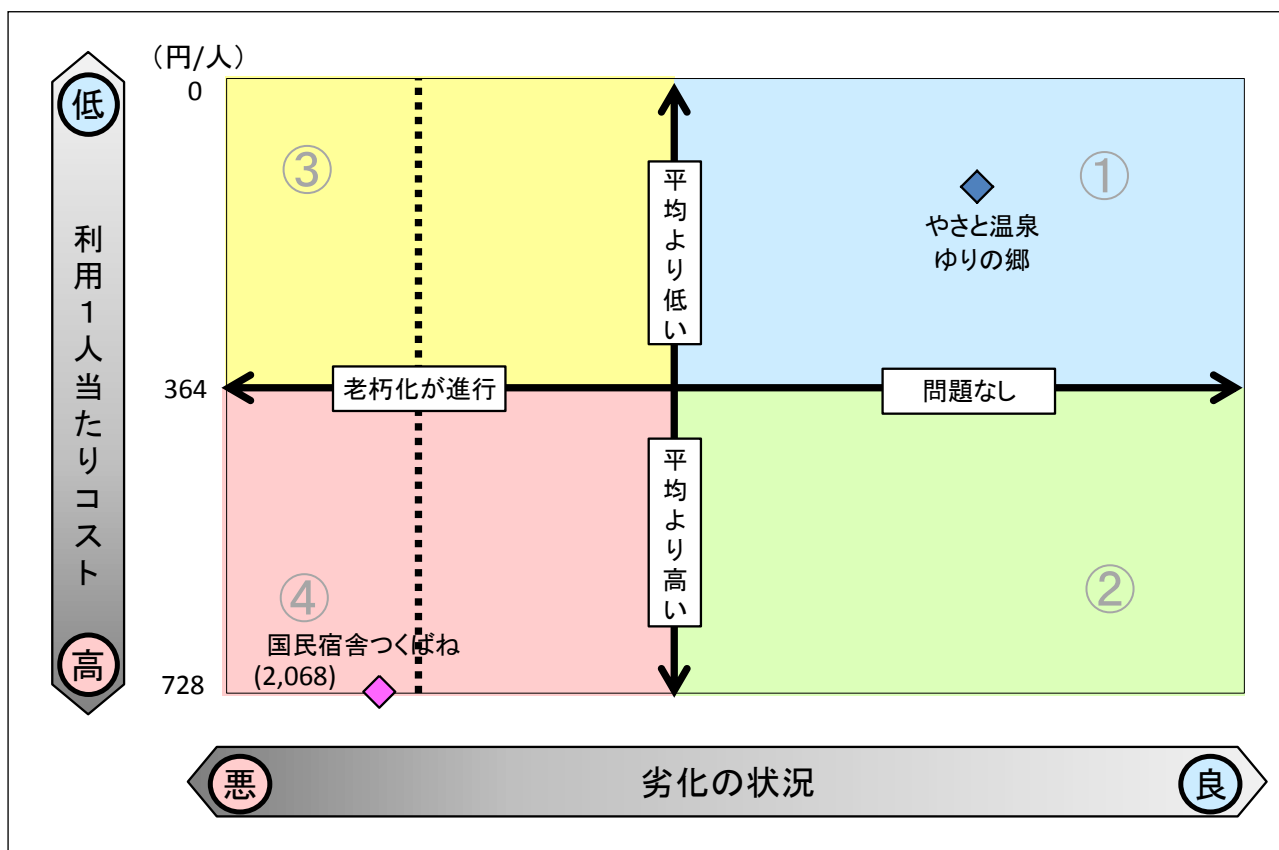
<利用状況>

- やさと温泉ゆりの郷の利用者は平成 23 年度から増加しており、反対に国民宿舎つくばねは減少しています。特に減少要因を明らかにし、今後の施設整備の方針に反映する必要があります。

<運営・コスト状況>

- 2 施設の比較では、国民宿舎つくばねは利用者数の割にコストが高くなっています。コストの過半（約 60%）は指定管理料ですので、利用状況や事業規模に応じた適切な指定管理の内容になっているか検証することが求められるものと考えます。

■ 2 軸評価 （劣化の状況と利用者 1 人当たりのコスト）



■ 改善の方向性

- 国民宿舎つくばねについては、施設のあり方について、利用実態を見据え見直すとともに、市内の保養・観光施設との連携・再編も含めて検討します。

(10) 産業系施設 (白書 : P. 145~151)

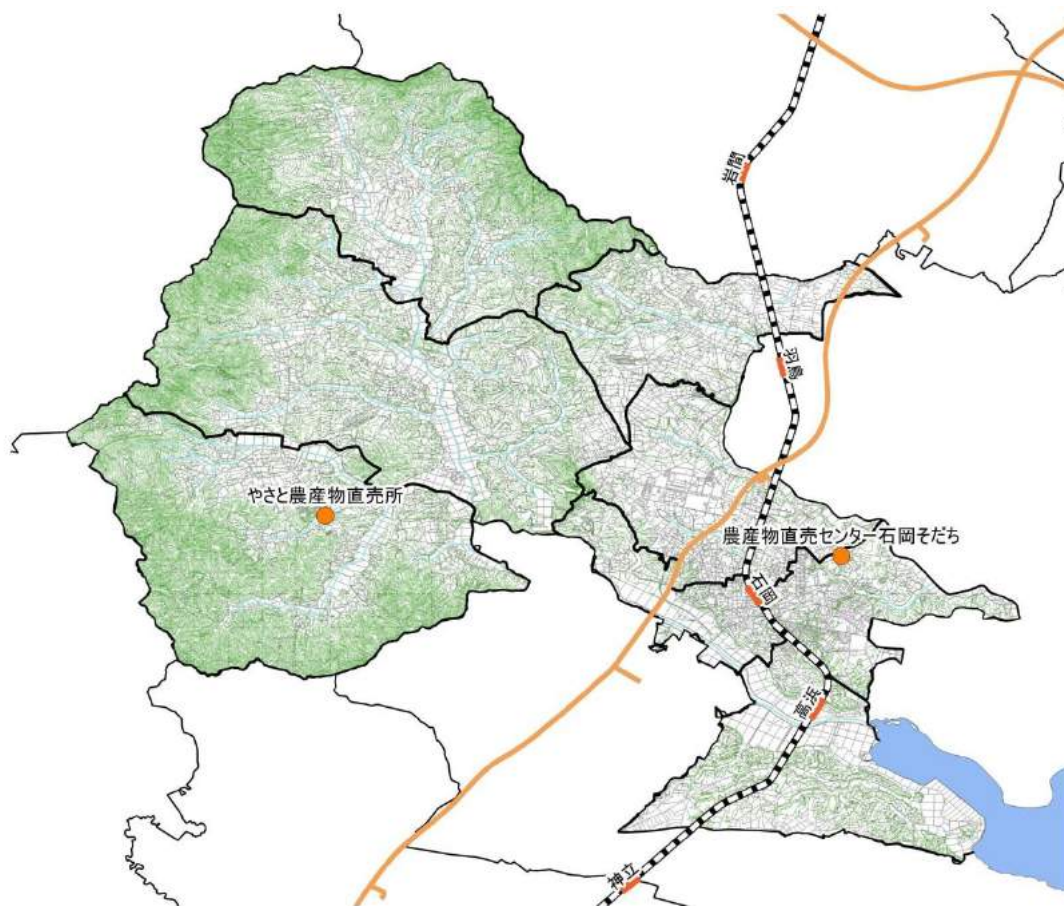
本市では、産業系施設として農業の振興と活性化を図るため農産物の直売所を2施設設置しています。

■ 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
1 農産物直売センター石岡そだち	八軒台11番36号	103.67	平成7	W造	
2 やさと農産物直売所	下青柳1361番地1	259.15	平成19	W造	
合計		362.82			

■ 配置状況

図 産業系施設位置図



■ 現状と課題

<施設状況>

- 全施設耐震安全性や老朽化，劣化状況等で，早急な対応が必要な問題はありません。

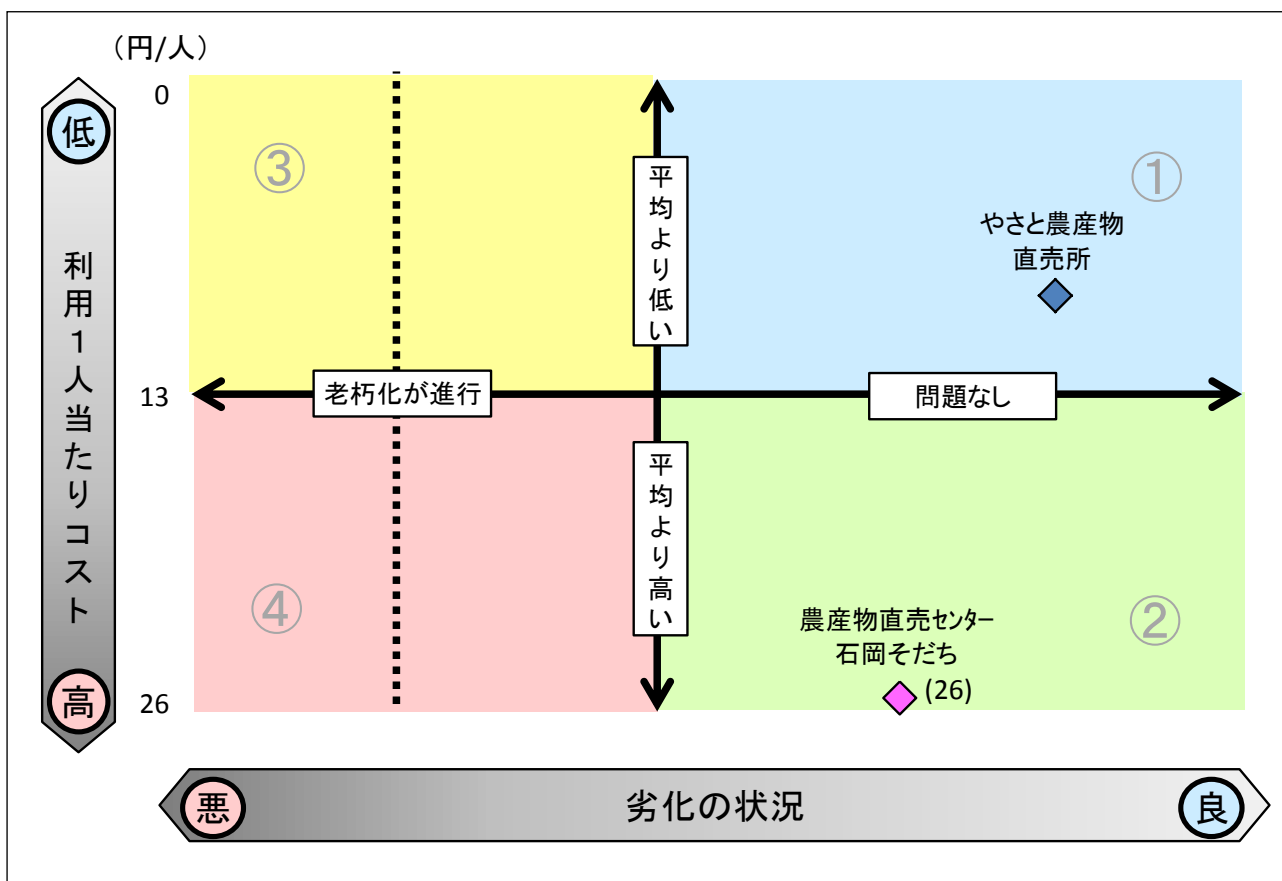
<利用状況>

- 利用が減少傾向にある農産物直売センター石岡そだちについては，要因分析や今後の運営方針等について検討が必要です。

<運営・コスト状況>

- 石岡そだちは，施設にかかるコストの比重が高いため，利用者を増やすなど，検討が必要です。

■ 2軸評価（劣化の状況と利用者1人当たりのコスト）



■ 改善の方向性

- 利用が減少傾向にある農産物直売センター石岡そだちについては，要因分析を行い運営を見直します。

(11) 小学校・中学校（白書：P. 152～165）

本市には、小学校 19 校、中学校 6 校の合計 25 校が設置され、延床面積の合計は 12 万 1,411 m^2 となっています。施設規模をみると、小学校の延床面積は、北小学校の 2,651 m^2 （5 学級）から東小学校の 7,691 m^2 （17 学級）、中学校の延床面積は、城南中学校の 5,180 m^2 （6 学級）から平成 24 年度に建築された八郷中学校の 8,712 m^2 （15 学級）となっています。

■ 施設一覧

（平成 27 年 5 月 1 日現在）

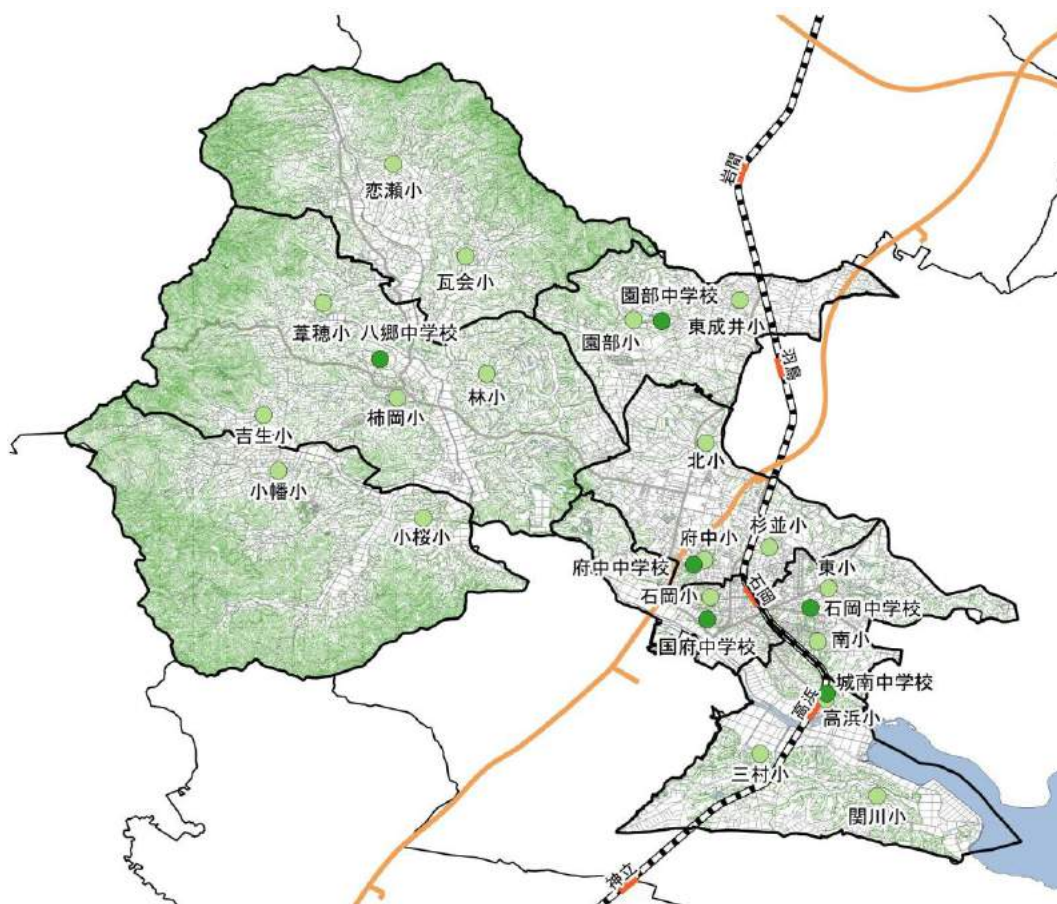
名称	所在地	敷地面積 (m^2)	延床面積 (m^2)	建築 年度	児童生徒数(人)		学級数(学級)		
					通常 学級	特別 支援	通常 学級	特別 支援	
小学校	1 石岡小学校	総社一丁目2番10号	32,003	6,980	昭和42	325	4	12	2
	2 府中小学校	若松一丁目11番18号	24,230	6,059	昭和42	452	8	14	3
	3 高浜小学校	高浜62番地	15,839	3,809	昭和53	86	3	6	1
	4 東小学校	旭台一丁目11番3号	25,305	7,691	平成22	581	26	17	5
	5 三村小学校	三村1853番地	10,774	3,814	昭和40	78	1	6	1
	6 関川小学校	石川1153番地	13,775	2,847	昭和59	44	0	4	0
	7 北小学校	根当10949番地	13,914	2,651	平成25	62	4	5	2
	8 南小学校	南台四丁目1番1号	28,621	5,084	昭和50	459	5	15	2
	9 杉並小学校	杉並二丁目3番1号	23,625	5,349	昭和52	362	5	12	2
	10 園部小学校	宮ヶ崎6番地	18,911	3,780	昭和55	210	7	8	2
	11 東成井小学校	東成井996番地	14,389	2,982	昭和51	133	0	6	0
	12 瓦会小学校	瓦会1135番地2	11,223	2,963	昭和54	80	4	6	1
	13 林小学校	下林857番地1	15,913	3,746	昭和56	161	2	6	1
	14 恋瀬小学校	小見832番地1	12,984	3,181	昭和60	101	7	6	2
	15 葦穂小学校	小屋1054番地	13,416	3,434	平成4	78	3	6	1
	16 吉生小学校	吉生513番地2	13,402	2,817	昭和53	38	0	4	0
	17 柿岡小学校	柿岡2159番地2	17,740	4,138	昭和47	184	5	6	2
	18 小幡小学校	小幡4080番地	15,171	3,452	昭和59	107	1	6	1
	19 小桜小学校	川又746番地	15,188	3,593	平成5	101	3	6	2
小学校 計		336,423	78,370		3,642	88	151	30	
中学校	1 石岡中学校	東石岡四丁目2番1号	25,722	7,888	昭和53	538	11	16	3
	2 府中中学校	若松二丁目6番5号	31,001	8,520	昭和55	490	8	15	2
	3 城南中学校	高浜112番地	31,467	5,180	昭和36	140	1	6	1
	4 国府中学校	総社二丁目12番1号	33,024	7,125	昭和58	158	1	6	1
	5 園部中学校	山崎1862番地	22,783	5,616	平成3	179	4	6	2
	6 八郷中学校	柿岡3513番地2	39,021	8,712	平成24	516	15	15	2
中学校 計		183,018	43,041		2,021	40	64	11	
学校施設 合計		519,441	121,411		5,663	128	215	41	

※「建築年度」は、校舎棟（又は特別教室棟など主要棟）で最も古い建築年度を記しています。

■ 配置状況

府中中学校校区・石岡中学校区の年少人口は40%以上の大幅な減少が予測されています。将来の年少人口の動態と現在の学校配置状況、さらには児童生徒数の推移を見比べて、教育環境の維持・向上の観点から学校施設の適正配置についても検討が必要です。

図 小学校・中学校位置図



■ 現状と課題

<施設状況>

- 学校施設は、公共施設保有面積の約45%を占めています。
- 耐震対策は平成27年度においてすべて完了いたしました。
- 全体的に老朽化した施設が多く、老朽化の進行による劣化等が懸念されます。実際に主要部位に対策の必要な劣化も見受けられます。今後は少人数学習に対応した教室数の確保や新たな学習形態にあわせたスペース・設備の充実等を含めた全体計画の策定が必要です。

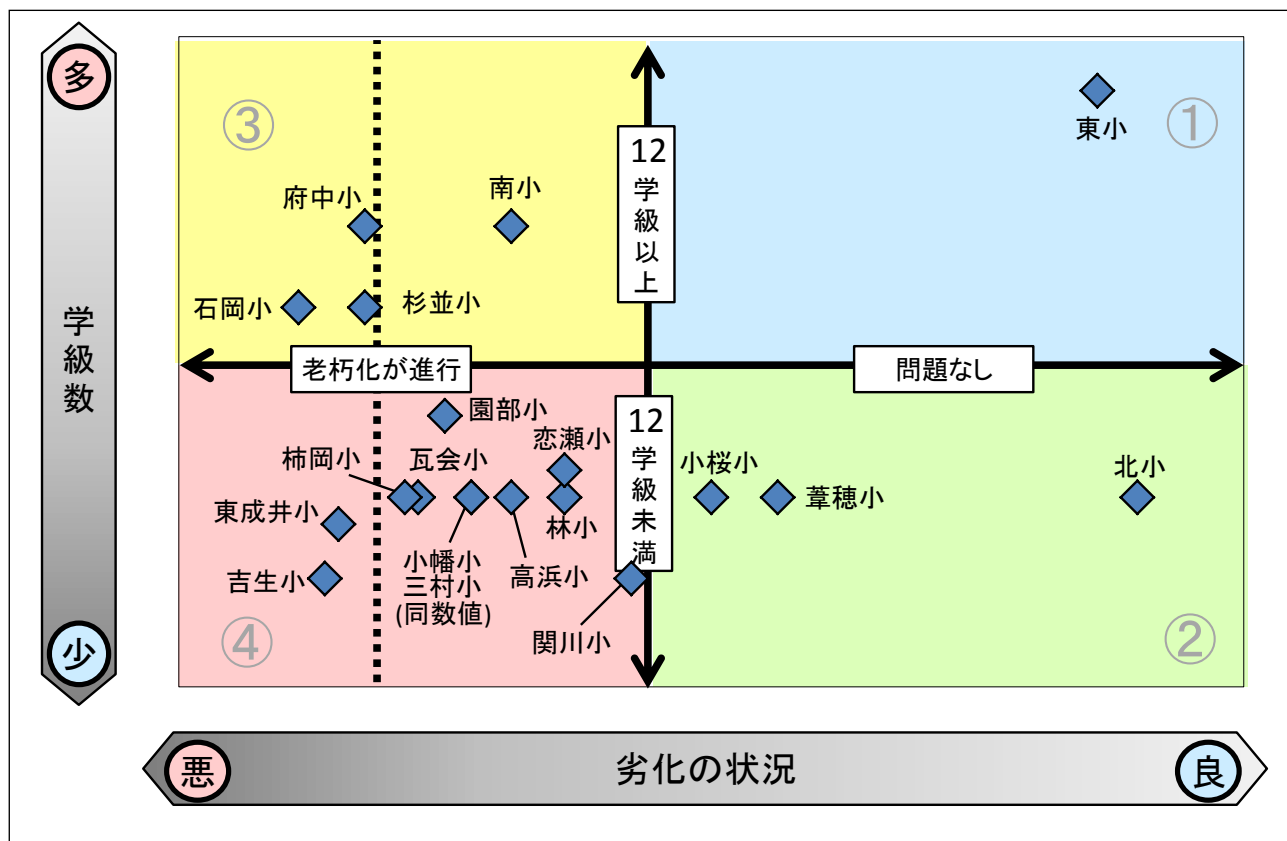
<利用状況>

- 小・中学校の児童・生徒数は、昭和57年の1万1,521人をピークに減少しており、平成28年5月1日の時点では、5,579人とピーク時の約50%となっています。
- 今後の年少人口の減少を踏まえると、児童・生徒数も減少すると予測されます。

<運営・コスト状況>

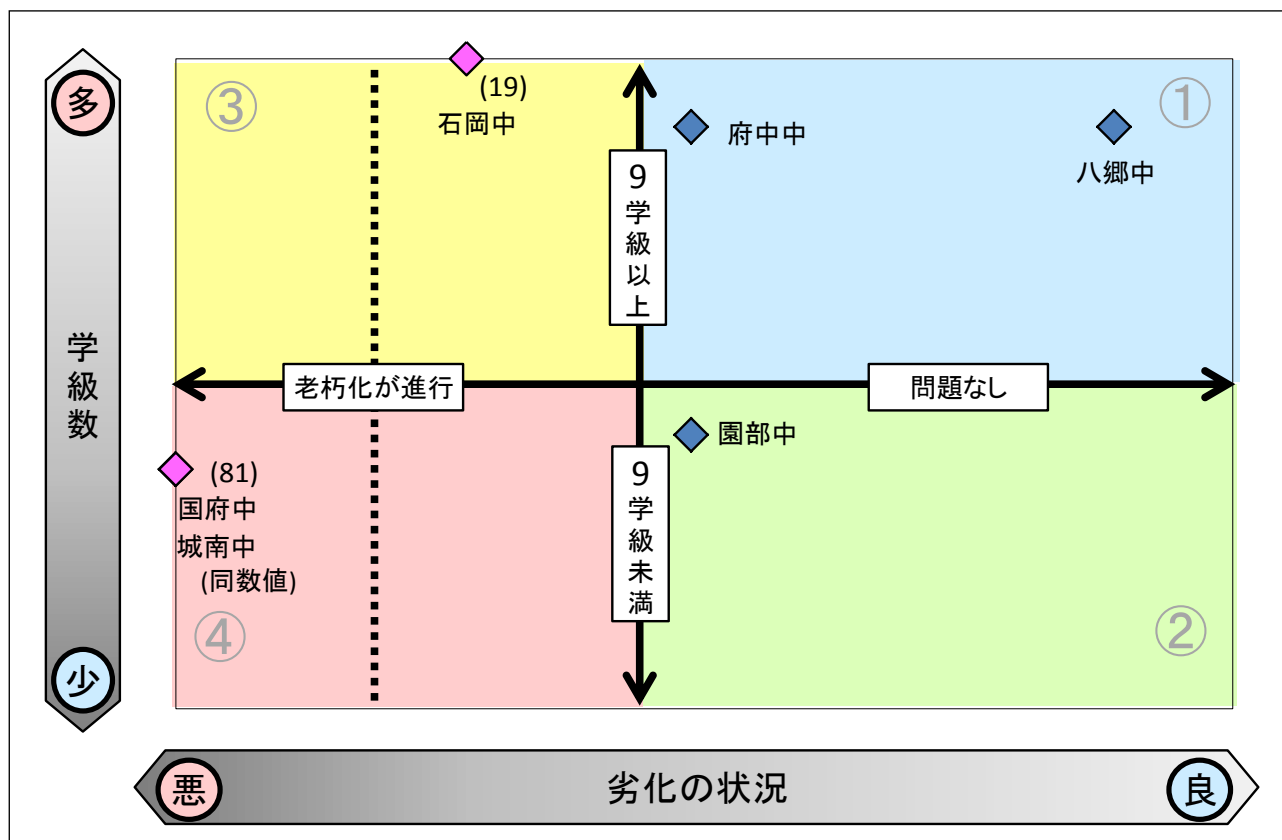
- 老朽化による施設修繕費の比率が高い傾向にあります。学校施設は児童・生徒の安全確保はもちろん、地域の防災機能の観点からも、施設の長寿命化を含めた老朽化対策が必要となります。

■ 2軸評価<小学校> (劣化の状況と学級数)



※ 12学級：「学校教育法施行規則」（昭和22年5月23日文部省令第11号）に定められた、小学校の学級数の基準です。「小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。」と定められています。

■ 2軸評価<中学校> (劣化の状況と学級数)



※ 9学級：「公立小・中学校の適正規模について(指針)」(平成20年4月 茨城県教育委員会)の中で、中学校においては、クラス替えが可能で全ての教科の担任が配置できる9学級以上が望ましい、とされています。

■ 改善の方向性

- 少人数学習に対応した教室数の確保や新たな学習形態にあわせたスペース・設備の充実等を含めた個別計画を策定します。
- 老朽化した学校施設の更新時に、人口動態等地区特性を踏まえ、地域の活動拠点となるような学校施設のあり方について検討します。

(12) 給食センター（白書：P.166～173）

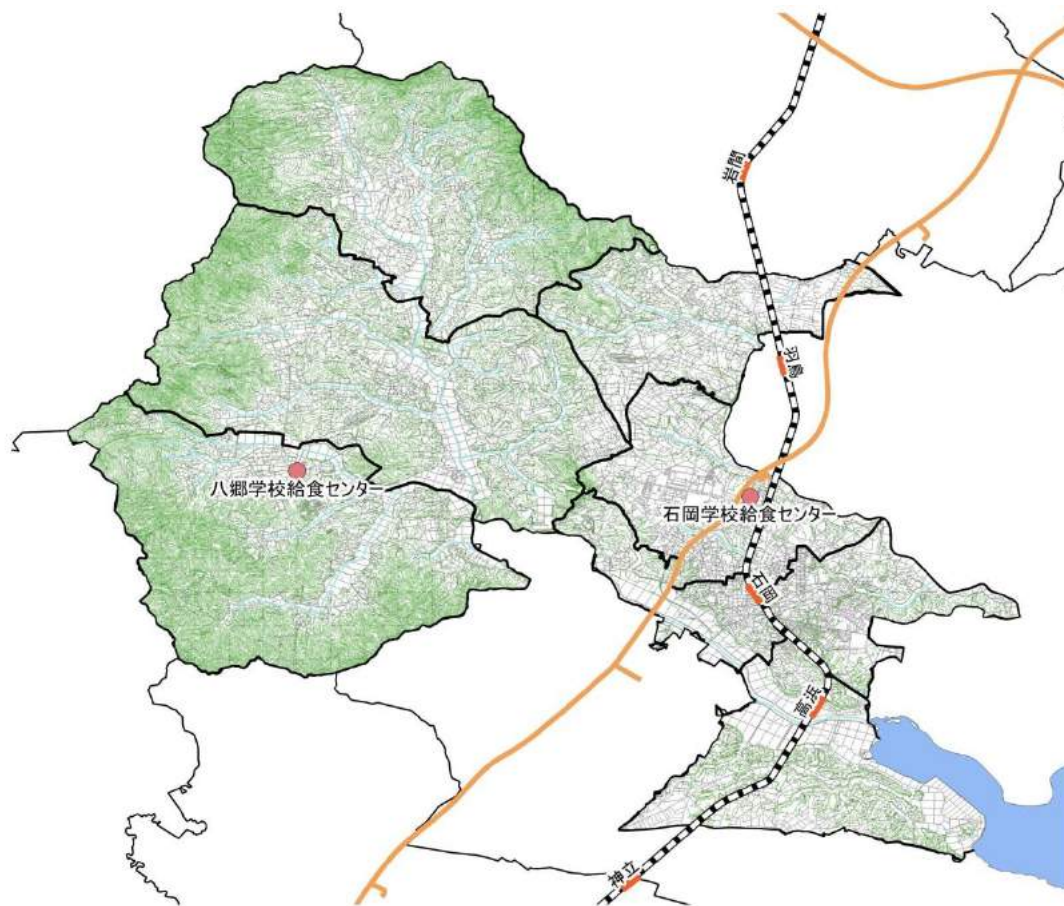
本市では、市立小学校及び中学校計 25 校の学校給食を提供するため、給食センター2 施設を設置しています。

■ 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
1 石岡学校給食センター	正上内16番16号	2,513.92	平成19	S造	
2 八郷学校給食センター	須釜1300番地1	1,580.00	平成14	S造	
合計		4,093.92			

■ 配置状況

図 給食センター位置図



■ 現状と課題

<施設状況>

- 給食センターは、2施設とも比較的新しく、大きな問題は見受けられません。

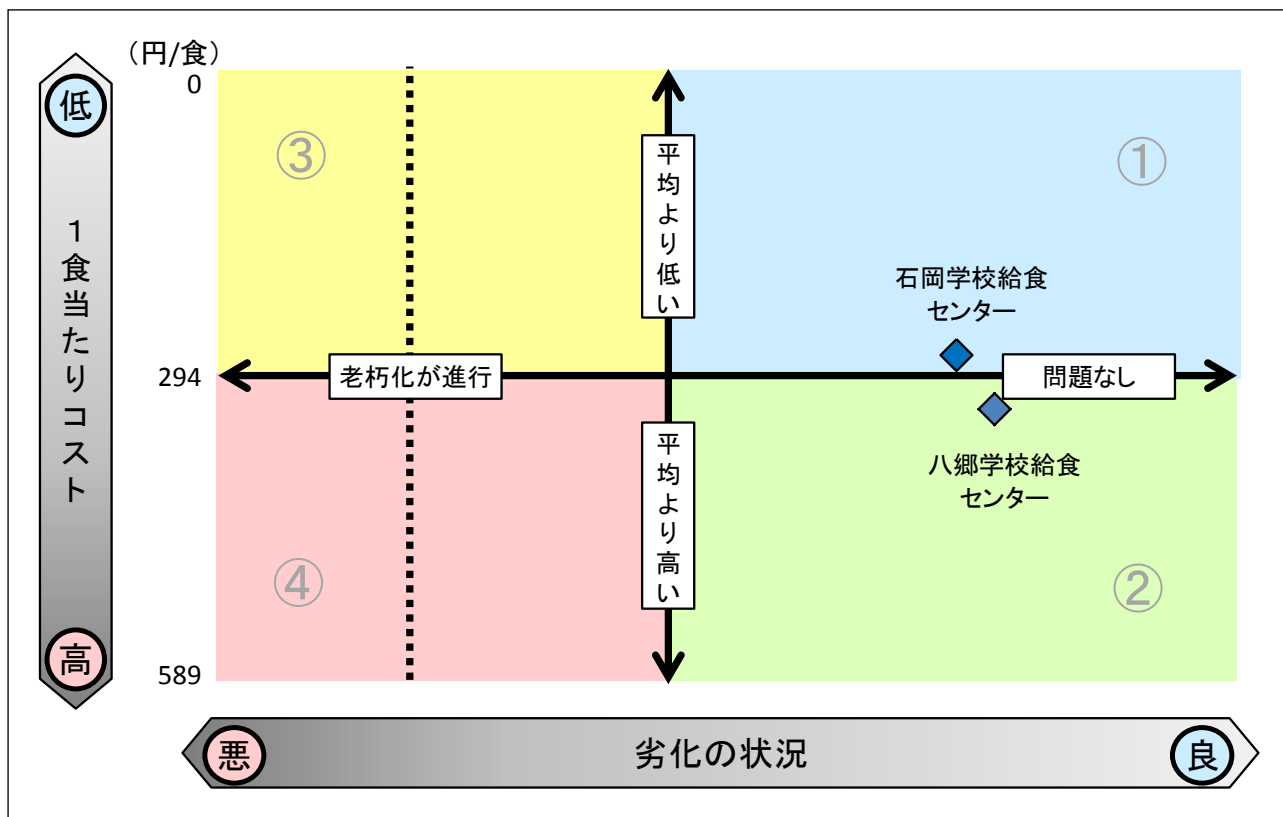
<利用状況>

- 利用状況・コストとも、施設規模の比率程度の差で、施設ごとの個別性は特に見受けられませんが、年間配食数の平成24年度から平成26年度の2年間の推移は7%減少しています。これは児童・生徒数の減少によることが想定され、今後も同様の傾向が続くことや、各施設の担当地区による違いも生じてくる可能性も想定されます。コストの多くを占める人件費と賄材料費は、配食数によって増減することになると考えられますが、施設に係る経費は配食数に関わらずほぼ固定となるため、地区（学校）ごとの児童・生徒数の将来推計を踏まえた施設整備が求められるものと思われます。
- 旧八郷南中学校校舎を改修・増築し、新規の茨城県立特別支援学校として平成31年4月の開校を予定していることにもない、八郷学校給食センターからの配食を検討しています。

<運営・コスト状況>

- 平成27年9月から八郷学校給食センターは、調理業務を外部委託しています。
- 全施設のトータルコストのうち、賄材料費等が48%、人件費が27%を占めています。

■ 2軸評価（劣化の状況と1食当たりのコスト）



■ 改善の方向性

- 地区(学校)ごとの児童・生徒数の将来推計を踏まえた施設整備を推進します。
- 小・中学校の今後の統合・再編の状況に合わせて、より効率的な配食区域を見直します。

(13) 保育所・幼稚園（白書：P. 174～189）

本市では、市立保育所を5施設設置しており、総延床面積は3,827.93㎡です。施設別の延床面積は、やさと中央保育所の1,426.38㎡から第2保育所(休所中)の300.95㎡となっています。保育所全体の認可定員は490人で、平成26年度の入所児童数は421人、入所率は約86%となっています。

■ 施設一覧

<保育所>

(平成27年5月1日現在)

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	児童数 (人) A	定員 (人) B	入所率 (人) A/B	備考
1 第1保育所	総社一丁目2番10号	349.45	昭和43	S造	38	60	63%	平成26.7.1から一時的に石岡小学校の空き教室を利用
2 第2保育所	石岡3383番地2	300.95	昭和40	S造	36	60	60%	
3 やさと中央保育所	柿岡2155番地	1,426.38	平成21	W造	134	120	112%	地域子育て支援センターを含む
4 園部保育所	真家1921番地	712.96	平成4	S造	111	110	101%	
5 みなみ保育所	月岡1375番地	1,038.19	平成11	W造	102	140	73%	
合計		3,827.93			421	490	86%	

<幼稚園>

(平成27年5月1日現在)

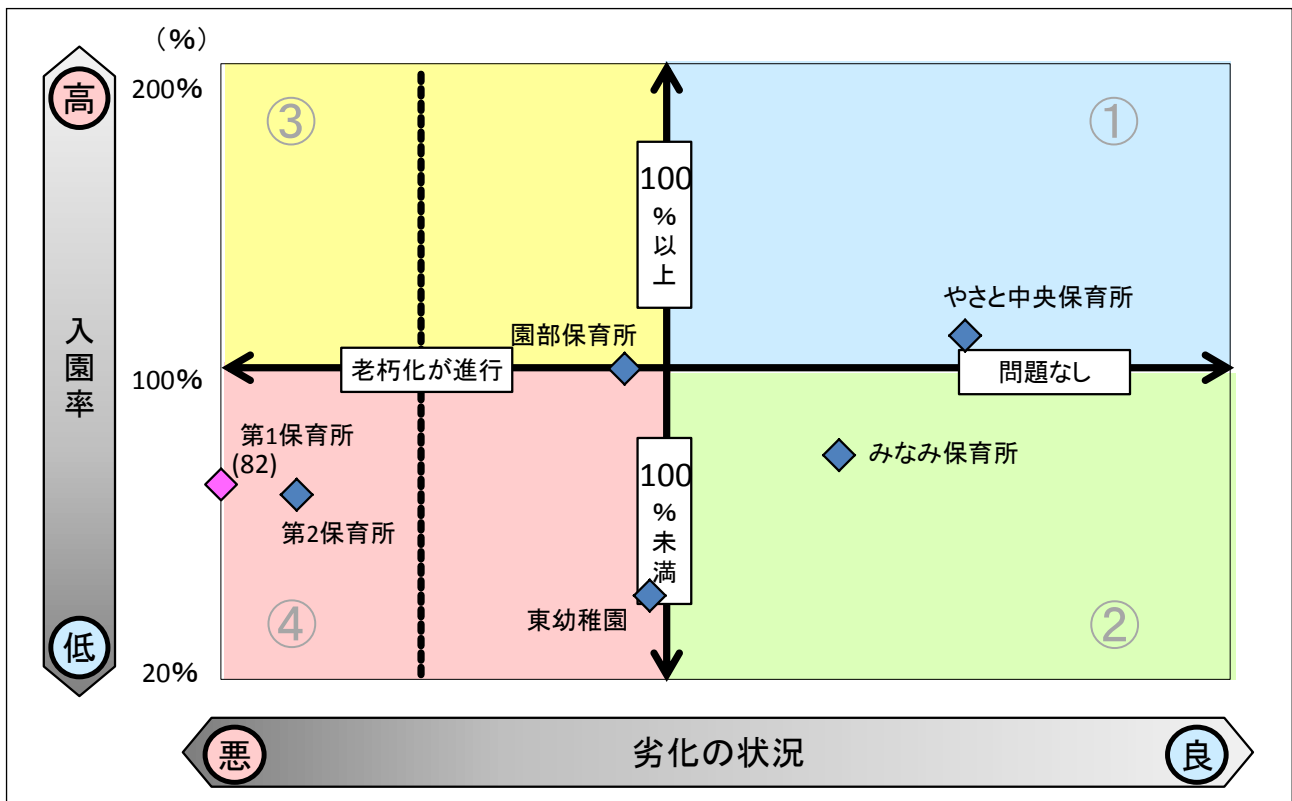
名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	園児数 (人) A	定員 (人) B	入園率 (人) A/B	備考
1 東幼稚園	東大橋1610番地1	297.23	昭和50	W造	19	70	27%	
合計		297.23						

■ 配置状況

図 保育所・幼稚園位置図



■ 2軸評価 (劣化の状況と入園率)



■ 現状と課題

<施設状況>

- 第1・第2保育所は、耐震診断の結果、耐震性能を確保できない判定だったため、石岡小学校の空き教室を一時的に利用しています。
- 東幼稚園は、築40年を経過しており、老朽化の進行が懸念されます。
- 園部保育所は今後老朽化の進行が懸念されます。また、みなみ保育所は比較的新しい施設ですが、今後はバリアフリー化を進めていくことが望まれます。

<利用状況>

- 市立保育所の施設別の定員数と児童数は、5施設中3施設で定員を下回っています。一方、幼稚園は定員を大きく下回り、入園率は27%となっています。
- 市内には、市立保育所・幼稚園のほかに、私立保育園11園、認定こども園7園で子育て支援を行っています。

<運営・コスト状況>

- 小規模な施設が割高になっています。但しある程度施設が大規模化すると、人件費が中心である保育所・幼稚園のコストは、集約化等で効率化するには限界があります。施設面では、他の用途も含めた施設建物の共用や賃貸施設の利用など、人口変化に柔軟に対応できる面からの検討が求められるものと考えられます。

■ 改善の方向性

- 定員に満たない施設と定員超過の施設があり、地域の需要に対する適切な施設配置や急速な少子化等に応じた柔軟な受入れ体制を図ります。
- 施設面では、他の用途も含めた施設建物の共用など、人口変化に柔軟に対応します。
- 東幼稚園は、園児数が定員を大きく下回っているため、平成31年3月末をもって閉園いたします。

(14) 児童館等 (白書 : P. 190~198)

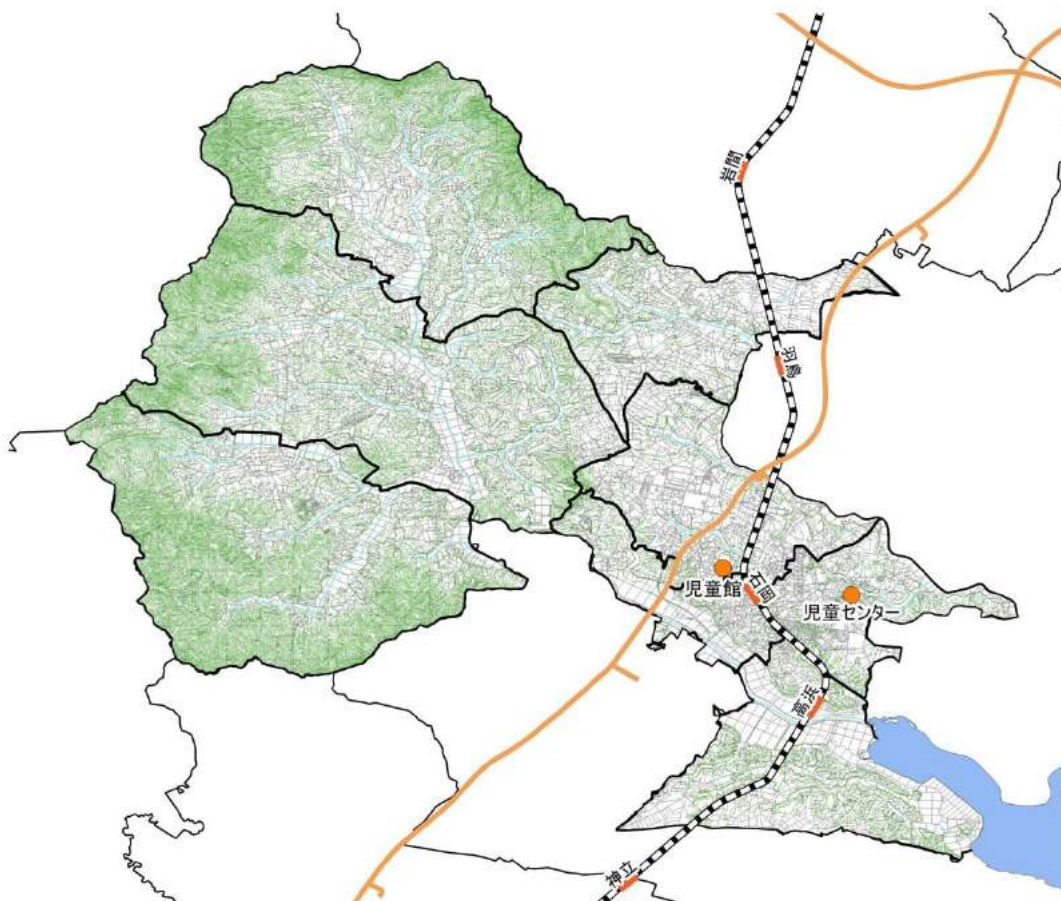
本市では、児童館等として2施設を設置しています。児童館等は利用者や地域住民と連携し、地域児童の健全な育成を目的とする施設です。

■ 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
1 児童館	府中五丁目7番33号	165.00	昭和38	S造	
2 児童センター	旭台三丁目9番21号	418.00	昭和55	RC造	
合計		583.00			

■ 配置状況

図 児童館等位置図



■ 現状と課題

＜施設状況＞

- 児童センターは平成 26 年度に耐震診断を実施し、耐震性能が確保されていることが確認できました。
- 児童館は築年数が 50 年を超えており、老朽化が進んでいます。

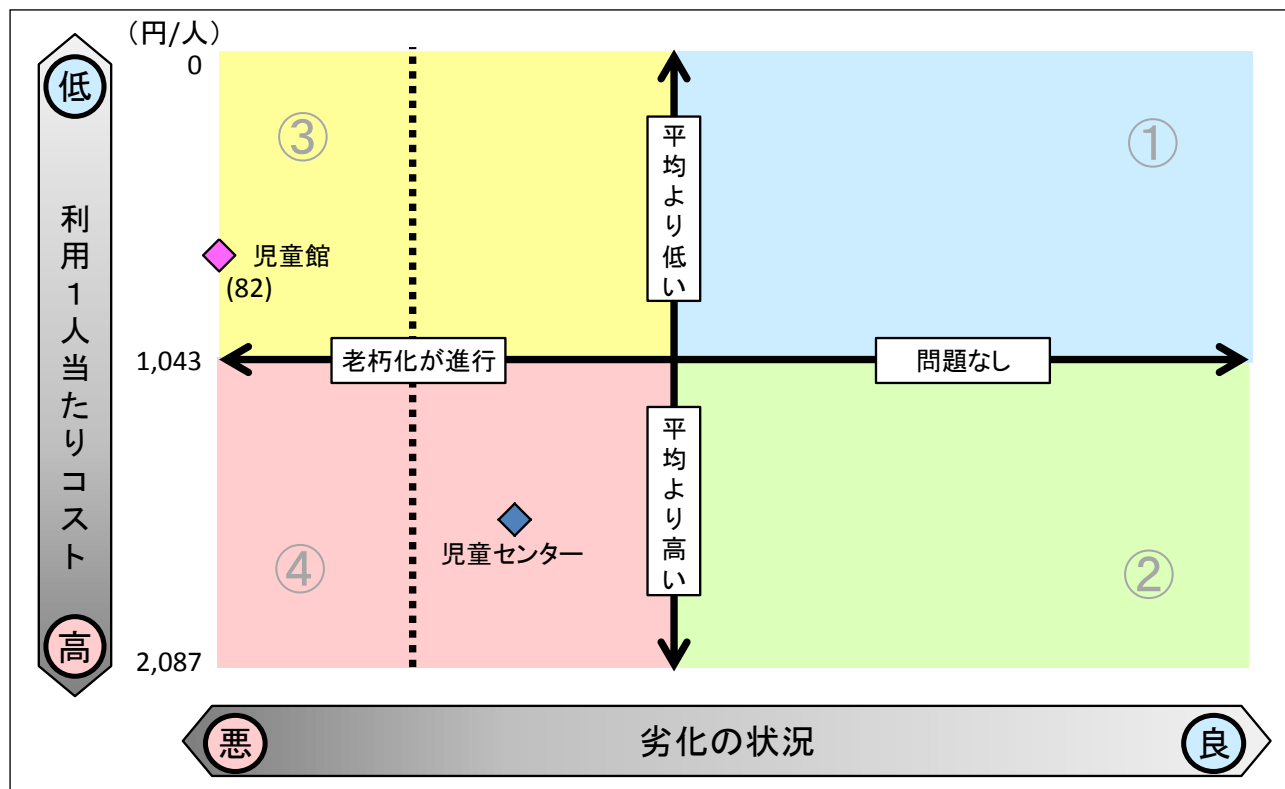
＜利用状況＞

- 児童センターは規模が大きい割に利用者が少なくなっています
- 年間利用者数は、児童館が約 1 万 6,713 人、児童センターが 1 万 568 人で、平成 24 年から平成 26 年までの年間推移は 13% 減少しています。

＜運営・コスト状況＞

- 児童センターは規模が大きい割に利用者が少なく、利用者数当たりのコストも割高になっています。
- 人件費が全体の 7 割を超えています。

■ 2 軸評価 （劣化の状況と利用者 1 人当たりのコスト）



■ 改善の方向性

- 児童館は築年も古く、老朽化が進行しています。類似施設との統合・再編を視野に入れて、検討します。
- 2施設とも直営ですが、部分的に直営以外の運営方式の導入検討等を行います。

(15) 児童クラブ（白書：P. 199～208）

本市では、昼間保護者のいない小学生を対象に、放課後を楽しく安全に過ごせるよう児童クラブを19施設設置しています。そのうち15施設は小学校の余裕教室を利用しています。

登録児童数は、全施設合計で636人となっています。

■ 施設一覧

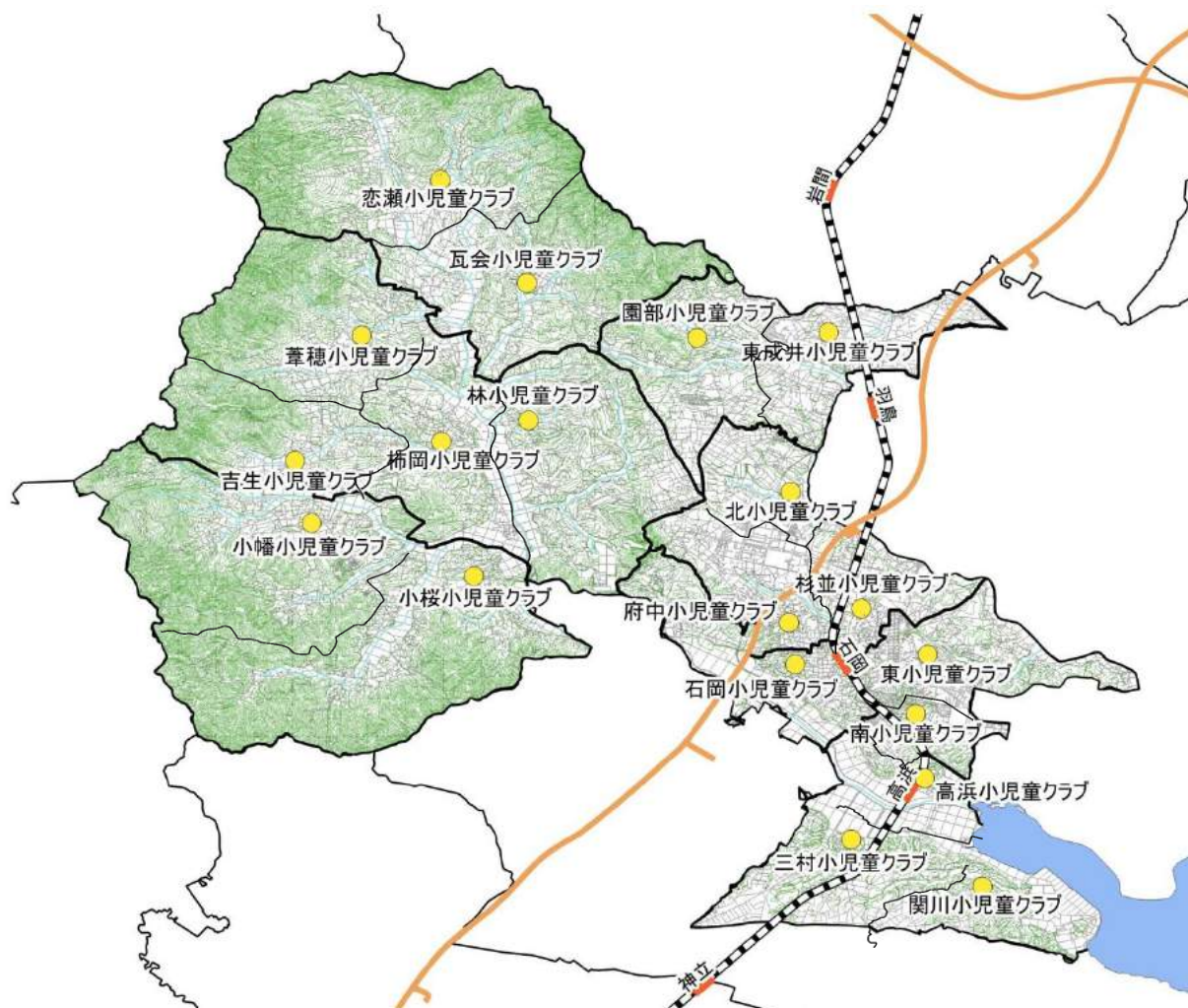
（登録児童数は平成27年11月2日時点の実績値）

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	児童 定員	登録 児童数	職員 数	構造 (主たる 建物)	複合・併設 施設
								小学校
1 石岡小児童クラブ	総社一丁目2番10号	128.00	昭和43	35	33	5	RC造	●
2 府中小児童クラブ	若松一丁目11番18号	204.75	昭和50	105	71	10	RC造	●
3 高浜小児童クラブ	高浜62番地	68.00	昭和54	35	26	4	RC造	●
4 東小児童クラブ	旭台一丁目11番3号	199.54	平成22	90	60	10	軽量S造	
5 三村小児童クラブ	三村1853番地	64.64	平成15	35	24	5	RC造	●
6 関川小児童クラブ	石川1153番地	60.00	昭和59	30	10	5	RC造	●
7 北小児童クラブ	根当10949番地	99.79	平成15	45	15	3	軽量S造	
8 南小児童クラブ	南台四丁目1番1号	201.23	平成23	90	84	11	W造	
9 杉並小児童クラブ	杉並二丁目3番1号	204.87	平成16	90	73	12	軽量S造	
10 園部小児童クラブ	宮ヶ崎6番地	125.80	昭和55	70	54	8	RC造	●
11 東成井小児童クラブ	東成井996番地	64.00	昭和57	35	29	4	RC造	●
12 瓦会小児童クラブ ※	瓦谷1135番地2	63.33	昭和54	20	2	3	RC造	●
13 林小児童クラブ	下林857番地1	61.20	昭和62	35	30	4	RC造	●
14 恋瀬小児童クラブ	小見832番地1	91.80	昭和60	20	15	5	RC造	●
15 葦穂小児童クラブ	小屋1054番地	108.00	平成4	45	12	3	RC造	●
16 吉生小児童クラブ	吉生513番地2	64.00	昭和53	35	13	4	RC造	●
17 柿岡小児童クラブ	柿岡2159番地2	83.70	昭和47	45	53	7	RC造	●
18 小幡小児童クラブ	小幡4080番地	61.20	昭和59	35	17	4	RC造	●
19 小桜小児童クラブ	川又746番地	105.10	平成5	20	15	5	RC造	●
合計		2,058.95		915	636	112		

※瓦会小児童クラブは、平成26年6月～平成28年7月まで休所。

■ 配置状況

図 児童クラブ位置図



■ 現状と課題

<施設状況>

- 19施設中15施設は小学校の余裕教室を利用しています。
- 学校の余裕教室を利用している施設は老朽化が進行しています。

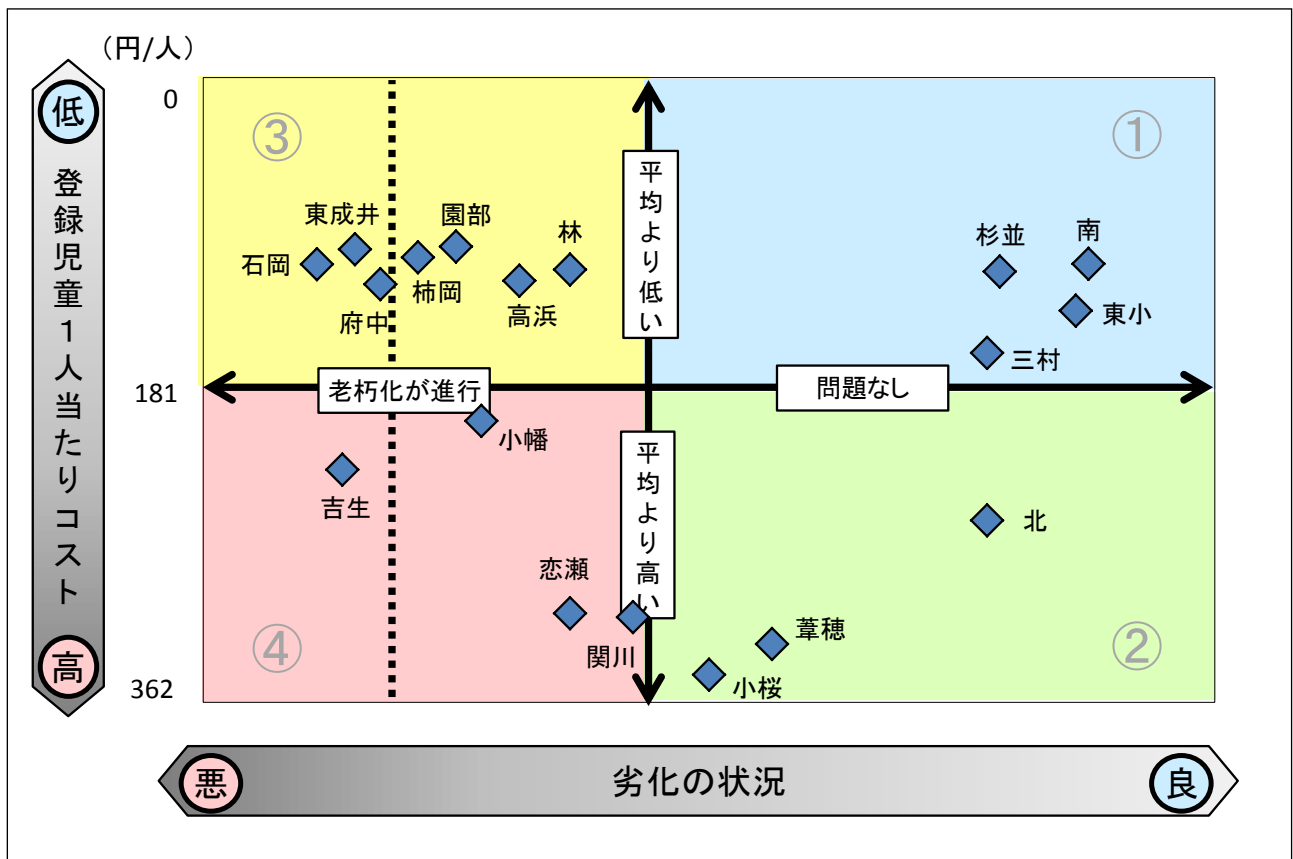
<利用状況>

- 児童定員に対する登録児童数の割合は平均59.8%で、最も高い割合となっているのは石岡小児童クラブ(94.3%)です。逆に最も小さな割合となっているのは、瓦会小児童クラブ(13.3%)、次いで葦穂小児童クラブ(18.5%)です。
- 瓦会小児童クラブは平成26年6月以降、利用児童がいなかったため、平成28年7月20日に再開するまでの期間、休所中でした。このためコスト分析から除外しています。

<運営・コスト状況>

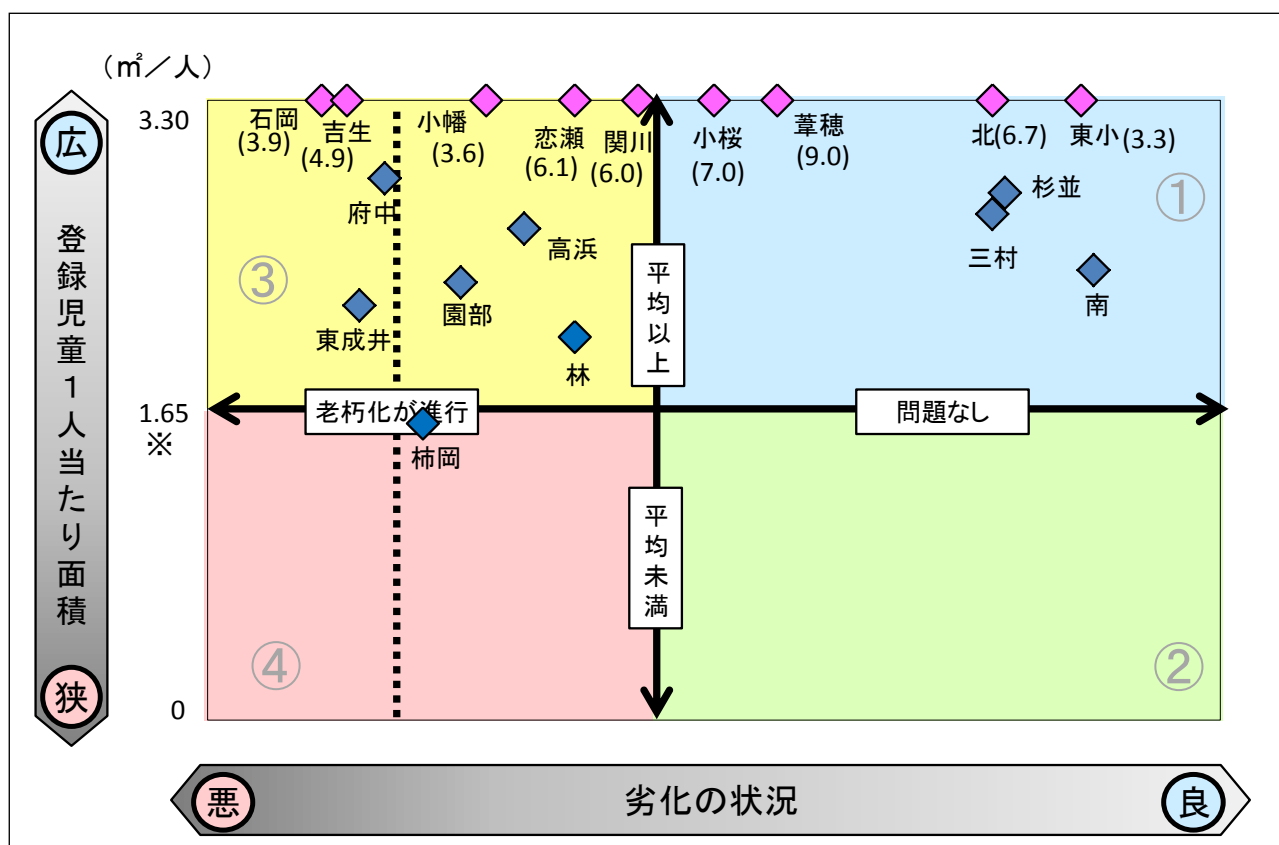
- 修繕費が割高になっている4施設のうち恋瀬小、柿岡小、小桜小の児童クラブは教室の移転や増設によるものです。
- 小桜小、葦穂小、関川小、恋瀬小、北小、の各児童クラブは登録児童1人あたりのコストが平均値を超えています。

■ 2軸評価 (劣化の状況と登録児童1人当たりのコスト)



第3章 用途別の現状と課題

■ 2軸評価（劣化の状況と登録児童1人当たりの面積）



※ 1.65 m²/人：「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」（平成26年4月30日 厚生労働省令第63号）に定められた、児童クラブ等の基準となる児童1人当たりの面積です。おおむね1.65 m²以上でなければならない、と定められています。

■ 改善の方向性

- 利用者1人当たりコストが割高な施設は、事業の効果的な展開、効率的な施設運営を推進します。

(16) 高齢福祉施設（白書：P. 209～222）

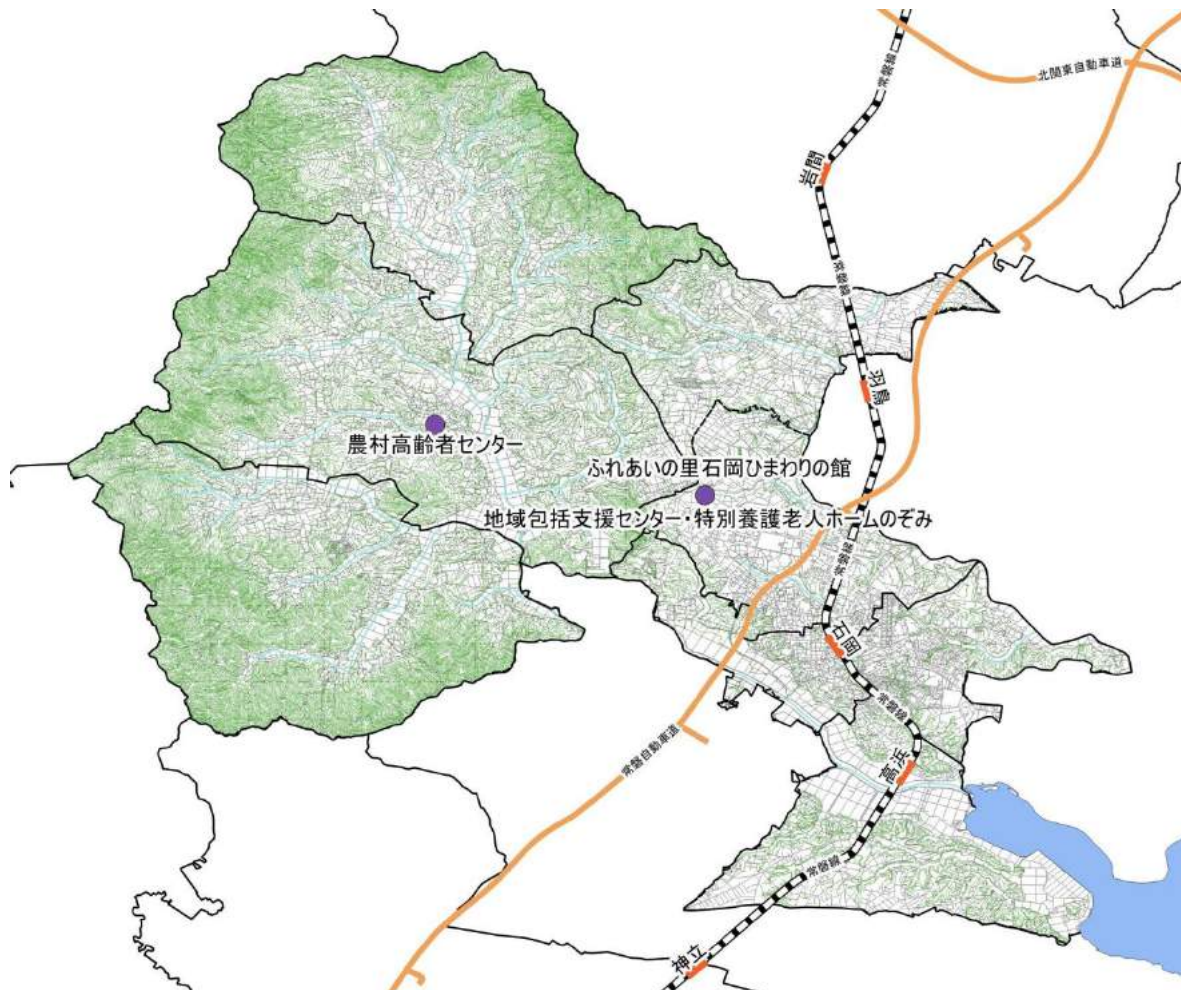
本市では、高齢者に関する各種相談、健康の増進、教養の向上及びレクリエーション等のための施設として、高齢福祉施設を4施設設置しています。なお、地域包括支援センターは、ふれあいの里石岡ひまわりの館内にあり、特別養護老人ホームのぞみは、ふれあいの里石岡ひまわりの館と同一敷地内にあります。

■ 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	複合・ 併設施設	備考
					障害福祉施設	
1 ふれあいの里石岡ひまわりの館	大砂10527番地6	5,145.72	平成11	RC造	●	
2 地域包括支援センター	大砂10527番地6	194.80	平成11	RC造	●	ひまわりの館と複合
3 農村高齢者センター	柿岡2155番地	610.00	昭和63	S造		
4 特別養護老人ホームのぞみ	大砂10527番地6	2,098.00	平成12	S造		
合計		8,048.52				

■ 配置状況

図 高齢福祉施設位置図



■ 現状と課題

<施設状況>

- 高齢福祉施設 4 施設は比較的新しい施設ですが、ふれあいの里石岡ひまわりの館では、特殊建築物定期調査報告業務において、外部ひび割れの指摘等があり、今後、定期的に修繕、点検を行っていく必要があります。
- また、特別養護老人ホームのぞみは、平成 26 年度の特種建物定期調査報告業務において、雨漏りの調査結果が出ていますので、早期の修繕が必要です。建屋状況については、定期調査により、劣化及び要修繕箇所等の把握が必要です。簡易修繕及び、緊急修繕についても随時行っていく必要があります。

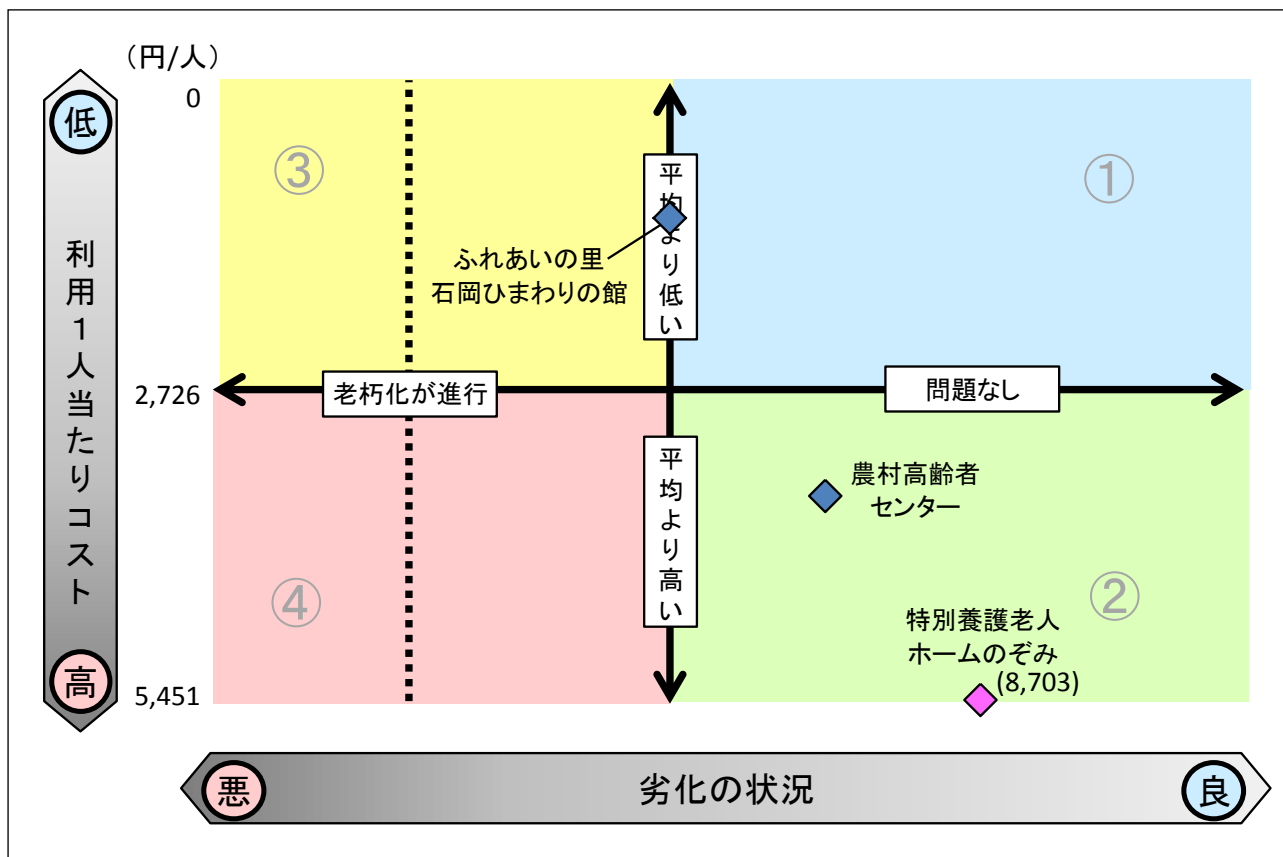
<利用状況>

- ふれあいの里石岡ひまわりの館以外の利用者数は、ほぼ横ばいです。

<運営・コスト状況>

- 業態の異なる施設での単純比較はできませんが、ふれあいの里石岡ひまわりの館は他の施設に比べ、光熱水電費等が高いため、施設にかかるコストの比率は高くなっていますが、利用者数が多いため、利用者 1 人当たりのコストは低くなっています。
- 地域包括支援センターは人件費等の事業運営にかかる費用の比率が高くなっています。

■ 2軸評価 (劣化の状況と利用者 1 人当たりのコスト)



■ 改善の方向性

- 公共と民間の役割を明確化しながら、今後の施設のあり方について検討し、より効率的な管理運営を行います。
- 将来のニーズをとらえ、高齢者福祉サービスのあり方を検討します。

(17) 障害福祉施設（白書：P.223～230）

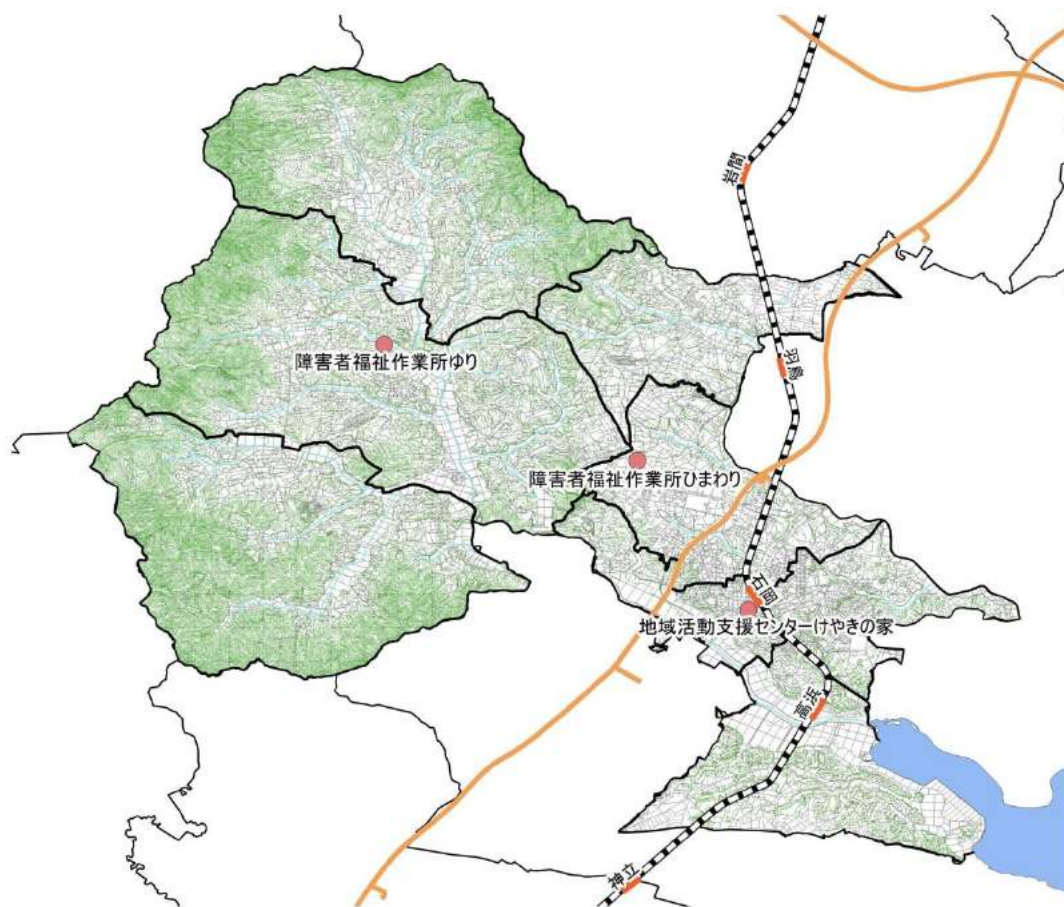
本市では、障害福祉施設として、障がいによって働く事が困難な方の日中の活動をサポートする福祉施設である地域活動支援センターけやきの家、障害者福祉作業所ゆり、障害者福祉作業所ひまわりの3施設を設置しています。

■ 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	複合・ 併設施設	備考
					高齢福祉施設	
1 地域活動支援センターけやきの家	国府四丁目5番3号	227.00	昭和34	RC造		
2 障害者福祉作業所ゆり	柿岡2300番地	197.00	平成21	W造		
3 障害者福祉作業所ひまわり	大砂10527番地6	184.25	平成11	RC造	●	ひまわりの館と複合
合計		608.25				

■ 配置状況

図 障害福祉施設位置図



■ 現状と課題

<施設状況>

- 障害福祉作業所 2 施設は比較的新しい施設ですが，地域活動支援センターけやきの家は築 50 年を超えており，重要部位に劣化が生じていますので，早期の対応が必要です。平成 28 年度には耐震診断を実施しています。

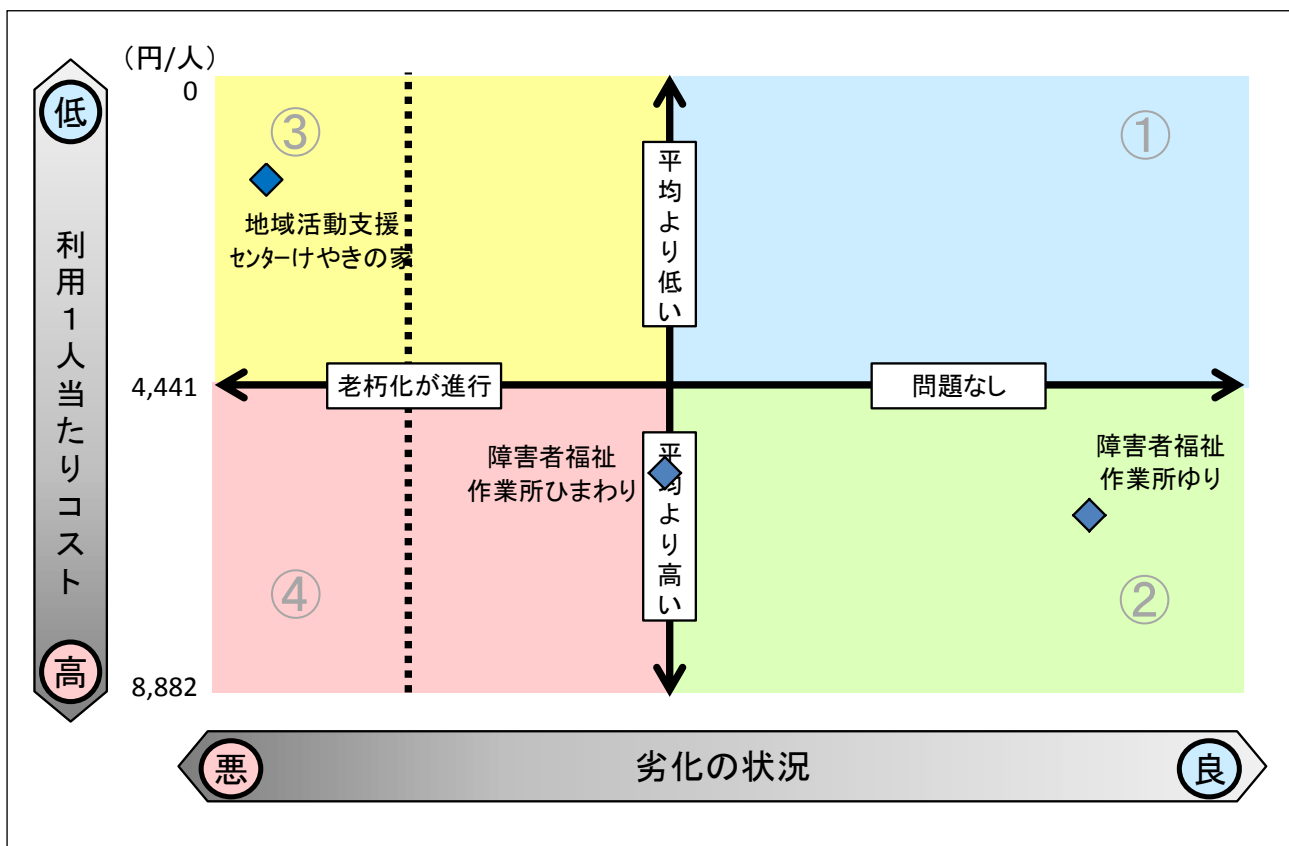
<利用状況>

- 障害福祉施設 3 施設のうち 2 施設が 3 年前より利用者数が減少しています。

<運営・コスト状況>

- コストの大部分は事業運営費（委託料）となっています。

■ 2 軸評価 （劣化の状況と利用者 1 人当たりのコスト）



■ 改善の方向性

- 2 施設の利用者数減の理由を明確にし、施設やサービスの面で改善すべき課題を明らかにし、対応策をとります。
- 障がい者の方の日中活動の場として、今後は、行政が直接施設を建てたり、老朽化施設を貸すといった方式でなく、施設建設費や運営費を補助する等の支援方式での対応について検討します。

(18) 保健施設（白書：P. 231～239）

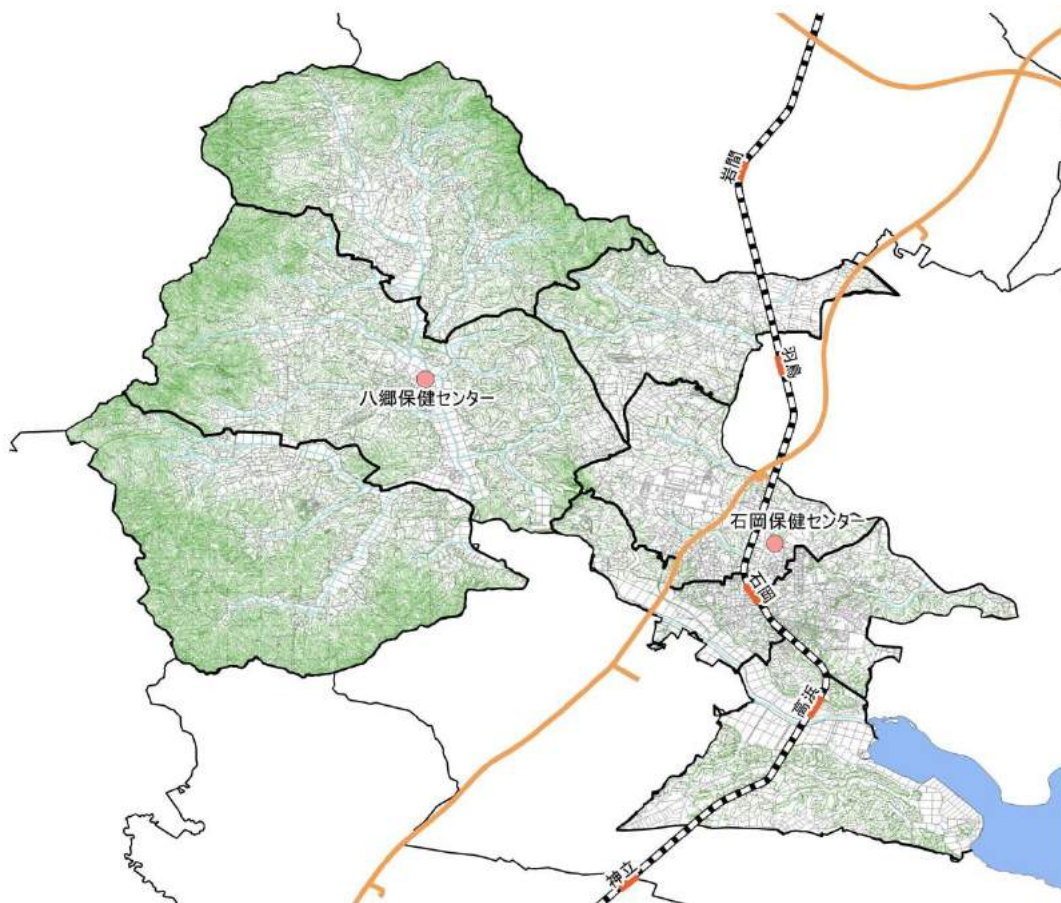
本市では、市民の疾病予防及び健康の保持増進のため、保健施設を2施設設置しています。

■ 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
1 石岡保健センター	杉並二丁目1番1号	1,664.52	昭和54	RC造	
2 八郷保健センター	柿岡2750番地	1,870.25	平成8	RC造	
合計		3,534.77			

■ 配置状況

図 保健施設位置図



■ 現状と課題

＜施設状況＞

- 石岡保健センターは、築 37 年となり、重要部位の劣化もみられます。八郷保健センターは築 20 年に達し、こちらも重要部位の劣化がみられます。いずれも修繕等の老朽化・劣化対策が必要です。

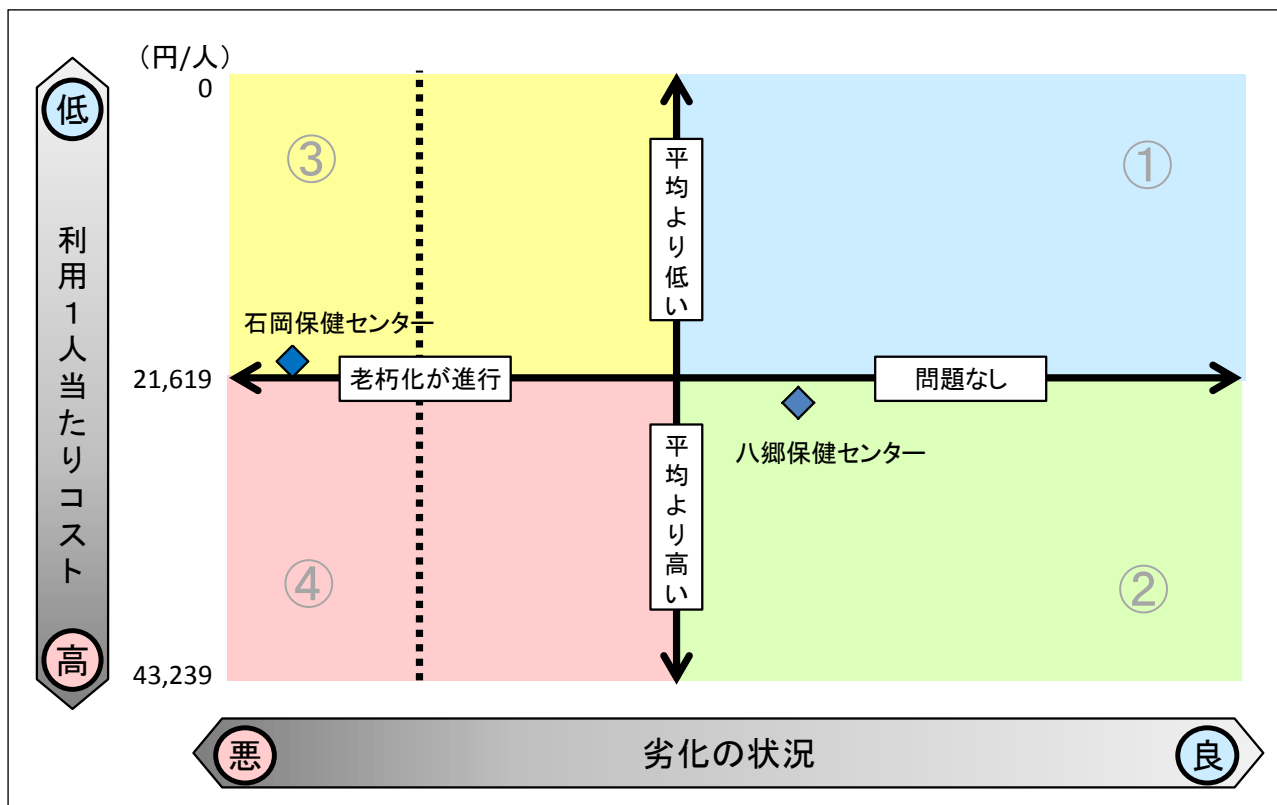
＜利用状況＞

- 事業内容はほぼ同様ですが、対象人口の差もあって利用者数は石岡保健センターが八郷保健センターの 1.8 倍ほどになっています。

＜運営・コスト状況＞

- 2 施設はいずれも直営施設で、トータルコストに占める人件費の割合が 28%程度、委託費の割合が 55%程度となっています。
- 運営人員は八郷保健センターよりも石岡保健センターが 3 割～4 割ほど多くなっていますが、利用者数も石岡保健センターの方が多くなっているため、利用者 1 人当たりのコストは石岡保健センターの方がやや低くなっています。
- 建物規模に対するコストは、石岡保健センターが八郷保健センターに比べて割高になっています。

■ 2 軸評価 （劣化の状況と利用者 1 人当たりのコスト）



■ 改善の方向性

- 施設の老朽化対策とバリアフリー対策を早急に進めます。

(19) 公営住宅（白書：P. 240～249）

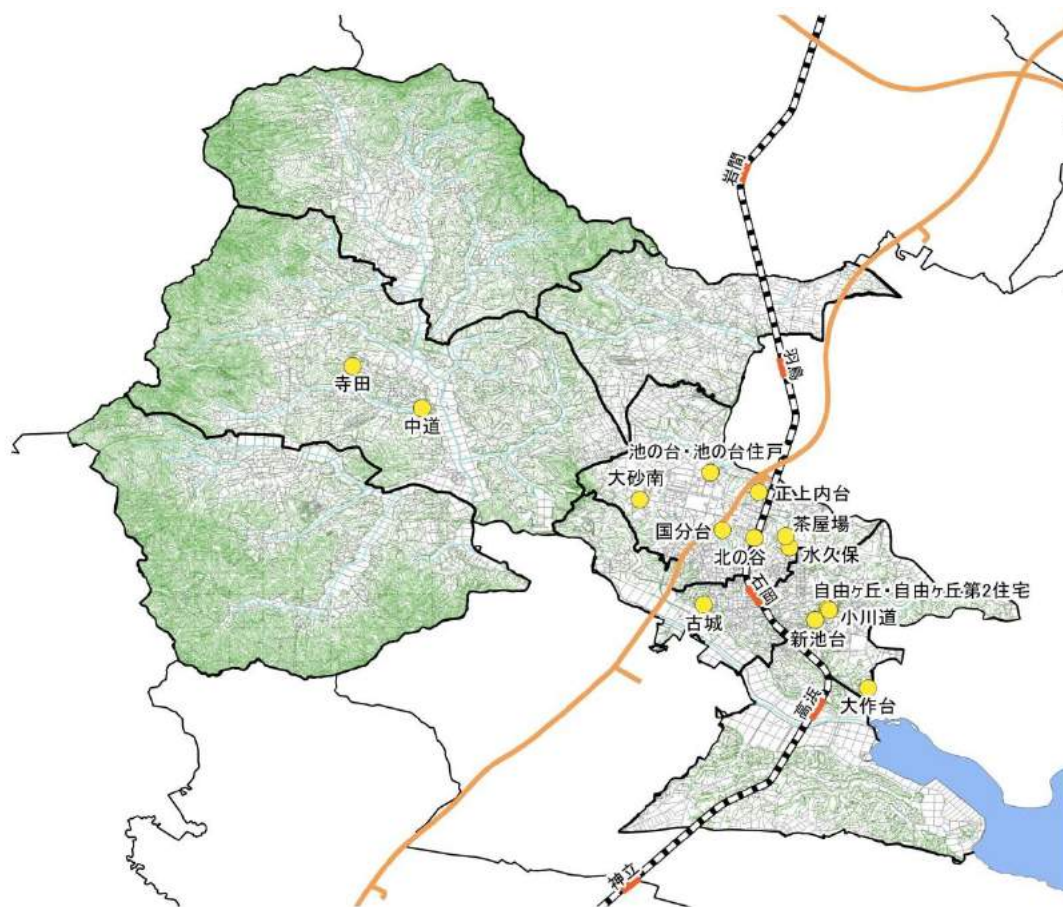
本市では、住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転貸することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与するため、公営住宅を16施設を設置しています。

■ 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	管理 戸数 (戸)	備考
1 大作台住宅	東田中376番地ほか	312.30	昭和30	W造	9	
2 水久保住宅	石岡2643番地2ほか	277.60	昭和30	W造	8	
3 国分台住宅	北府中二丁目6番	624.60	昭和34	W造	18	
4 池の台団地	池の台10051番地	11,427.00	平成元	PC造	164	中層耐火構造
5 池の台住戸	池の台10051番地	1,290.27	昭和38	PC造	23	準耐火構造
6 小川道住宅	東光台二丁目5番ほか	1,361.00	昭和42	CB,PC造	37	準耐火構造
7 自由ヶ丘第2住宅	東石岡四丁目8番ほか	427.00	昭和46	PC造	10	準耐火構造
8 正上内台団地	正上内7番	6,188.00	昭和52	PC造	88	中層耐火構造
9 自由ヶ丘団地	東石岡四丁目9番	5,945.00	昭和57	PC造	80	中層耐火構造
10 茶屋場住宅	杉並四丁目1番	168.00	昭和30	W造	6	
11 新池台団地	東石岡三丁目6番ほか	7,185.00	平成11	RC造	78	中層耐火構造
12 大砂南住宅	大砂10214番地3	852.60	昭和36	W造	28	
13 北の谷住宅	北府中一丁目7番	553.00	昭和44	PC造	14	準耐火構造
14 古城住宅	総社一丁目8番	634.08	昭和48	PC造	16	準耐火構造
15 中道住宅	柿岡2247番地3	63.76	昭和38	W造	2	
16 寺田住宅	柿岡1547番地3ほか	708.84	昭和38	W造	21	
合計		38,018.05			602	

■ 配置状況

図 公営住宅位置図



※池の台住戸・自由ヶ丘第2住宅以外の施設名称は「団地」「住宅」を省略しています。

■ 現状と課題

<施設状況>

- 16 施設中 14 施設が築 30 年を超えています，「市営住宅長寿命化計画」に沿って順次，改修等を行っています。

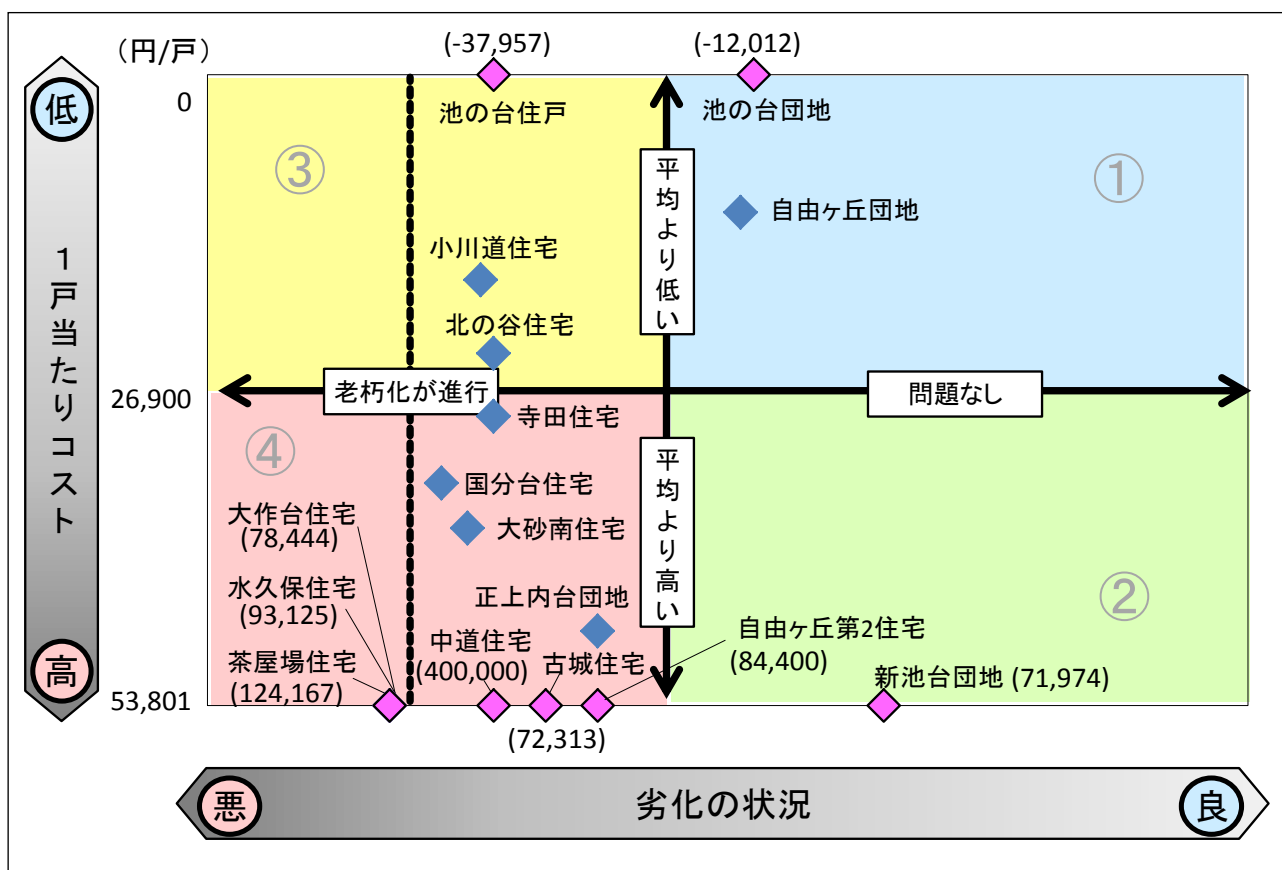
<利用状況>

- 入居世帯の家族人数をみると，2 人～4 人が全体の 70%以上を占めています。
- 入居者の年齢構成は，特に木造及び準耐火構造の施設では，60 歳以上が半数を超えています。
- 中層耐火構造と準耐火構造の施設の入居率は 100%となっていますが，一方，木造の施設の空き室は老朽化が進んでいるため入居募集は行わず，更新もしない方針となっています。

<運営・コスト状況>

- 施設管理に全施設合計で一般職員 2 人があたっています。

■ 2軸評価（劣化の状況と一戸当たりのコスト）



■ 改善の方向性

- 長寿命化を「市営住宅長寿命化計画」の方針に沿って進めます。
- 入居者及び各地域の高齢化に伴い、今後公営住宅全体をどうしていくかといった全体的な方針と、個々の施設建物の健全性等の実態を踏まえた個別の改修・更新計画の整合性を図ります。
- 中層耐火構造の施設は今後長寿命化を、準耐火構造の施設は現状維持の方針を引き続き踏襲します。
- 木造の施設の空き室は老朽化が進んでいるため、入居募集は行わず、更新もしない方針です。
- 建物の維持費用は、廃止・除却しない限り固定的にかかるため、既存資産の有効活用を検討します。

(20) 庁舎等（白書：P. 250～260）

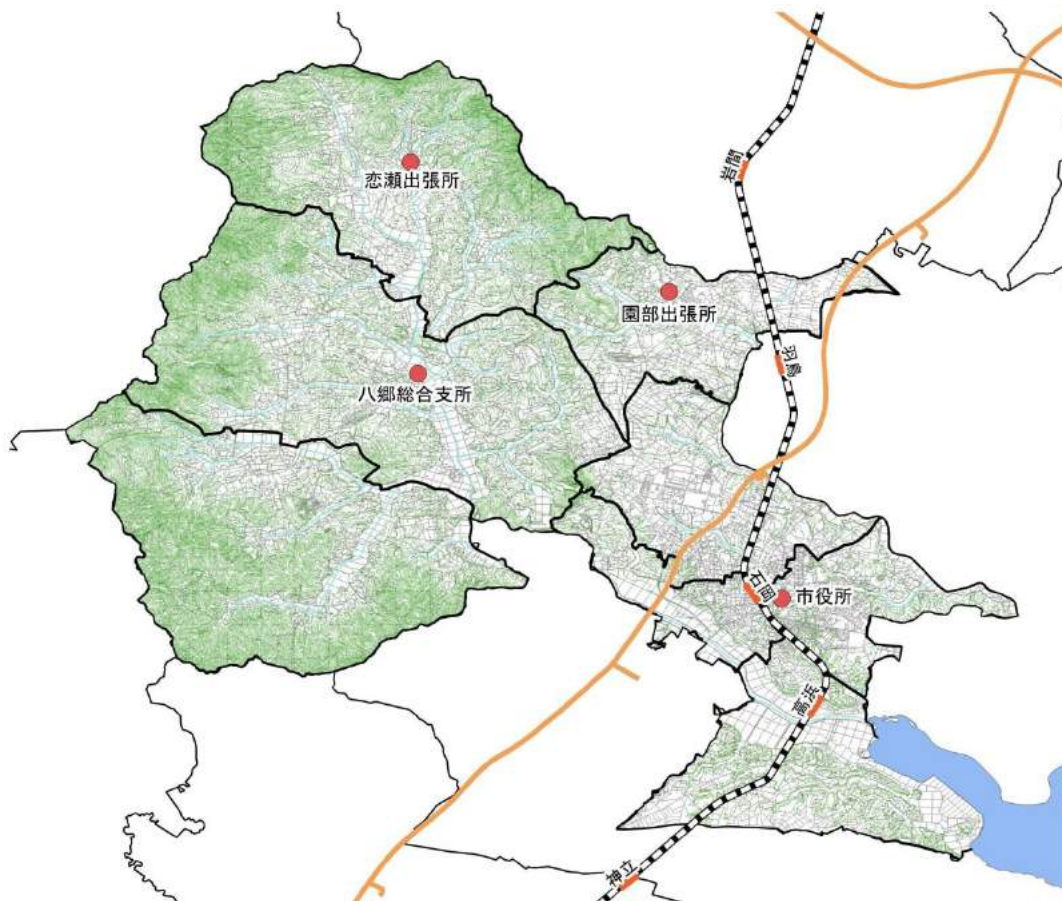
本市では、市役所のほか、八郷総合支所、恋瀬及び園部の2箇所の出張所の計4箇所に行政窓口を設置しています。

■ 施設概要

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	複合・ 併設施設	備考
					公民館	
1 市役所(平成30年建替え予定)	石岡一丁目1番地1					
2 八郷総合支所	柿岡5680番地1	8,100.63	平成6	SRC造		
3 恋瀬出張所	小見827番地1	23.41	昭和57	S造	●	
4 園部出張所	真家1921番地	21.00	昭和57	S造	●	
合計		8,145.04				

■ 配置状況

図 庁舎等位置図



■ 現状と課題

<施設状況>

- 市役所本庁舎は、平成27年度より建替えの実施段階に入っています。
- 出張所2施設は公民館との複合施設で、いずれも築30年を超えており、老朽化の進行が懸念されます。
- 八郷総合支所は築20年を超えた施設で、老朽化対策の検討が必要です。

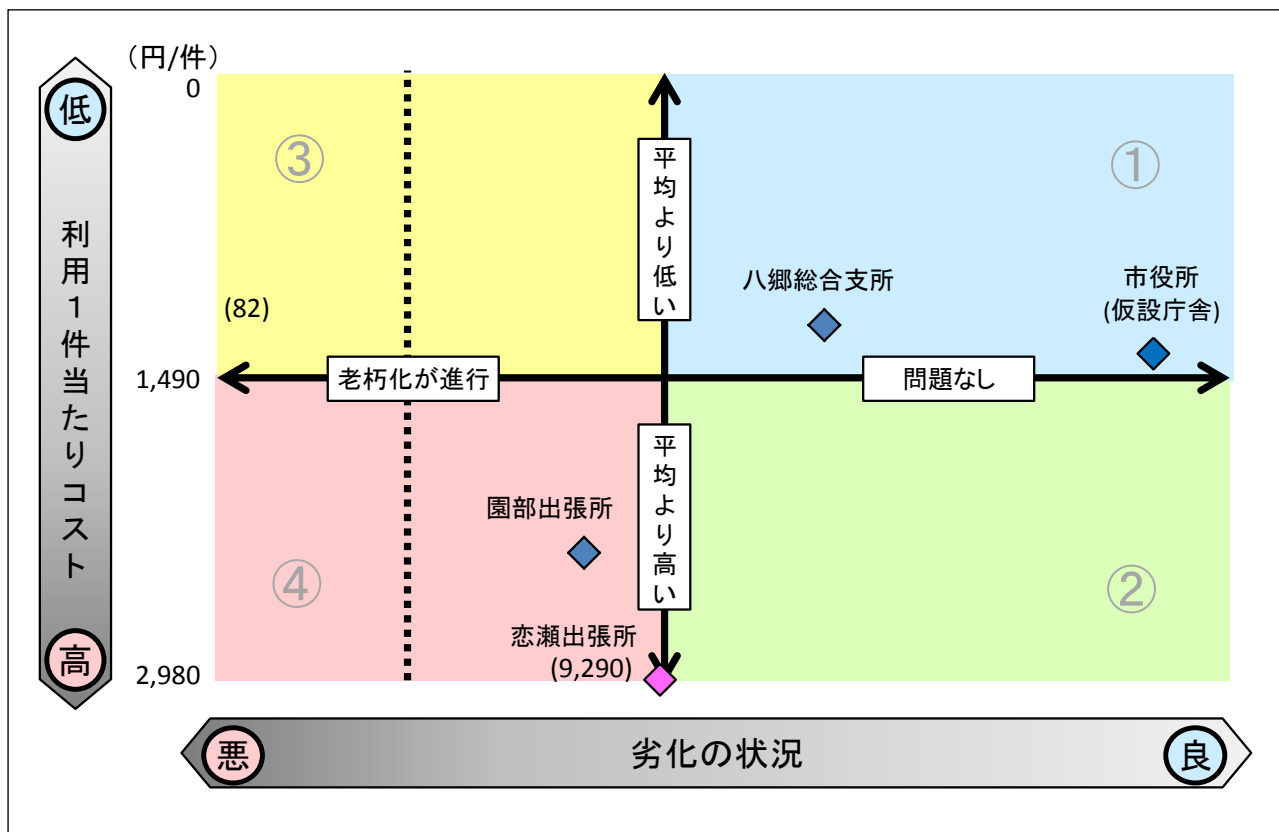
<利用状況>

- 窓口利用件数は、市役所（市民課）が80,636件と全体利用の約64%を占めています。
- 1日当たりの利用件数は、市役所（市民課）が330件/日、八郷総合支所（市民窓口課）が152件/日、出張所は30件/日から6件/日となっています。
- なお、証明書類は、平成28年7月からコンビニでの交付が可能となりました。

<運営・コスト状況>

- 窓口業務は直営で運営されており、人件費が大半を占めています。

■ 2軸評価（劣化の状況と利用1件当たりのコスト）



■ 改善の方向性

- 証明書類の交付サービス等は、マイナンバー制度の導入による自由度の向上等も想定されることから、多様なサービス形態の可能性が広がることも考えられます。現行の施設でのサービスの必要性の検証と併せ、より合理的な機能配置と、施設整備の効率化を図ります。

(21) 消防施設（白書：P. 261～269）

本市では、市民の生命・財産を守るため、消防本部・石岡消防署、八郷消防署のほか、1ヶ所の分署、2ヶ所の出張所、44ヶ所の分団詰所・車庫等の消防施設を設置しています。

消防施設は全て単独施設です。

■ 施設一覧

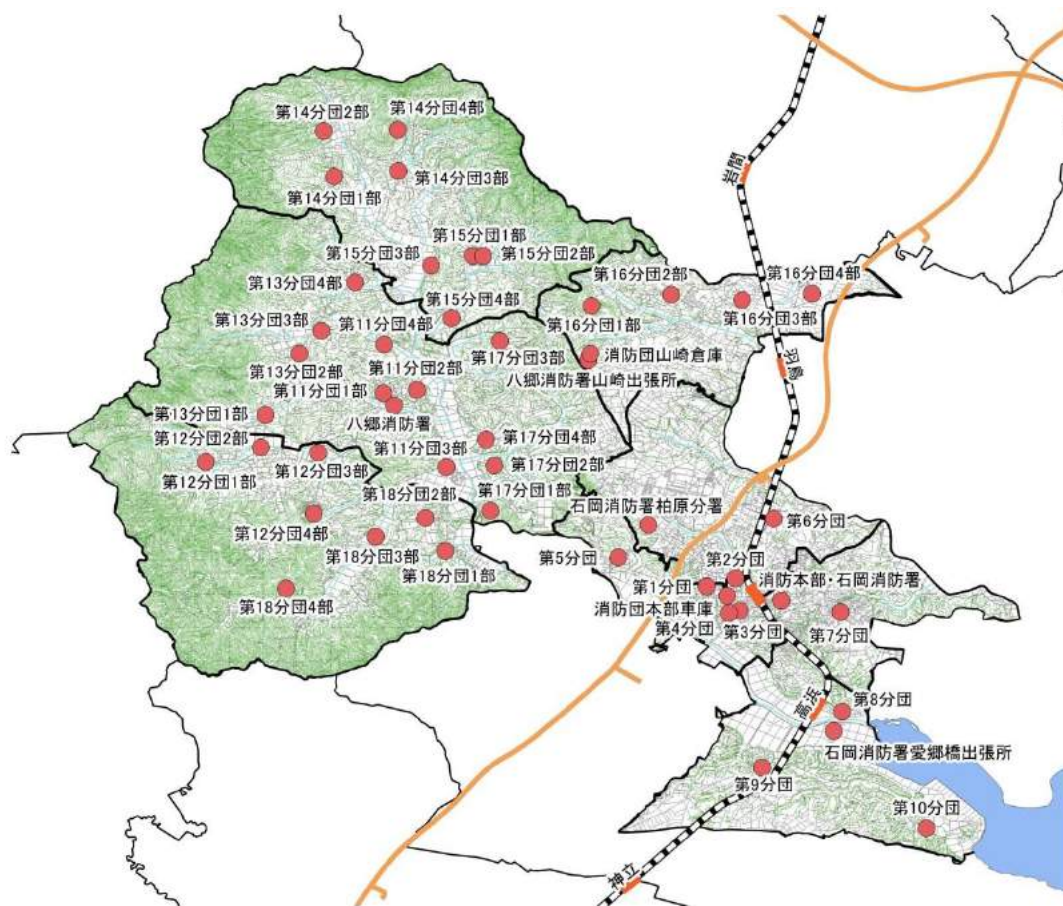
名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
1 消防本部・石岡消防署	石岡一丁目2番地18	2,476.00	平成14	RC造	
2 石岡消防署柏原分署	鹿の子四丁目5番3号	889.00	平成3	S造	
3 石岡消防署愛郷橋出張所	高浜1335番地	237.00	昭和53	S造	
4 八郷消防署	柿岡291番地	492.00	昭和52	RC造	
5 八郷消防署山崎出張所	山崎906番地35	270.00	平成16	S造	
6 消防団本部車庫	府中二丁目726番地1	19.30	昭和60	S造	
7 第1分団	若宮一丁目3番43号	44.52	昭和56	S造	
8 第2分団	府中三丁目8番10号	47.62	昭和57	S造	
9 第3分団	国府五丁目2番17号	48.12	昭和63	S造	
10 第4分団	国府六丁目3番1号	48.12	昭和60	S造	
11 第5分団	染谷960番地4	80.00	平成9	S造	
12 第6分団	杉並四丁目5番23号	88.00	平成12	S造	
13 第7分団	東光台二丁目2番18号	76.12	昭和60	S造	
14 第8分団	高浜797番地	66.11	平成4	S造	
15 第9分団	三村7626番地1	80.00	平成7	S造	
16 第10分団	井関38番地1	80.00	平成7	S造	
17 第11分団1部	柿岡1857番地	30.90	昭和45	CB造	車庫のみ
18 第11分団2部	柿岡2009番地3	88.81	平成19	S造	
19 第11分団3部	片野642番地	22.94	昭和46	CB造	車庫のみ
20 第11分団4部	柿岡4425番地2	23.82	昭和48	CB造	車庫のみ
21 第12分団1部	小幡3102番地1	39.57	昭和48	CB造	
22 第12分団2部	小幡3280番地1	86.04	平成17	S造	
23 第12分団3部	須釜1372番地1	21.94	昭和46	CB造	車庫のみ
24 第12分団4部	下青柳929番地2	23.36	昭和49	CB造	車庫のみ

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
25 第13分団1部	吉生748番地	23.28	昭和43	CB造	車庫のみ
26 第13分団2部	上曾1195番地	23.23	昭和62	CB造	車庫のみ
27 第13分団3部	小屋道路敷内	50.36	昭和55	CB造	
28 第13分団4部	鯨岡415番地1	57.96	平成17	S造	
29 第14分団1部	大塚3032番地	90.93	平成10	S造	
30 第14分団2部	大増3606番地	105.01	平成7	S造	
31 第14分団3部	小見818番地1	48.50	昭和53	CB造	
32 第14分団4部	太田838番地5	43.06	昭和55	CB造	
33 第15分団1部	瓦谷449番地	90.93	平成10	S造	
34 第15分団2部	瓦谷1386番地2	47.84	昭和51	CB造	
35 第15分団3部	宇治会308番地3	50.18	昭和51	CB造	
36 第15分団4部	野田908番地3	46.25	昭和46	CB造	
37 第16分団1部	山崎1694番地1	90.93	平成10	S造	
38 第16分団2部	真家1143番地1	34.65	昭和42	CB造	
39 第16分団3部	東成井904番地	54.81	昭和47	CB造	
40 第16分団4部	東成井1978番地8	60.37	昭和56	CB造	
41 第17分団1部	根小屋1666番地	23.48	昭和52	CB造	車庫のみ
42 第17分団2部	下林496番地12	46.90	昭和46	CB造	
43 第17分団3部	片岡826番地3	23.52	昭和50	CB造	
44 第17分団4部	下林857番地	24.34	昭和50	CB造	車庫のみ
45 第18分団1部	半田320番地2	48.80	昭和54	CB造	
46 第18分団2部	川又1187番地	23.68	昭和55	CB造	車庫のみ
47 第18分団3部	月岡878番地	27.23	昭和55	CB造	車庫のみ
48 第18分団4部	菖蒲沢307番地1	23.40	昭和56	CB造	車庫のみ
49 消防団山崎倉庫	山崎583番地5	91.00	平成7	S造	
合計		6,629.93			

第3章 用途別の現状と課題

■ 配置状況

図 消防施設位置図



■ 現状と課題

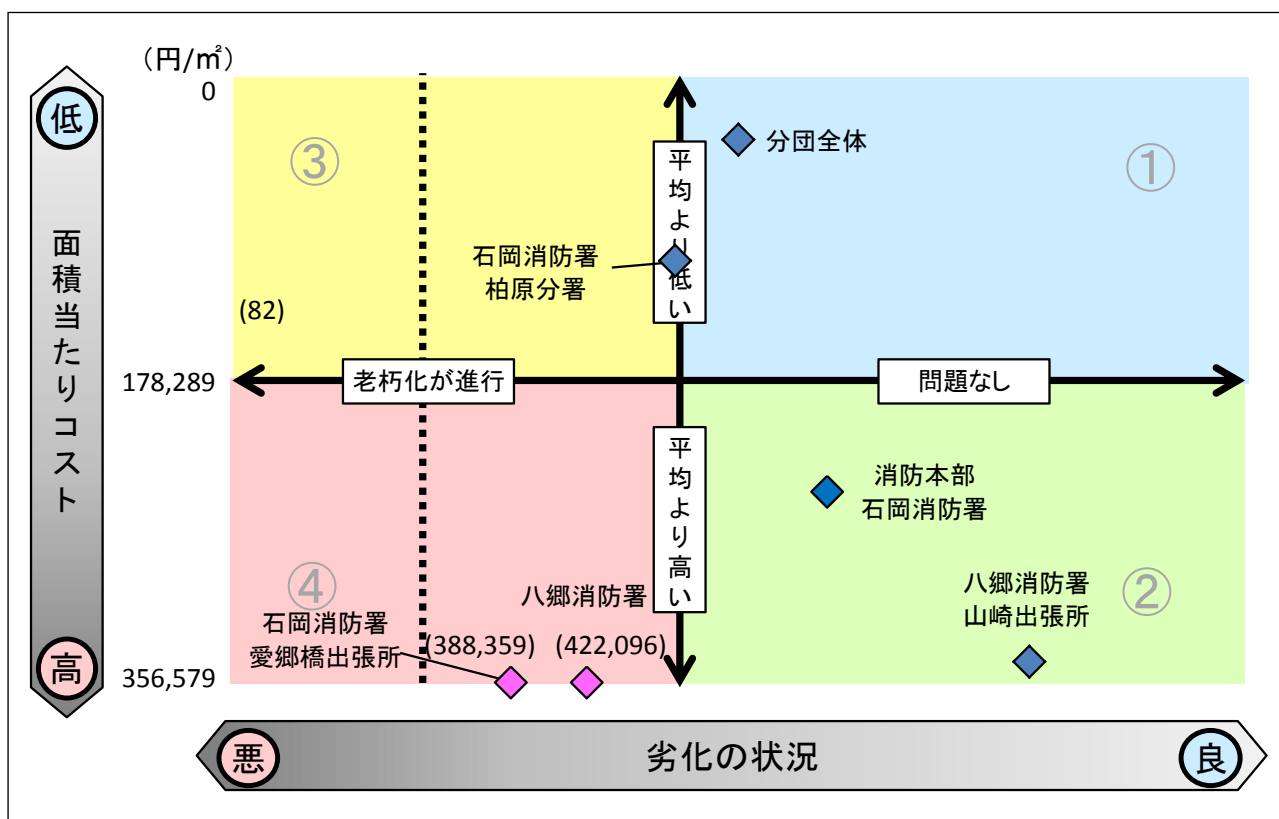
<施設状況>

- 八郷消防署については、平成 28 年度に耐震診断を行い、その結果を踏まえて計画的な整備を行います。
- およそ半数の施設が築 20 年を超えています。
- 愛郷橋出張所は築 30 年を超えており、且つ、大雨によって霞ヶ浦が増水し、水があふれた場合の浸水想定区域に指定されています(平成 17 年 7 月に国土交通省関東地方整備局が策定)ので、地域の防災力に影響が出ないように、移転も視野に入れて方向性を検討します。

<運営・コスト状況>

- 消防施設はトータルコストの 8 割強が人件費です。

■ 2軸評価（劣化の状況と面積1㎡当たりのコスト）



■ 改善の方向性

- 消防施設は災害時に必要な機能が確実に発揮されることが求められますので、老朽化対策も含めて計画的な整備を進めます。
- 石岡地区と八郷地区で、統一的な消防分団のあり方について検討します。
- 事業内容からも外部委託によるコストダウンは難しいと思われるので、各施設（拠点）の配置や周辺地域との連携などによる合理化についても検討します。

(22) その他（白書：P. 270～272）

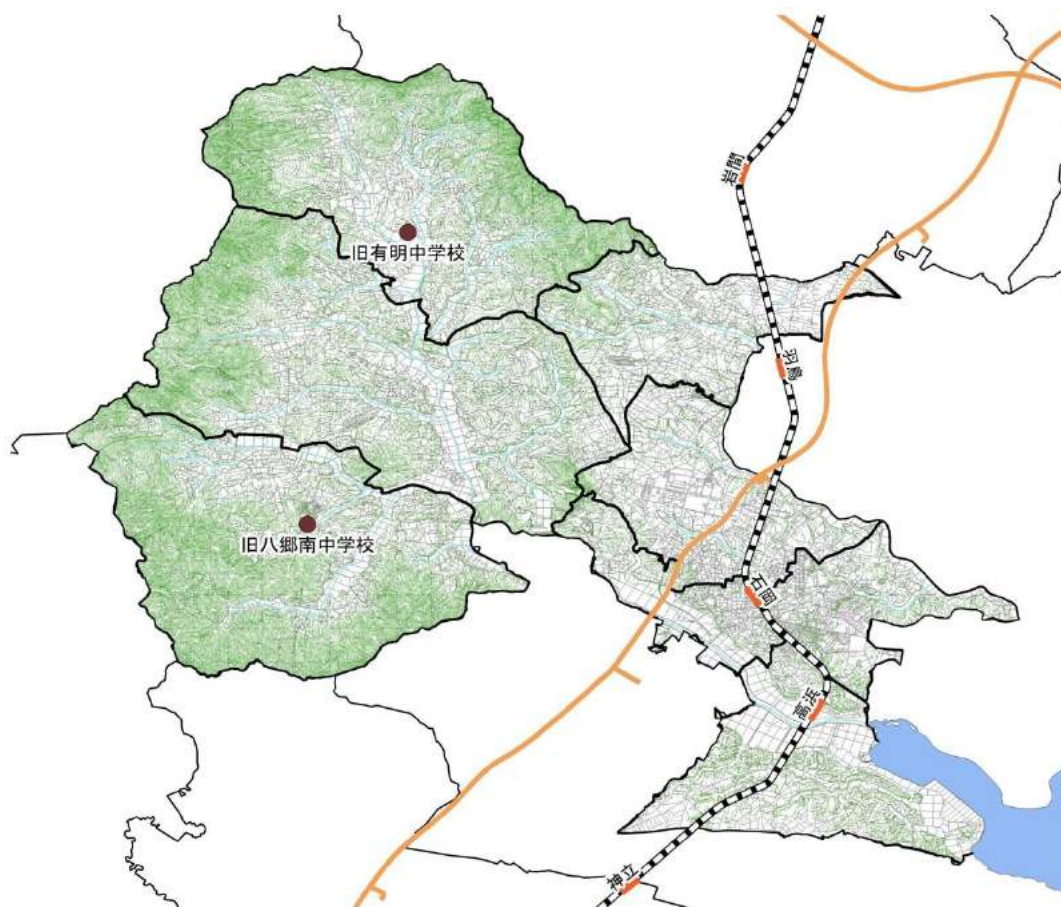
本市では、統合のため廃止された学校の体育館等を、一般に開放して有効活用を図っています。現在は、旧有明中学校，旧八郷南中学校（小幡地区公民館で一部利用）の2施設があります。

■ 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
1 旧有明中学校(体育館)	小幡189番地2	1,046.00	昭和45	S造	体育館
2 旧八郷南中学校	下青柳716番地1	6,397.00	平成12	RC造	校舎, 体育館
合計		7,443.0			

■ 配置状況

図 その他位置図



■ 現状と課題

<施設状況>

- 統合のため廃止された学校の体育館等を，一般に開放して有効活用を図っています。
- 旧有明中学校は，体育館の耐震対策に合わせて，老朽化対策においても実施済みです。
- 旧八郷南中学校は，校舎は築 15 年で比較的新しく，体育館は築 40 年を超えていますが，耐震対策及び老朽化対策は実施済みです。

<利用状況>

- 旧八郷南中学校は，平成 31 年に新たな県立特別支援学校を設置するために，校舎を改修・増築して活用することが決定しています。

■ 改善の方向性

- 一般市民の利用に供する施設・建物については，確実に安全性が確保される必要がありますので，施設建物の実態と，将来の利用計画を踏まえた計画的な維持管理を推進します。
- 受益者負担のあり方を見直します。
- 利用実態を明らかにし，サービス内容が市民のニーズに合致しているか検証します。

<インフラ>

(1) 道路

■ 施設概要

(平成 27 年 4 月 1 日時点)

種 類		実延長	面積
市 道	市道 路線 8,208 本	1,964,187m	4,619,409 m ²
	自転車歩行者道路	103,014m	265,860 m ²
林 道		1,062m	4,248 m ²
合 計		2,068,263m	4,889,517 m ²

■ 現状と課題

<概要>

- 道路は、市道（自転車歩行者道路を含む）と林道があり、総延長は 206 万 8,263m、道路面積は 488 万 9,517 m²となっています。
- 石岡地区の「A路線」と八郷地区の「B路線」に分けて管理されています。
- 市道は、石岡市内全域の実延長の 35%がA路線、65%がB路線と、八郷地区に多く所有しています。
- 舗装路の実延長はA路線もB路線も差がありませんが、未舗装路の実延長はA路線の 25%に対して、B路線は 75%と八郷地区のほうが未舗装路の割合が高くなっています。

<舗装維持管理状況>

- 舗装の劣化が激しく、修繕箇所が年々増加しており、現行予算内での対応が追い付かない状況です。

<コスト状況>

- 平成 27 年 4 月 1 日時点の道路現況から試算すると、今後の維持更新等にかかるコストは、40 年間で総額 598 億円が必要と予測されます。

■ 改善の方向性

- 朝日トンネルの開通に伴い、八郷地区の交通量や通行車種の変化が出ている可能性がありますので、交通の調査を行い、必要な整備内容を検討します。

(2) 橋りょう**■ 施設概要**

種 類	15m以上	15m未満	合計
橋りょう数	49 橋	294 橋	343 橋

■ 現状と課題**<概要>**

- 橋りょうは343橋、実延長は約4,226m、橋りょう面積は約1万5,596㎡となっています。(平成27年4月1日時点)
- 石岡地区の橋りょう数は市全体の30%に対して、八郷地区は70%と、橋りょうの多くを八郷地区に保有しています。
- トンネルは1か所を八郷地区に保有しています。
- 平成25年3月「石岡市橋梁長寿命化修繕計画」(橋長15m以上のうち44橋対象)を策定済みです。

<整備状況(長寿命化修繕計画より)>

- 343橋のうち、建設後50年を経過する橋りょうは約9%となっています。
- 今後10年後には建設後50年を経過する橋りょうが約38%、20年後には約79%の橋りょうが50年以上となることから、今後見込まれる橋りょうの修繕・架替に要する費用が増大することが予想されます。

<コスト状況>

- 平成26年度の橋りょう整備に係る投資実績は、2,725万円となっています。
- 施設白書より、今後の維持更新等にかかるコストの試算では、40年間で総額約53億円が必要と予測されます。
- 「石岡市橋梁長寿命化修繕計画」においては、従来型の対症療法型が50年間で総額56億円に対して、予防保全型で維持管理を進めていった場合は総額8億円と予測され、コスト縮減効果として約48億円が見込まれています。

■ 改善の方向性

- 「橋梁長寿命化修繕計画」に沿って確実に実行し、今後50年間で48億円のコスト縮減を図ります。
- 恋瀬川の下流域に限らず、上流域の橋りょうの整備状況も堤防の状況と合わせて調査し、必要な整備内容について検討します。

(3) 上水道

■ 施設概要

種類	施設数量
管路延長	413,034 m
取水施設	13 箇所
導水施設	3 箇所
浄水施設	4 箇所
配水施設	20 箇所

<管路内訳>

導水管	送水管	配水管	合計
23,294 m	52,588 m	337,152 m	413,034 m

<取水施設>

井戸名称	浄水場所	竣工年度	許可量
1 新設1号井	中央浄水場	昭和61	713 m ³
2 新設2号井	中央浄水場	昭和61	400 m ³
3 新設3・6号井	中央浄水場	平成3	840 m ³
4 柿岡3号井	中央浄水場	昭和49	737 m ³
5 瓦会1号井	中央浄水場	昭和56	250 m ³
6 戸ノ内1号井	下林浄水場	昭和51	700 m ³
7 小桜1号井	中央浄水場	昭和53	900 m ³
8 園部2号井	園部浄水場	平成24	1,300 m ³
9 新設7号井	下林浄水場	平成6	1,080 m ³
10 新設8号井	山崎浄水場	平成8	1,000 m ³
11 新設9号井	中央浄水場	平成12	440 m ³
12 新地井戸	中央浄水場	昭和40年代	500 m ³
合計			8,860 m ³

<導水施設>

施設名	水源種別	竣工年度
1 第1導水ポンプ場	地下水	昭和62
2 第2導水ポンプ場	地下水	昭和62
3 第3導水ポンプ場	地下水	平成4

＜浄水施設＞

施設名	浄水方法	竣工年度	処理能力
1 中央浄水場	除鉄・除マンガン装置 次亜塩素酸滅菌処理	昭和61	7,134 m ³
2 園部浄水場	除鉄・除マンガン装置 次亜塩素酸滅菌処理	昭和60	1,300 m ³
3 山崎浄水場	除鉄・除マンガン装置 次亜塩素酸滅菌処理	平成8	1,000 m ³
4 下林浄水場	除鉄・除マンガン装置 次亜塩素酸滅菌処理	平成8	670 m ³
合計			10,104 m ³

＜配水施設＞

施設名	構造種別	配水方法	竣工年度	有効容積
1 十三塚配水池	SUS造	自然流化	平成15	40 m ³
2 十三塚増圧場	RC造	加圧ポンプ	昭和57	10 m ³
3 湯袋配水場	SUS造	自然流化	平成13	74 m ³
4 小幡増圧場	RC造	加圧ポンプ	昭和62	51 m ³
5 小幡配水池	RC造	自然流化	昭和58	150 m ³
6 細谷配水池	RC造	自然流化	昭和58	330 m ³
7 小桜増圧場	RC造	加圧ポンプ	昭和62	11 m ³
8 小桜配水池	RC造	自然流化	昭和62	124 m ³
9 上曾増圧場	RC造	加圧ポンプ	昭和52	24 m ³
10 上曾第2増圧場	RC造	加圧ポンプ	昭和52	2 m ³
11 上曾低区配水池	RC造	自然流化	昭和57	176 m ³
12 上曾高区配水池	RC造	自然流化	昭和57	60 m ³
13 大増増圧場	RC造	加圧ポンプ	平成5	15 m ³
14 大増配水池	RC造	自然流化	昭和57	114 m ³
15 太田増圧場	RC造	加圧ポンプ	昭和58	12 m ³
16 太田低区配水池	RC造	自然流化	昭和58	67 m ³
17 太田高区配水池	RC造	自然流化	昭和58	94 m ³
18 瓦会増圧場	RC造	加圧ポンプ	平成2	76 m ³
19 瓦会配水池	RC造	自然流化	昭和58	268 m ³
20 園部配水池	RC造	自然流化	昭和60	520 m ³
合計				2,218 m ³

■ 現状と課題

<概要>

- 石岡地区と八郷地区で水道事業者が異なります。石岡地区は湖北水道企業団，八郷地区は石岡市生活環境部水道課が事業者となっています。
- 市の上水道設備と関連施設はすべて八郷地区に保有しています。
- 水源は県西水道と浄水処理をした地下水となり，配水池を経由して各家庭に配水しています。

<整備状況>

- 法定耐用年数（40年）を超える管路が1万6,330m（約3%）で，10年後には約13%と4倍になります。また，管路の耐震化率が約8.7%と低く，課題となっています。
- 現在の給水人口は，21,891人，水道供給量は7,216 m³/日，普及率は80.10%です。今後は，給水人口は微減傾向にあり，普及率を上げる必要はありますが，水需要は減少する方向です。

<コスト状況>

- 施設白書より，今後の維持更新等にかかるコストの試算では，40年間で総額351億円が必要と予測されます。

■ 改善の方向性

- 石岡地区と八郷地区の2事業者間の整備状況，経営状況等を一元的に市で把握し，地区により市民の利用料に差が生じないようにします。
- 八郷地区へ湖北水道企業団の上水道導入の可能性を検討します。
- 水道施設等の計画的な更新を進め，施設や管路の健全性を維持していくために，中長期的な経営の基本計画である「石岡市水道事業経営戦略」を平成32年度までに策定します。

(4) 下水道

■ 施設概要

種類	施設数量
下水道管路延長	361,692 m
農業集落排水管路延長	88,776 m
処理センター	1 箇所
ポンプ場	3 箇所
農業集落排水処理施設	5 箇所

<管路内訳>

コンクリート管	塩ビ管	その他	合計
55,195 m	375,473 m	19,800 m	450,468 m

<処理センター>

施設名	竣工年度	配水方法	有効容積
1 八郷水処理センター	平成14	嫌気無酸素好気法	6,480m ³ /日
合計			6,480m ³ /日

<ポンプ場>

施設名	竣工年度	処理能力
1 八郷汚水中継ポンプ場	平成14	6.2m ³ /分
2 石岡第1中継ポンプ場	昭和56	2.0m ³ /分
3 石岡第2中継ポンプ場	昭和62	1.2m ³ /分
合計		9.4m ³ /分

<農業集落排水処理施設>

施設名	竣工年度	処理方式	処理能力	構造種別	延床面積
1 汚水処理場(出し山地区農集排水処理場)	平成6	回分式活性汚泥方式 JARUS-X II	265m ³ /日	RC造	627m ²
2 汚水処理場(関川・石川地区農集排水処理場)	平成12	回分式活性汚泥方式 JARUS-X II G	545m ³ /日	RC造	510m ²
3 汚水処理場(石岡西部地区農集排水処理場)	平成18	回分式活性汚泥方式 JARUS-X II H	589m ³ /日	RC造	789m ²
4 汚水処理場(農集排水処理施設東成井第1地区)	平成6	回分式活性汚泥方式 JARUS-X II	319m ³ /日	RC造	721m ²
5 汚水処理場(農集排水処理施設東成井第2地区)	平成6	回分式活性汚泥方式 JARUS-X IV	265m ³ /日	RC造	504m ²
合計					3,151m ²

■ 現状と課題

<概要>

- 本市の公共下水道事業は、流域関連公共下水道地区（石岡地区）が昭和58年に供用を開始し、また、単独公共下水道地区（八郷地区）が平成14年に供用を開始し、下水道整備を進めてきました。
- 平成24年5月に「下水道施設長寿命化計画」を策定済みです。

<整備状況>

- 平成27年度末現在、事業認可区域1,692haに対して1,392haの整備が完了し、整備率82.3%、水洗化率は84.7%です。
- 本市では、平成14年度に処理開始した八郷水処理センターをはじめ、3ポンプ場を有しています。特に石岡第1及び第2中継ポンプ場、各処理分区の流量計は経過年数が長く、機能低下等が懸念されるため、長寿命化計画において設備ごとの改善方針を決定しています。

<コスト状況>

- 今後の維持更新等にかかるコストの試算では、40年間で総額453億円が必要と予測されます。
- 国庫補助金を活用した維持更新（ストックマネジメント）をしていく必要があります。

■ 改善の方向性

- 下水道施設の適正な維持管理を継続的に実施していくために、平成29年度に下水道ストックマネジメント計画を策定し、中長期的な視点での改築・修繕により長寿命化を図っていきます。
- また、下水道総合地震対策計画を策定し、下水道施設の防災・減災両面から施設の耐震化を図っていく必要があります。

(5) 公園（白書：P. 273～278）

■ 施設一覧

表 都市公園設置状況

(平成 26 年度時点)

公園名	種別	所在地	面積(m ²)	主な設置施設		
				トイレ	駐車場	遊具
1 宮下児童公園	街区	総社二丁目8-12	1,223.83	●		●
2 中央児童公園	街区	国府一丁目1639-1	1,839.00	●		●
3 石岡ステーションパーク	街区	国府一丁目1892-3	3,662.40	●	●	
4 フローラル東公園	街区	南台三丁目20	2,500.00			●
5 フローラル西公園	街区	南台一丁目22	3,500.00			●
6 フローラル中央公園	街区	南台二丁目32	2,500.00			●
7 八軒向第1公園	街区	旭台一丁目3588	5,325.00			●
8 八軒向第2公園	街区	旭台一丁目3748	2,423.00			●
9 八軒向第3公園	街区	旭台二丁目3669	3,336.00			
10 彦市山第1公園	街区	旭台三丁目3266	2,384.00		●	●
11 彦市山第2公園	街区	旭台三丁目3230	1,557.00			●
12 彦市山第3公園	街区	旭台三丁目3370	2,026.00			●
13 ばらき台第1公園	街区	茨城二丁目4700-271	2,344.00			●
14 ばらき台第2公園	街区	茨城二丁目4700-266	1,638.00			●
15 ばらき台第3公園	街区	茨城一丁目14601	1,667.00			●
16 駅東第1公園	街区	石岡二丁目11-6	1,909.17			
17 駅東第2公園	街区	石岡一丁目15-1	1,500.49			
18 上池公園	街区	府中二丁目638	5,234.30	●	●	
19 南台第一緑地公園	街区	南台一丁目36	1,180.00			

第3章 用途別の現状と課題

公園名	種別	所在地	面積(m ²)	主な設置施設		
				トイレ	駐車場	遊具
20 柏原野球公園	近隣	柏原11	33,553.42	●	●	
21 柏原球技公園	近隣	柏原5	10,005.00	●	●	
22 国府公園	近隣	国府六丁目574-3	10,572.00	●		●
23 せせらぎパーク	近隣	南台四丁目9	34,500.00	●	●	
24 柏原サッカー公園	近隣	柏原3	16,564.00	●	●	
25 石岡市運動公園	運動	南台三丁目1336-2	112,856.00	●	●	●
26 柏原池公園	風致	鹿の子三丁目9950	46,842.79	●	●	●
計	26箇所		312,642.40	11箇所	9箇所	16箇所

表 広場・緑地等設置状況

(平成26年度時点)

公園名	種別	所在地	面積(m ²)	主な設置施設		
				トイレ	駐車場	遊具
1 井関農村公園	その他	井関1057-1	22,639.00	●	●	
2 出し山農村公園	その他	石岡15869	3,713.00	●	●	
3 木比提子供の遊び場	広場	石岡2355-1	583.00			
4 正上内子供の遊び場	広場	北府中三丁目12240-25	1,929.00			●
5 半ノ木子供の遊び場	広場	半ノ木11089	3,000.00			●
6 村上子供の遊び場	広場	村上448	1,145.00			●
7 南台駅前広場	広場	南台二丁目1-1	346.00	●		
8 三村子どもの遊び場	広場	三村1256	7,273.00			
9 南台第二緑地	緑地	南台四丁目7-6	2,202.00			
10 ばらき台緑地	緑地	茨城二丁目4677-1	1,117.00			
11 ばらき台用地	緑地	茨城二丁目4700-269	314.00			
12 大谷津緑地	緑地	大谷津4290-36	1,280.00			
13 バス専用道路緑地	緑地	石岡一丁目から 東光台三丁目	18,369.35			
計	13箇所		63,910.35	3箇所	2箇所	3箇所

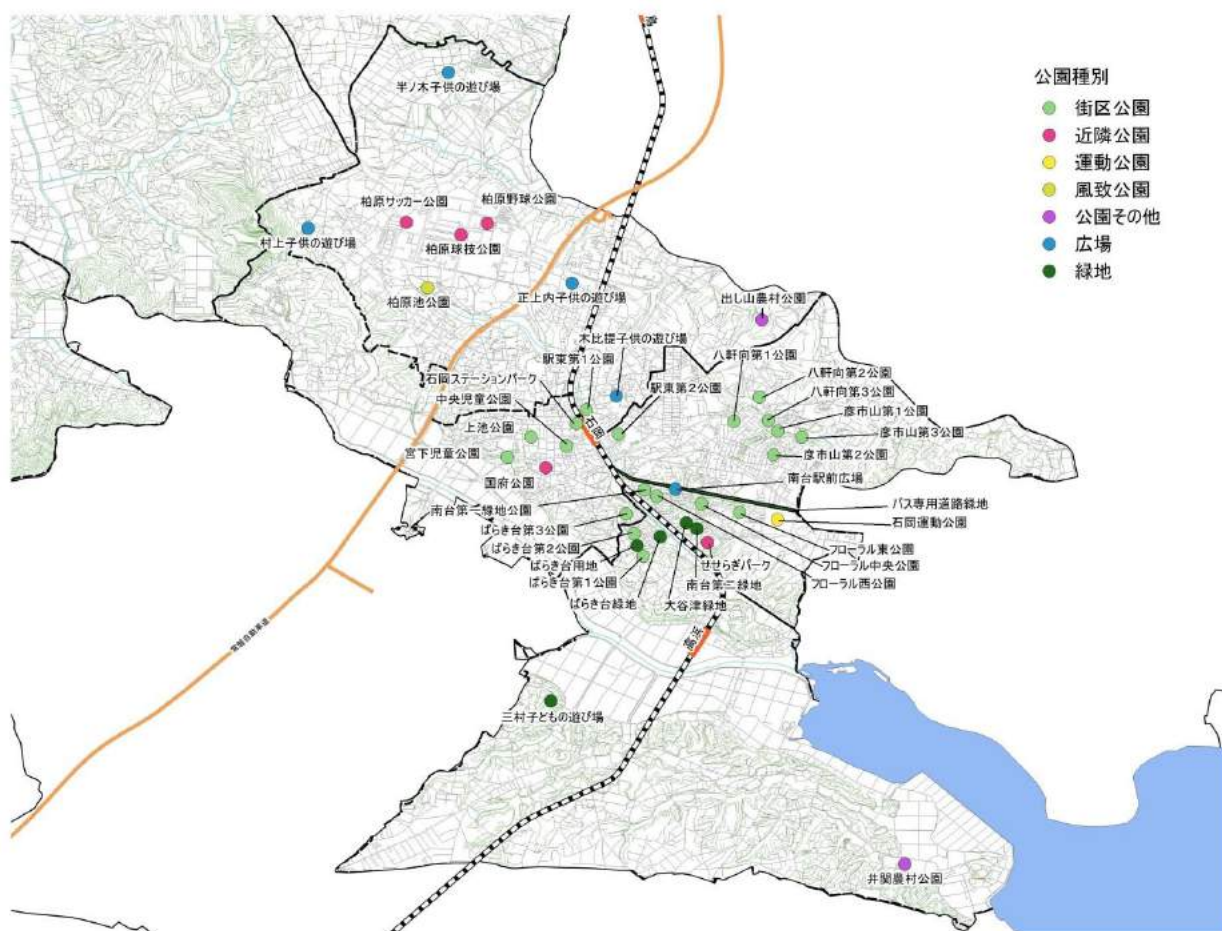
表 種別ごと都市公園箇所数及び面積

種類		種別	開設都市公園 合計	
			箇所数	面積(m ²)
基幹公園	住区基幹公園	街区公園	19	47,749.19
		近隣公園	5	105,194.42
	都市基幹公園	運動公園	1	112,856.00
特殊公園		風致公園	1	46,842.79
計			26	312,642.40

※ 公園種類の説明は、巻末 資料編 2 用語集を参照。

■ 位置図

図 公園、広場・緑地等位置図



■ 現状と課題

<概要>

- 市内には、平成28年3月末時点で26箇所の都市公園及び13箇所の広場・緑地等を配置しています。都市公園の総面積は約31万㎡、広場・緑地等の総面積は約6万㎡となっています。
- 市民一人当たりの公園の面積は約4.05㎡/人となっています。
- 平成26年1月に「石岡市公園施設長寿命化計画」を策定済みです。

<整備状況（長寿命化計画より）>

- 平成25年度に策定した石岡市公園施設長寿命化計画に基づき、平成26年度から各都市公園の遊具や施設等の更新工事を行っています。利用しやすく安心して安全な公園の整備に努めています。

<コスト状況>

- 平成26年度より10箇年で実施する長寿命化にかかる費用は、約8.3億円です。

■ 改善の方向性

- 「石岡市公園施設長寿命化計画」におけるスケジュールにおいて10箇年計画という長期的な工事スケジュールで実施するため、緊急性の高いものから順次実施しております。また、10箇年後以降においても同様に老朽化対策が必要となるため、さらなる維持管理について検討します。
- 防災機能を有する公園施設が少ないため、防災公園の設置を検討します。

4. 集会系施設の分析

(1) 旧中学校区ごとの整備状況

本市では、集会系施設として、公民館/地区公民館、コミュニティセンター等、その他集会施設の計21施設を保有しています。整備の状況を見ると、八郷地区は、公民館が小学校区単位(旧町村)で設置されているのに対して、石岡地区では、公民館とコミュニティセンターあわせて小学校区単位となっており、地区間で整備及び運用のあり方が異なります。

地区	八郷地区				石岡地区			
(旧)中学校区	旧有明	旧柿岡	旧八郷南	園部	府中	国府	石岡	城南
公民館/地区公民館 (14)								
コミュニティセンター等 (5)								
その他集会施設 (2)								

1000㎡以上
 200㎡以上, 1000㎡未満
 200㎡未満
 赤枠は築30年以上経過。
 点線枠は移転中。

(2) 旧中学校区ごとの保有機能

集会系施設では、ホール・講堂、会議室等の洋室、和室、調理室を主に保有しており、(1)で取り上げた施設の室数を整理すると下表のようになります。

地区別の整備率を「1施設当たりの管轄人口」と「地区人口1人当たりの施設面積」でみると、1施設当たりの管轄人口は国府中学校区、園部中学校区が6千人以上と多く、その他の中学校区は5千人以下となっています。地区人口1人当たりの施設整備面積でみると、旧柿岡中学校区と城南中学校区が0.3㎡/人以上と多く、その他の施設は0.2㎡/人前後で近い水準となっています。城南中学校区は、他の地区に比べて集会施設がきめ細かく整備されており、その分地区人口1人当たりの施設面積も多くなっていることが分かります。

		保有機能(室)			施設整備割合	
		ホール 洋室	和室	調理室	人/施設 *1	面積/人 *2
八郷地区	旧有明中学校区	4	2	2	2,437	0.18
	旧柿岡中学校区	9	4	3	3,671	0.39
	旧八郷南中学校区	5	1	2	2,538	0.29
	園部中学校区	2	1	1	6,381	0.07
石岡地区	府中中学校区	12	3	3	4,167	0.20
	国府中学校区	6	1	1	7,954	0.18
	石岡中学校区	9	3	1	4,565	0.12
	城南中学校区	5	4	3	1,621	0.35

*1 1施設当たりの管轄人口(人)

*2 地区人口1人当たりの施設面積(㎡)

(3) 旧中学校区ごとの利用状況とコスト状況

その施設が設置されている地区住民1人当たりのネットコストで比較すると、中央公民館機能をもつ旧柿岡中学校区が最も高くなっていますが、八郷地区のその他の中学校区では低くなっています。

また、八郷地区の地区公民館の費用はもともと少ないため、地区住民1人当たりの負担でみると少ない傾向となっています。

集会系施設のあり方を考える上で、整備のあり方・保有機能だけでなく、利用やコスト面も含めて総合的に検討することが必要です。

図 地区住民1人当たりのネットコスト

